取扱書

トヨタ純正

SDナビゲーション

■ 型番: NSCD-W66

本機の操作 1
ナビゲーション 2
オーディオ& ビジュアル 3
情報 4
周辺監視 5
ETC システム 6
ハンズフリー 7
索引

お買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。本書は紛失しないように車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

お車を手放す際には

お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず個人情報の初期化を　実施してください。(→ P.53、P.168)

安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容」です。
注意	「物的損害の発生が想定される内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	❗ 必ず行っていただく強制の内容です。
🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

接続・取り付け

⚠ 警告

🚫 禁止

本機は、DC12V ⊖アース車専用です
24V 車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない
これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

⚠ 警告

❗ 強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリー / 補機バッテリーの⊖端子を外す
⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

⚠ 警告


強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する
ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 警告


禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となる禁止ことがあります。

通風口や放熱板をふさがない
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない
コード類にはヒューズが付いている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告


禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない
火災や感電の原因となることがあります。

分岐配線をしない
ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込むところや水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない
発煙や発火、故障の原因となることがあります。


強制

コードが金属部に触れないように配線する
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告


禁止

運転者は走行中に操作をしない
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない
バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

⚠ 警告


禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない
ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。


接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の危険性があります。


分解禁止

分解や改造をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。


強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける
テレビは、安全のため走行中は表示されません。

⚠ 警告


禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。


強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意


指のケガに注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する
ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告


強制

万一異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

本書の表記のしかた

表記	意味
☝	インフォメーション 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
[目的地設定]	画面のスイッチ名称を表示しています。（タッチスイッチ） 例：**[目的地設定]** にタッチする
MENU	本機（画面外）のスイッチ名称を表示しています。（本体スイッチ） 例：MENU を押す
地図色	画面のタブの名称を表示しています。（タブスイッチ） 例：地図色 にタッチする
→太字	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：**→「4. 場所を探す」（P.82）**
長く押す／ 長くタッチする	「ピッ」と音がするまで押す（タッチする）ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押している（タッチしている）間だけ動作していることを示します。

インフォメーション

- 本書では、SD カードおよび SDHC カードを総称して「SD カード」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。



お客様へのご注意

- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、各施設に直接ご確認ください。
- 本機は、パーキングブレーキの ON/OFF を検知して、走行中にテレビの映像を見ることができないようになっています。
- ナビゲーションの操作やディスクを出し入れするときは、車を安全な場所に停車させ、車のセレクトレバーを N（ニュートラル）か P（パーキング）位置にし、パーキングブレーキをかけてから行ってください。
- パーキングブレーキが ON 時のナビの状態によっては、再度テレビの選局操作が必要になる場合があります。
- 本機のモニター部が開く際にカップホルダーに入れたジュースなどの容器が干渉する場合があります。
- スマートエントリーが装着されている車では、スマートキーを本機に近づけると作動しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。
- 本機を別のお車に乗せ替えた場合、もしくはトヨタ販売店以外の場所でお車に取り付けた場合、必ず販売店で設定などの確認を行ってください。

本機の操作について

本機は、タッチパネルと本体スイッチおよびステアリングスイッチ（装備車のみ）で操作します。

車のバッテリー / 補機バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジン / ハイブリッドシステムを始動してください。エンジン / ハイブリッドシステムを始動していないときに本機を使用すると、バッテリー / 補機バッテリーが消耗します。

インフォメーション

- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリー / 補機バッテリー端子を外した場合の再設定について

整備などでバッテリー / 補機バッテリー端子を外した場合、各機能の設定が出荷状態に戻っている場合がありますので、再度設定してください。その他、お客様自身が設定された機能がございましたら、各ページを参照して再度設定をしてください。

⚠ 注意

- 個人情報初期化（→ P.168）をした場合と初期化される項目は異なります。

初期化されない項目

オーディオ	VOL 位置（メイン、AUX、Bluetooth Audio、ハンズフリー音声、ハンズフリー着信、ラスト再生位置）
ラジオ	マニュアルプリセットメモリ、AUTO プリセットメモリ、エリアプリセットメモリ、プリセットモード、放送局名、交通情報プリセット周波数
DTV	ホームプリセットメモリ、トラベルプリセットメモリ、エリアプリセットメモリ、プリセットモード、映像フリックガイド
情報メニュー	ETC 情報
車両設定	メンテナンス設定、表示言語設定、操作音、メニューデザイン、セキュリティ設定、標準・かんたんモード画面切替
画質調整	画質調整
ナビ	自車位置、自車向き、ナビ補正、センサーキャリブレーション、メンテナンス、メモリ地点、迂回メモリ、販売店設定、目的地履歴、前回出発地、ETC 設定、地図上へのメモリ地点名称表示、安全快適走行設定、車両情報設定、一時停止案内
ソフトウェア更新	プログラム更新ステータス、プログラム更新履歴、プログラム更新情報
燃費	燃費設定
セキュリティ	セキュリティ設定
ショートカット	ショートカットスイッチ設定
バックガイドモニター／バックモニター（装着車のみ）※	バックガイドモニター／バックモニター

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択してください。

SD カードについて

- 本機は、SD カードおよび SDHC カードに対応しています。全ての SD カードの動作を保証するものではありません。
- 本機で動作確認されている SD カードは以下のとおりです。
  ・SD カード：2GB まで
  ・SDHC カード：32GB まで
- SD カードの高速インターフェース仕様である UHS（Ultra High Speed）には対応しておりません。
- SD カードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。
- お持ちのパソコンで認識している SD カードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、SD カードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットすることにより認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをすると SD 非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しができないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。
  ただし、フォーマットした場合は、SD カードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ず SD カードデータのバックアップを作成してから行ってください。
  SD カードのフォーマットソフトウェアは、SD アソシエーションの以下ホームページより入手できます。
  https://www.sdcard.org/jp/

⚠ 警告

SD カードは、お子様に触れさせない
誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な障害におよぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあります。

注意

- SD カードへのアクセス中は、SD カードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。
- フォーマット作業による SD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。また、本作業により、SD カードのデータ消失並びに、その他損害が発生した場合は、弊社として責任を負えません。フォーマットソフトの説明書などをよくお読みになり、あくまで、お客様の判断・責任のもとでフォーマット作業は実行してください。

地図 SD カードについて

本文中では、地図 SD カードを、便宜上「地図 SD」と表記しています。

注意

- 地図 SD には、地図データや本機を動作させるためのプログラムおよび各種データベースなどが収録されています。パソコンに接続してもファイルは見られません。パソコンでデータを書き込んだり、フォーマットツールなどでフォーマットしないでください。本機が起動しなくなります。

液晶画面について

液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。はじめてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせてコントラスト、明るさをお好みに応じて調整してください。（→ P.31）

お客様の登録されたデータについて

- 本機の修理において、お客様が登録したデータの保証については、ご容赦ください。
- ナビゲーションに登録された各種機能設定などの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権

本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などをすることはできません。

セキュリティ機能について

本機は、パスワードによるセキュリティ機能（盗難抑止機能）を内蔵しています。出荷時はセキュリティ機能は動作しておりません。必要に応じてセキュリティ機能を設定してください。→**「セキュリティ設定をする」(P.162)**

その他

- 製品の性能改善などを目的として、本機には動作履歴情報（測位結果など）を記録する機能があります。動作履歴情報にお客様の個人情報は含まれません。また、この情報は当社指定の拠点および当社指定の業務委託先でのみ解析ができるしくみになっており、お客様の同意をいただけた場合に限り使用いたします。
- 弊社は、本機がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 実際の本機の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。(→ P.311)
- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出ることがあります。

注意

- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面は、車内での視認性向上のためにむき出しになっています。故障する恐れがありますので、液晶画面を強く押さないでください。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。

液晶画面について

- 液晶パネルの特性として表示面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。
- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。

LED バックライトについて

- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED 保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LED バックライトの寿命は 1 万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LED バックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたほこりや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

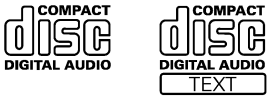
注意

- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。画面が損傷する恐れがあります。

ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 下記マークのついたディスクをご使用ください。



注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクを使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては、挿入または取り出しができないものがあります。そのようなディスクを使用すると、本機の故障の原因になります。
- ディスクには、市販のラベルなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが生じて、再生できなくなる原因になります。また、再生中にラベルがはがれると、ディスクが取り出せなくなり、本機の故障の原因になります。

インフォメーション

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。
- 再生できるディスクの種類やファイル形式などについては→**「再生できるディスクの種類」（P.219）**をご覧ください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。

注意

- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などを使用しないでください。

保管上のご注意

注意

- ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところに、保管しないでください。
- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1 時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

SD カードの正しい使いかた

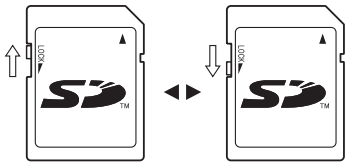
取り扱い上のご注意

注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。

データの保護について

- バックアップされていない大切なデータなどが保存されているときは、ライトプロテクト（書き込み防止）スイッチをスライドして LOCK してください。なお、本機からデータを書き出す場合は LOCK しないでください。

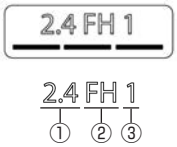


書き込み、消去可能　　書き込み、消去不可

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
  - ＊ 分解 / 改造すること。
  - ＊ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞き取りにくくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響をおよぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
  - ＊ 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

- その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
  - ＊ 火災報知機・ワイヤレス A V 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
  - ＊ 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  - ＊ マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
  - ＊ 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
  - ＊ 自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
  - ＊ アマチュア無線局など



① 「2.4」GHz 帯を使用する無線設備を表します。
② 「FH」変調方式を表します。
③ 「1」想定される与干渉距離（約 10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店にお問い合わせください。

このナビの特長　簡単に操作ができる「やさしさナビ

やさしさナビ機能 ❶ ▸▸ やさしい表示

初めてナビを使う方でも見やすく、分かりやすいように、ボタンや文字が、やさしい表示になっています。



やさしさナビ機能 ❷ ▸▸ やさしい操作

迷うことなく操作ができるように、次の操作を「みちびきカラー」でアシストします。



みちびきカラーはメニューデザインを変更することで4色から変更できます。
（初期設定ではブルーになっています。）
設定方法 ➔ P.166

目的地設定 オレンジ　目的地設定 ブルー　目的地設定 グリーン　目的地設定 レッド

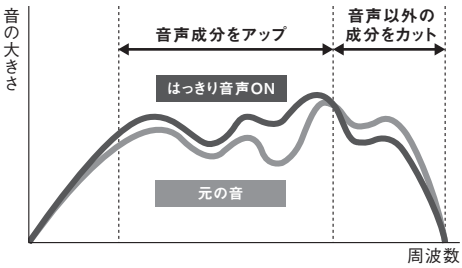
機能」を搭載

やさしさナビ機能 ❸ ▸▸ はっきり音声

はっきり音声機能をONにすると、ラジオやテレビの音声が聞き取りやすくなります。



●「はっきり音声」の機能イメージ



「はっきり音声」機能は、AM、FM、TVに適用できます。

設定方法 ➔ P.185

その他の便利な機能

近くのトイレを検索する

現在地周辺の、トイレのある施設を検索できます。駐車場あり・24時間営業・バリアフリー・ルート沿いなど、条件によって、検索結果を絞り込むことができます。 **設定方法 ➔ P.89**



目的地から最寄りのトイレのある施設を検索



地図上にトイレのある施設を表示

VICS WIDE機能



進化したVICSサービス「VICS　WIDE」に対応しました。VICS WIDE は、よりきめ細かな交通情報に対応しており、最新の渋滞情報を反映したルート検索（ダイナミックルートガイダンス）が可能です。また、津波に加え、火山噴火などの特別警報（地震を除く）や、大雨情報を表示することができます。 **詳細情報 ➔ P.129**

安全上のご注意
（安全にお使いいただくために必ずお守りください）.....2
接続・取り付け.....2
使用方法.....3
異常時の問い合わせ.....4

本書の見かた.....5
本書の表記のしかた.....5

お読みください.....6
お客様へのご注意.....6
本機の操作について.....6
車のバッテリー / 補機バッテリー上がりを防ぐために.....6
バッテリー / 補機バッテリー端子を外した場合の再設定について.....7
SD カードについて.....8
地図 SD カードについて.....8
液晶画面について.....8
お客様の登録されたデータについて.....9
著作権.....9
セキュリティ機能について.....9
その他.....9

取り扱い上のご注意.....10
液晶画面の正しい使いかた.....10
ディスクの正しい使いかた.....11
SD カードの正しい使いかた.....12
電波に関するご注意.....12

1. 本機の操作

1 各部の名称とはたらき.....24
1 ナビゲーション本体（画面モニターを閉じた状態）.....24
2 ナビゲーション本体（画面モニターを開いた状態）.....25
3 ステアリングスイッチ（装備車のみ）.....26
4 電源を入れる・切る.....27
5 現在地画面のスイッチ.....28

2 基本操作.....29
1 タッチパネルと操作スイッチ.....29
タッチパネルで操作する.....29
本体スイッチで操作する.....29
画面の切り替えかた.....29
2 画面の調整.....31
画面モニターの角度を調整する.....31
画質を調整する.....31
3 リスト画面の操作.....33
基本的なリストの操作.....33
50 音リストの操作.....33
リスト選択の操作.....34
表示されない文字の表示操作.....34
4 ディスクの出し入れ.....35
ディスクの入れかた.....35
ディスクの取り出しかた.....36
5 SDカードの出し入れ.....37
SD カードの入れかた.....37
SD カードの取り出しかた.....38
6 文字の入力操作.....39
文字の入力操作の流れ.....39
文字を入力する.....39
無変換、変換を行う.....41
文字入力を終了する.....41
かな漢字変換できる記号.....42

3 はじめに設定しておくこと 44
1 QUICK SETUP..... 44
QUICK SETUP を行う 44
QUICK SETUP を開始する 44
2 テレビを見るための準備..... 48
3 案内言語を日本語以外に設定 50
言語の設定操作 50

4 本機の設定 51
1 標準・かんたんモード画面について..... 51
標準・かんたんモードで表示される画面について 51
標準・かんたんモード画面を設定する 52
2 リセットまたは初期化について 53
本体リセットについて 53
個人情報の初期化について 53
強制 EJECT について 53

2. ナビゲーション

1 ナビゲーションの基本操作 58
1 メニューの操作 58
ナビメニューの操作..... 58
2 地図画面の操作 64
現在地画面を表示する..... 64
地図を動かす（スクロール）..... 65
地図の縮尺を変える..... 66
地図の表示方法を変える..... 67
地図の向きを変える..... 68
地図色切り替えタイミング設定 69
地図表示カスタマイズ..... 69
施設記号の表示設定をする 70
近くの施設を検索する..... 72
座標（緯度経度）を表示する 75
通った道を表示する..... 75
セーフティインフォメーション 75
走行中表示される画面について 76
ハイウェイモードについて 78
3 自宅へ帰る 81
自宅を登録する..... 81
自宅までルート探索する 81
4 場所を探す 82
地図で探す..... 82
目的地で探す..... 82
名称で探す..... 83
住所で探す..... 84
施設で探す..... 85
電話番号で探す..... 85
メモリ地点で探す 86
ジャンルで探す..... 87
マップコードで探す 88
特別メモリ地点で探す 88
目的地の履歴で探す 89
トイレのある施設を探す 89
検索結果画面の操作..... 90
5 詳細情報を見る..... 91
目的地メニューから場所を探した場合..... 91
地図上のマークにカーソルを合わせた場合..... 92

2 ルートの操作 94
1 ルートを探索する..... 94
ルート案内開始画面の見かた..... 95
ルート情報を表示する 95
他のルートを選ぶ..... 96
デモ走行で確認する 97
ルート探索機能について 97
全ルート図を表示する 98
2 ルート誘導・案内..... 99
ルート案内中の現在地画面 99
音声による誘導・案内 102
3 ルート案内中の操作と機能 105
ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する..... 105
ルートの再探索をする 105
状況に応じて新しいルートを提案する 107
ルート上の交通情報を案内させる... 107
ターンリストの表示 108

4 ルートを変更する.....109
目的地を追加する.....109
目的地を消去する.....110
目的地への順番を並べ替える.....111
探索条件を変更する.....111
乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する.....112

3 登録地の操作 113
1 場所を登録・編集する.....113
かんたんな操作で登録する.....113
自宅を登録する.....113
自宅の登録内容を修正する.....114
自宅を消去する.....115
特別メモリ地点を登録する.....115
特別メモリ地点の登録内容を修正する.....116
特別メモリ地点を消去する.....117
メモリ地点を登録する.....117
メモリ地点の登録内容を修正する...118
メモリ地点を消去する.....120
迂回メモリ地点を登録する.....121
迂回メモリ地点の登録内容を修正する.....122
迂回メモリ地点を消去する.....123
登録データを移行する.....123

4 その他の操作 127
1 その他のデータを消去する.....127
目的地の履歴を消去する.....127
ルートの学習内容を消去する.....128
通った道を消去する.....128
2 FM-VICS情報を利用する.....129
VICS 情報とは.....129
VICS・交通情報を表示する.....130
地図上で VICS 情報を見る.....131
ルート上の交通情報を案内させる...134
VICS の文字・図形・緊急情報を見る.....135
地図上の緊急情報対象エリア表示を解除する.....136
放送局を選ぶ.....136
3 車両メンテナンスを利用する...138
メンテナンス案内について.....138
メンテナンス項目を設定する.....139
販売店の設定をする.....140
販売店の情報を修正・入力する.....140
4 エコ情報メニューを使う.....141
燃費設定をする.....141
エコ運転評価について.....141
燃費履歴について.....142
5 スマートフォン連携機能を使う.....144
NaviCon アプリを起動する.....145
NaviCon アプリの操作について.....146

5 ナビゲーションの設定.....147
1 ナビ詳細設定をする.....147
地図表示設定.....148
案内表示設定.....149
音声設定.....150
ルート系設定.....150
その他.....151
2 Bluetooth設定をする.....152
Bluetooth 機器使用上のご注意.....152
Bluetooth 機器を初期登録する.....153
Bluetooth 機器を切り替える.....154
Bluetooth 機器を削除する.....156
Bluetooth 設定を変更する.....156
3 ナビゲーションの音量を設定する.....159
音量設定をする.....159
4 車両情報を設定する.....160
5 その他の設定をする.....162
自車位置のずれを修正する.....162
セキュリティ設定をする.....162
安全・快適走行の設定をする.....166
タッチしたときの応答音の設定をする.....166
メニューデザインを変更する.....166
ショートカットキーの設定をする...167
設定を初期状態に戻す.....168

6 知っておいていただきたいこと.....169
1 故障とお考えになる前に.....169
共通項目.....169
ナビゲーション.....170
2 ナビゲーションのしくみ.....172
現在地がわかるしくみ.....172
測位の精度を高めるためのしくみ...173
誤差について.....174
3 その他の情報.....176
検索におけるデータベースについて.....176
ルートに関する注意事項.....176
記号・マーク一覧.....178

3. オーディオ&ビジュアル

1 はじめに.....182
1 オーディオの基本操作.....182
使用できるメディアについて.....182
オーディオソース画面を表示する...182
オーディオソースを切り替える.....183
オーディオソースを OFF にする....184
オーディオの音量を調整する.....184
はっきり音声を設定する.....185
緊急警報放送（EWS）の受信について.....185
本機で再生可能なメディアとファイルの種類.....185

2 ラジオを聞く.....186
1 ラジオの操作.....186
ラジオの放送を受信する.....186
プリセットの種類を選ぶ.....187
放送局を手動で登録する.....187
放送局の一括登録.....187
交通情報を受信する.....188

3 テレビ（ワンセグ放送）を見る.....189
1 テレビの操作.....189
テレビ（ワンセグ放送）を受信する.....189
放送局を手動で登録する.....191
サービスを切り替える.....191
番組表を表示する.....191
番組内容を表示する.....192
放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）.....192
2 ワンセグの機能設定をする.....193
プリセットの種類を切り替える.....193
オート放送局サーチ設定.....194
視聴設定を切り替える.....194

4 CDプレーヤーの操作.....196
1 音楽CDを聞く.....196
再生する.....196
リストから選んで再生する.....197
リピート再生.....197
ランダム再生.....197
2 CD-R/RW（WMA/MP3/AAC）を聞く.....198
再生する.....198
リストから選んで再生する.....199
リピート再生.....199
ランダム再生.....200

5 SDカードの操作.....201
1 SDの操作のしかた.....201
再生する.....201
リストから選んで再生する.....202
リピート再生.....203
ランダム再生.....203

6 Bluetooth Audioの操作... 204
1 Bluetooth Audioの操作のしかた.....204
Bluetooth Audio 機器の登録 204
再生する 204
リストから選んで再生する 206
リピート再生.....207
ランダム再生.....207
2 Bluetooth Audio機器の接続について.....208
一時的に接続が切断された場合.....208
Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合 208

7 AUXの操作..... 209
1 AUXを使う 209
外部機器の音声を聞く 209

8 オーディオの設定..... 210
1 オーディオの設定をする 210
イコライザー設定.....210
リスニングポジション設定 212
フェーダー／バランス設定 212
音量・効果設定.....213

9 知っておいていただきたいこと..... 215
1 故障とお考えになる前に 215
共通項目 215
FM/AM 215
CD/CD-R/RW (WMA/MP3/AAC) 216
テレビ 217
SD カード 218
AUX.....218
2 ディスクについて.....219
再生できるディスクの種類 219
ディスクの構成について 220
3 WMA/MP3/AAC ファイルについて 221
フォルダと WMA/MP3/AAC ファイルについて 221
WMA とは？ 221
MP3 とは？ 222
AAC とは？.....223

4. 情報

1 情報について 226
1 交通ナビ関連情報について.....226
JAF または道路交通情報センターの情報を表示する.....226
メモリ地点の電話番号を表示する ...226
目的地の情報を表示する.....226
2 その他の情報の利用 227
シリアルナンバーを確認する.....227
データバージョンを確認する.....227
オープンソフトウェア情報を確認する.....227
3 ソフトウェア更新について.....228
更新データを準備する 228
ソフトウェアを更新する.....228
ソフトウェアの更新履歴を確認する.....229

5. 周辺監視

1 バックガイドモニターを使う 232
1 バックガイドモニターについて.....232
バックガイドモニターについての注意点 232
カメラについての注意 233
2 ガイド方法の選びかた 234
並列駐車（車庫入れ）をするとき ...234
縦列駐車をするとき 234

3 バックガイドモニター画面への切り替え 235
後方の映像を映す.....235
画面に映る範囲について.....235
4 並列駐車する（進路表示モード）.....237
画面の見かた.....237
並列駐車を開始する.....238
5 並列駐車する（駐車ガイド線表示モード）.....240
画面の見かた.....240
並列駐車を開始する.....241
6 縦列駐車する（縦列ガイドモード）.....243
車の動きと画面・音声案内の流れ...243
縦列駐車を開始する.....245
7 縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード）.....254
画面の見かた.....254
縦列駐車を開始する.....255
8 バックガイドモニターの注意点.....258
画面と実際の路面との誤差.....258
立体物が近くにあるときの注意点...259
9 バックガイドモニターの設定...260
縦列ガイドの音量の設定.....260
はじめのコツの表示.....260
駐車ガイド線の表示.....261
システム初期化中表示が出たときは.....261
バッテリー / 補機バッテリーの脱着、または本機を載せ換えたときは.....262

2 バックモニターを使う.....263
1 バックモニターについて.....263
バックモニターについての注意点...263
カメラについての注意.....264
2 バックモニターの映像.....265
後方の映像を映す.....265
ガイド線の表示（タイプ 2 のみ）...265
画面の見かたについて.....266
3 バックモニターの注意点.....268
画面と実際の路面との誤差.....268

3 知っておいていただきたいこと.....269
1 故障とお考えになる前に.....269
バックガイドモニター.....269

6. ETC システム

1 ETCの操作.....272
1 ETC情報を利用する.....272
ETC 利用履歴を表示する.....273
ETC 登録情報を表示する.....273
ETC 設定を行う.....274
2 故障とお考えになる前に.....275

7. ハンズフリー

1 ハンズフリーについて.....278
1 ハンズフリー通話をする.....278
ハンズフリー通話をするには.....279
ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは.....279

2 ハンズフリーの操作.....280
1 電話の受けかた.....280
2 電話のかけかた.....281
電話番号を入力して電話をかける...282
電話帳から電話をかける.....282
ワンタッチダイヤルから電話をかける.....282
発着信履歴から電話をかける.....283
交通ナビから電話をかける.....283
地図に登録された電話番号にかける.....285
通話中メニューの操作.....285

3 ハンズフリーの設定を変更する..... 286

1 ハンズフリーの詳細設定を変更する 286
着信割り込み表示画面の設定.....286
電話帳／履歴転送確認表示の設定...286
着信音の設定.....287
着信音量、通話音量の調整 287

2 携帯電話情報を設定する 289
電話帳／履歴自動転送を設定する...290
電話帳を更新する.....290
着信時の画像表示を設定する.....291
電話帳データを転送する 291
ワンタッチダイヤルを登録する.....293
ワンタッチダイヤルを削除する.....294
発信履歴または着信履歴を削除する 294
電話帳データを新規作成する.....295
電話帳データを編集する 295
電話帳データを削除する 296

4 知っておいていただきたいこと 297

1 故障とお考えになる前に 297

8. 索引

メニュー索引.....300

目的地メニュー 300
情報メニュー.....300
電話メニュー.....300
設定・編集メニュー 301

用語索引 302

五十音順.....302
数字・アルファベット順.....308

アフターサービスについて.....310

保証について 310
補修用性能部品の最低保有期間.....310

仕様.....311

商標・著作権など 312

地図データベースについて.....313
交通規制データについて.....313
道路交通規制の優先について 313
交通事故多発地点について.....313
ボトルネック踏切について.....313
案内標識について 313
VICS情報有料放送サービス契約約款.....314
VICS 情報に関する注意事項.....316

1

本機の操作

1 各部の名称とはたらき

1 ナビゲーション本体（画面モニターを閉じた状態）..... 24

2 ナビゲーション本体（画面モニターを開いた状態）..... 25

3 ステアリングスイッチ（装備車のみ）..... 26

4 電源を入れる・切る 27

5 現在地画面のスイッチ 28

2 基本操作

1 タッチパネルと操作スイッチ..... 29
- タッチパネルで操作する..... 29
- 本体スイッチで操作する..... 29
- 画面の切り替えかた 29

2 画面の調整 31
- 画面モニターの角度を調整する 31
- 画質を調整する 31

3 リスト画面の操作..... 33
- 基本的なリストの操作..... 33
- 50 音リストの操作 33
- リスト選択の操作 34
- 表示されない文字の表示操作..... 34

4 ディスクの出し入れ 35
- ディスクの入れかた 35
- ディスクの取り出しかた..... 36

5 SDカードの出し入れ 37
- SD カードの入れかた..... 37
- SD カードの取り出しかた..... 38

6 文字の入力操作..... 39
- 文字の入力操作の流れ..... 39
- 文字を入力する..... 39
- 無変換、変換を行う..... 41
- 文字入力を終了する..... 41
- かな漢字変換できる記号..... 42

3 はじめに設定しておくこと

1 QUICK SETUP..... 44
- QUICK SETUP を行う..... 44
- QUICK SETUP を開始する..... 44

2 テレビを見るための準備..... 48

3 案内言語を日本語以外に設定..... 50
- 言語の設定操作..... 50

4 本機の設定

1 標準・かんたんモード画面について 51
- 標準・かんたんモードで表示される画面について 51
- 標準・かんたんモード画面を設定する 52

2 リセットまたは初期化について... 53
- 本体リセットについて..... 53
- 個人情報の初期化について 53
- 強制 EJECT について..... 53

1 ナビゲーション本体(画面モニターを閉じた状態)

MENU スイッチ（→ P.58）

ナビメニューを表示します。

長く押すと、ショートカットコントロール画面（→ P.167）を表示します。

AUDIO スイッチ（→ P.29, 182）

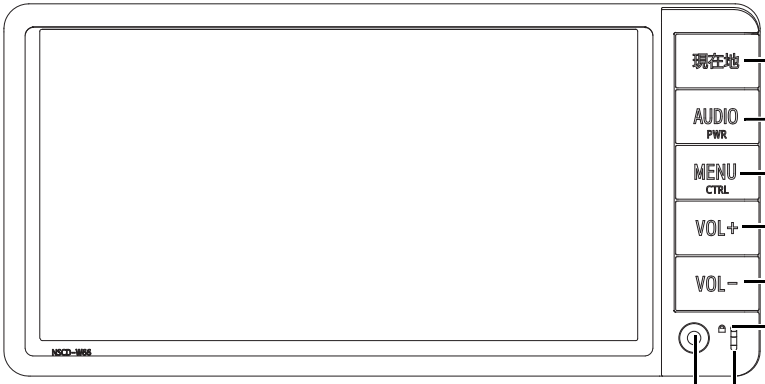
ナビ画面やメニュー画面の場合は、オーディオソース画面に切り替えます。

長く押すと、オーディオソースを OFF にすることができます。オーディオソース OFF 時に長く押すとオーディオソースを OFF にする前のオーディオソース画面に戻ります。5 秒以上押し続けて手を離すと、画面モニターが開きディスクが強制的に押し出されます。

現在地 スイッチ（→ P.28, 29, 64）

ナビ画面（現在地以外を表示中）の場合は、現在地を表示します。

オーディオソース画面やメニュー画面の場合は、現在地画面に切り替えます。



AUX 入力端子（→ P.209）

ポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続します。

φ3.5 mm ステレオミニプラグを挿入します。

ハンズフリー用マイク

ハンズフリー通話時の音声を集音します。

セキュリティインジケータ

セキュリティ機能が動作している場合は、点滅表示させることができます。（→ P.162）

音量調整スイッチ（→ P.184）

オーディオの音量調整を行います。

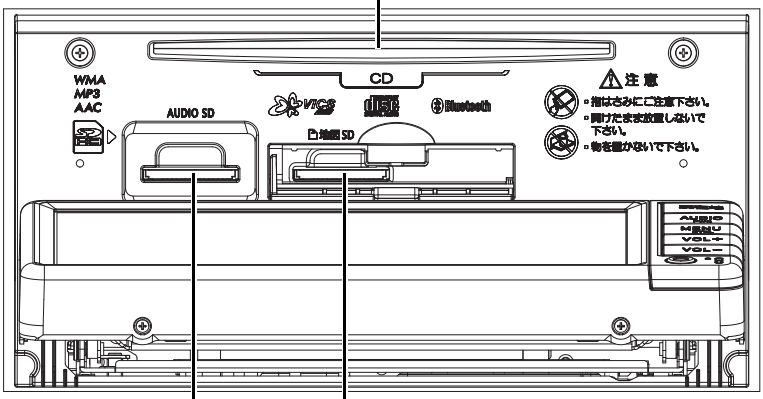
2 ナビゲーション本体（画面モニターを開いた状態）

ディスク挿入口

CD や CD-R/RW を挿入します。

CD や CD-R/RW の出し入れは、決められた手順で行ってください。

（→ P.35）



SD カードスロット

オーディオ機能を使用するための SD カードを挿入します。

SD カードの出し入れは、決められた手順で行ってください。

（→ P.37）

地図 SD スロット

地図データが収録された SD カードが挿入されています。

地図 SD は取り出さないでください。地図データを更新する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

3 ステアリングスイッチ（装備車のみ）

MODE	ラジオや CD、テレビなどのオーディオソースを切り替えます。AM、FM、交通情報、TV、または AUX ソースで長く押した場合、MUTE の ON/OFF を切り替えます。DISC、Bluetooth、または SD ソースで長く押した場合、PLAY/PAUSE を切り替えます。
DOWN / UP	トラックやファイルのダウン／アップのオーディオ操作を行います。
VOL DOWN / VOL UP	オーディオの音量調整を行います。
OFF HOOK	（発信マーク）が表示されている場合、電話をかけることができます。電話が着信中の場合、受話します。 電話が登録されていない場合、または電話が登録されているが Bluetooth に接続していない場合、登録または接続を促すメッセージが表示されます。
ON HOOK	電話が発信中または通話中の場合、電話を切ります。電話が着信中の場合、応答保留をします。長く押した場合、着信を拒否します。 応答保留については、対応端末および対応キャリアのみで有効です。

インフォメーション

- 音声認識スイッチを押した場合、「無効なスイッチが押されました」とメッセージが表示され操作できません。

4 電源を入れる・切る

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモード、またはイグニッション ONモード< ON モード>にする

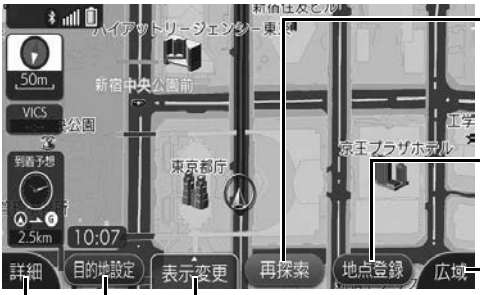
▼

スタートアップ画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面に切り替わります。
車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にすると、本機の電源が切れます。

インフォメーション

- QUICK SETUP 画面が表示された場合、設定しておくと便利なナビゲーション機能をまとめて設定することができます。**(→ P.44)**
- リモートスタート搭載車で、リモートスタートが始動すると、本機の電源も入りますが、画面表示およびオーディオは OFF になります。車種により動作が異なる場合があります。

5 現在地画面のスイッチ



再探索スイッチ（→ P.105）
タッチすると、ルート再探索の画面を表示します。ルート案内中の場合だけ表示されます。

地点登録スイッチ（→ P.113）
タッチすると、現在地をメモリ地点に登録します。

広域スイッチ（→ P.66）
タッチすると、地図の表示を広域にできます。

表示変更スイッチ（→ P.67, 70）
タッチすると、地図表示などの表示変更画面を表示します。

目的地設定スイッチ（→ P.58）
タッチすると、目的地メニューの画面を表示します。

詳細スイッチ（→ P.66）
タッチすると、地図の表示を詳細または市街図にできます。

インフォメーション

- 現在地画面で **現在地** を押すと、画面上部に現在地付近の地名と座標スイッチが表示されます。

1 タッチパネルと操作スイッチ

本機の基本操作について説明します。

タッチパネルで操作する

画面上に表示されるマークや項目（操作スイッチ）に直接指で触れる（タッチする）ことで操作できます。



操作例：

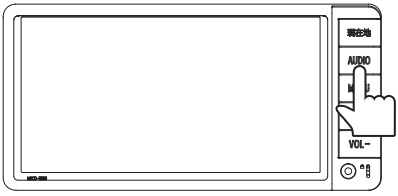
[初期状態]	設定された機能を工場出荷時の状態に戻します。
⮌	現在開いているメニューなどの画面を 1 つ前の画面に戻します。

スライド操作

画面をタッチしたまま指を上下左右にスライドするだけでナビゲーションやオーディオの一部機能を操作することができます。

本体スイッチで操作する

本機の本体スイッチを使って、画面の切り替え、メニュー画面の表示、オーディオの操作などを行うことができます。
(→ P.24)



画面の切り替えかた

現在地画面とオーディオソース画面を切り替える

現在地画面（地図画面）とオーディオソース画面（オーディオ / テレビ画面）をワンタッチで切り替えることができます。

1 現在地画面で AUDIO を押す

▼

オーディオソース画面が表示されます。（AUDIO OFF のときはオーディオソース選択画面）



1 オーディオソース画面で 現在地 を押す、または［地図］にタッチする

▼

現在地画面が表示されます。



インフォメーション

- オーディオソース画面を表示している状態でも、VICS 緊急情報の自動表示などが割り込み表示される場合があります。**(→ P.134)**
- メニュー画面から、**AUDIO** または **現在地** を押しても各画面に切り替えられます。

画面を消す

夜間、画面がまぶしい場合など、画面を消すことができます。

1 **MENU** を押す

2 **[画質調整]** にタッチする



3 **[画面消]** にタッチする



▼

画面が消えます。

インフォメーション

- **現在地** を押すと、画面を消している状態を解除して現在地画面を表示します。**AUDIO** を押すと、画面を消している状態を解除してオーディオソース画面を表示します。
- 画面を消している状態でも、音声は出力されます。音量の調整は、本体スイッチの音量調整スイッチ**（→ P.24）**で、画面を消している状態のまま調整できます。
- **MENU** を長く押すことで、画面を消している状態でもショートカットコントロール画面**（→ P.167）**を表示できます。
- バックガイドモニター**（→ P.232）**を使用中は、画面を表示します。カメラ機能の使用を終了した時点で、自動的に画面を消している状態に戻ります。
- 画面を消している状態は、車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしても継続されます。

2 画面の調整

画面モニターの角度を調整する

画面モニターを見やすい角度に調整して記憶させることができます。

1 MENU を押す

2 [TILT・EJECT] にタッチする (→ P.58)

3 [傾ける] または [戻す] にタッチする



[傾ける]	画面モニターが一段階ずつ開きます。
[戻す]	画面モニターが一段階ずつ閉じます。

注意

- 画面モニターの角度調整を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの角度調整をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから調整してください。

インフォメーション

- 調整した画面モニターの角度は本機に記憶され、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたあと、アクセサリーモードにしても自動的に調整した角度になります。別の角度にしたい場合は、再度調整してください。

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「コントラスト」、「明るさ」、「色合い」、「色の濃さ」を調整することができます。

インフォメーション

- 「コントラスト」、「明るさ」、「色合い」、「色の濃さ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 昼と夜の設定の切り替えは、ナビ詳細設定の時刻連動、ライト連動の設定に連動します。(→ P.148)
- バックガイドモニターの映像表示中も、以下の操作を行うことで画質調整することができます。なお、バックガイドモニター映像の調整は、周囲の安全に十分配慮しながら行ってください。

1 調整したい映像の表示画面で、MENU を長く押す

2 [画質調整] にタッチする (→ P.167)

3 画質を調整する



コントラスト（明暗）

[−]	白黒の差が小さくなる
[+]	白黒の差が大きくなる

明るさ

[−]	暗くなる
[+]	明るくなる

色合い

[赤]	赤色を強くする
[緑]	緑色を強くする

色の濃さ

[−]	薄くなる
[+]	濃くなる

インフォメーション

- 「色合い」および「色の濃さ」は、バックガイドモニター、またはバックモニター映像を表示している場合のみ、調整することができます。
- **[昼画面]** が表示されているときにタッチすると、昼夜にかかわらず強制的に昼画面表示に設定されます。(→ P.63)

4 ⮌ にタッチする

画質調整画面からメニュー画面の画質を調整する

メニュー画面の画質は、画質調整画面からも調整できます。

1 MENU を押す

2 [画質調整] にタッチする (→ P.58)

▼

画質調整画面が表示されます。

3 画質を調整する



インフォメーション

- **[画面消]** にタッチすると、画面を消せます。(→ P.30)

4 ⮌ にタッチする

3 リスト画面の操作

操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

基本的なリストの操作



ページ送り 1画面ずつ上下に移動します。	▲/▼にタッチする。 タッチし続けると、連続で移動します。 画面にタッチしたまま上下方向に動かす（スクロールする）と、連続で移動します。



ページ送り 1画面ずつ左右に移動します。	◀/▶にタッチする。 タッチし続けると、連続で移動します。 画面にタッチしたまま左右方向に動かす（スクロールする）と、連続でで移動します。



タブ送り タブスイッチ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。	タブ（例：地図色）にタッチする。

50音リストの操作



ページ送り 50音順に並んだリストを1画面ずつ表示できます。	▲/▼にタッチする。 タッチし続けると、連続で移動します。 画面にタッチしたまま上下方向に動かす（スクロールする）と、連続で移動します。
行選択または音送り 表示したい行の音を選択できます。	行（**[あ行]** ～ **[わ行]**）にタッチする。同じ行をタッチするごとに、その行の音が順次表示されます。 （例：**[か行]** を順次タッチした場合、か→き→く...）

リスト選択の操作



項目設定 同一画面での設定は、ポップアップメニューを表示させて項目を選択します。	リストを選択して、ポップアップメニューの項目を選択する。変更しない場合は、 をタッチします。 (例：**[タッチ操作音]** ー **[操作音 2]** または)

表示されない文字の表示操作



文字送り テキストエリアに全ての文字が表示できない場合、表示されない文字を表示させます。	表示するリストの にタッチすると、表示されていない文字が表示されます。 にタッチすると、再度先頭部分から表示されます。

4 ディスクの出し入れ

⚠ 注意

● 画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

注意

● 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
● 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
● アダプターを装着した 8 cm ディスクは絶対に使用しないでください。
● 安全のため、走行中はディスクの出し入れはしないでください。

ディスクの入れかた

1 MENU を押す

2 [TILT・EJECT] にタッチする (→ P.58)

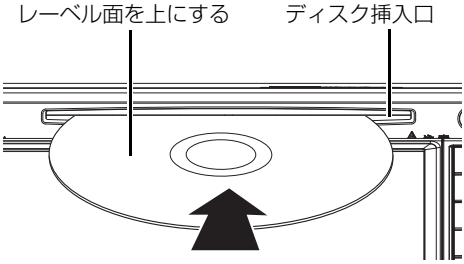
3 [CD 挿入] にタッチする



▼

画面モニターが開きます。

4 ディスクを差し込む



▼

ディスクを途中まで差し込むと自動的に引き込まれ、画面モニターが閉じます。

ディスクの取り出しかた

1 MENU を押す

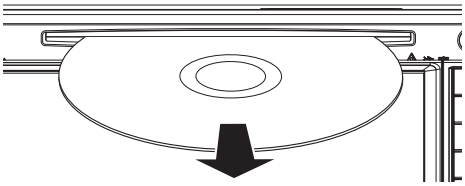
2 [TILT・EJECT] にタッチする
(→ P.58)

3 [CD 取り出し] にタッチする



▼

画面モニターが開き、ディスクが自動的に押し出されます。



4 ディスクを取り出し、[ディスプレイを閉じる] にタッチする

▼

画面モニターが閉じます。
(どの本体スイッチを押した場合でも画面モニターが閉じます。)

5 SD カードの出し入れ

⚠ 注意

- 画面モニターを開閉するときは、指などを挟まれないようにご注意ください。特にお子様にはご注意ください。ケガの原因となることがあります。

注意

- 地図 SD は取り出さないでください。地図データを更新する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機で使用しているときに SD カードのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。
- 画面モニターの開閉を手動または工具を使って無理に行わないでください。画面モニターに強い力が加わると故障することがあります。
- 画面モニターの開閉をするときに、物を挟まないようにご注意ください。物が挟まってしまったときは、挟まった物を取り除いてから開閉してください。
- SD カードの出し入れを無理に行うと、本機や SD カードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- SD カードスロットには、SD カード以外の物を挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。
- 安全のため、走行中は SD カードの出し入れはしないでください。

SD カードの入れかた

1 MENU を押す

2 [TILT・EJECT] にタッチする (→ P.58)

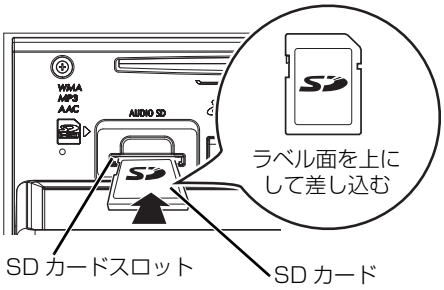
3 [SD カード挿入] にタッチする



▼

画面モニターが開きます。

4 “カチッ” と音がするまで SD カードを差し込む



5 [ディスプレイを閉じる] にタッチする

▼

画面モニターが閉じます。

注意

- SD カードが完全に挿入されていない状態で**［ディスプレイを閉じる］**にタッチすると、SD カードが破損する恐れがあります。

SD カードの取り出しかた

1 **MENU を押す**

2 **［TILT・EJECT］にタッチする**
（→ P.58）

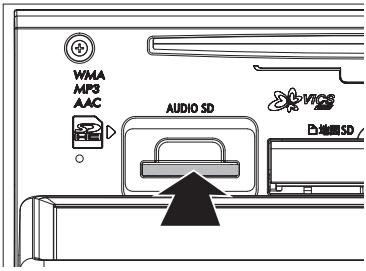
3 **［SD カード取り出し］にタッチする**



▼

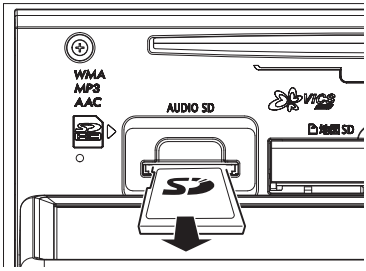
画面モニターが開きます。

4 **“カチッ”と音がするまで SD カードを押し込んで離す**



▼

SD カードが押し出されます。



5 **SD カードをまっすぐ引き抜き、［ディスプレイを閉じる］にタッチする**

▼

画面モニターが閉じます。
（どの本体スイッチを押した場合でも画面モニターが閉じます。）

⚠ 警告

- 取り出した SD カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。

注意

- SD カードを完全に取り出していない状態で**［ディスプレイを閉じる］**にタッチすると、SD カードが破損する恐れがあります。

6 文字の入力操作

場所の名前などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

インフォメーション

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、名称検索の場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り替える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

文字を入力する

基本操作

1 入力したい文字にタッチする



ひらがなを入力する場合	入力前に**【あいう】**にタッチします。
カタカナを入力する場合	入力前に**【アイウ】**にタッチします。
英数字を入力する場合	入力前に**【英数】**にタッチします。
数字や記号を入力する場合	入力前に**【数記】**にタッチします。

インフォメーション

- 漢字を入力する場合は、ひらがなを入力してから漢字に変換してください。→**「無変換、変換を行う」(P.41)**

全角・半角を切り替える

カナ、英数字、および数記号は、全角・半角を切り替えることができます。

1 【全角】または【半角】にタッチする



▼

全角または半角に切り替わります。

インフォメーション

- 半角入力時は**【全角】**、全角入力時は**【半角】**が表示され、タッチするごとに全角または半角に切り替わります。

濁点、半濁点、促音を入力する

ひらがなとカタカナの入力方法は同じです。事前にひらがなとカタカナを切り替えてから入力します。

[゛゜小]にタッチするごとに、入力した文字に応じて、濁点、半濁点、促音に切り替わります

濁点を入力する（例：づ）

1 **[つ]にタッチして、[゛゜小]で濁点に切り替える**

半濁点を入力する（例：パ）

1 **[ハ]にタッチして、[゛゜小]で半濁点に切り替える**

促音を入力する（例：っ）

1 **[つ]にタッチして、[゛゜小]で促音に切り替える。**

アルファベットの大文字／小文字を切り替える

アルファベット入力中は、大文字／小文字を切り替えることができます。

1 **⇧ または ⇩ にタッチする**

▼

タッチするごとに、大文字と小文字が切り替わります。

カーソル位置を動かす

1 **画面左右の［<］または［>］にタッチする**

▼

タッチした回数だけカーソルの位置を移動することができます。

インフォメーション

- 文字入力中の場合、カーソルは反転中（未確定状態）の文字の範囲内で動かすことができます。
- 検索を行う入力画面の場合は、**[<]**または**[>]**でカーソルを移動させることはできません。
- 漢字変換中の場合は、変換する文字の範囲を変更できます。

文字を修正する

1 **修正したい文字にカーソルを移動させ、[←]にタッチする**



▼

タッチするごとに、カーソル上の文字が 1 文字ずつ削除されます。カーソル上に文字がない（カーソルが最後尾にある）場合、カーソル左側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

インフォメーション

- **[←]**に長くタッチすると、文字を連続して削除することができます。

スペースを空ける

1 スペースを空けたい文字の右側にカーソルを移動させ、[␣/ 変換]にタッチする

▼

タッチした回数だけスペースが挿入されます。



文字を挿入する

1 文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

▼

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

インフォメーション

- カーソルは、文字の選択範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字やカタカナなどに変換します。変換は、入力した文字に応じて表示される変換候補から選択（予測変換機能）することができます。

無変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力し、[⏎]にタッチする

▼

ひらがなで入力されます。

変換入力をする

1 ひらがなで文字を入力する

2 [␣/ 変換]にタッチし、変換したい候補にタッチする



インフォメーション

- **[␣/ 変換]**にタッチしたあと、候補一覧から選ぶ必要がない場合は、**[全確定]**にタッチします。
- ▲または▼にタッチすると、候補一覧のページを変更できます。変換したい文字にタッチすると入力できます。
- **[<]**または**[>]**にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

▼

変換した文字で入力されます。

文字入力を終了する

1 **[完了]**にタッチする

かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	＝
ばつ	×
ぷらす / たす	＋
まいなす / ひく	－
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ / あるふぁー	Α α
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いぷしろん	Ε ε
おみくろん	Ο ο
かい	Χ χ
かっぱ	Κ κ
がんま	Γ γ
しーた	Θ θ
しぐま	Σ σ
たう	Τ τ
でるた	Δ δ
にゅー	Ν ν
ぱい	Π π
ふぁい	Φ φ
ぷさい	Ψ ψ
べーた	Β β
みゅー	Μ μ
らむだ	Λ λ
ろー	Ρ ρ

括弧

読み	記号
かっこ	( ) 〔 〕 [] ｛｝ 〈 〉 《 》 「」 『』 【】

記号・マーク

読み	記号
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	□ ■
まる	○ ● ◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★ ★彡 ☆彡
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	￥
せんと	セント
ど	° ℃
どる	$
ぱーせんと	% パーセント

点

読み	記号
てん	、… ‥ ・
まる	。

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓ ⇒ ⇔

その他

読み	記号
あっとまーく	@
おんぷ	♪
から	～
しゃーぷ	♯
せくしょん	§
ふらっと	♭

1 QUICK SETUP

本機の基本的な設定を、画面の指示に従ってかんたんに行うことができます。ご購入後、本機をはじめてお使いになるときやセキュリティ設定を行っていない場合は、自動的にQUICK SETUP が起動します。設定した内容は、あとから変更することもできます。

QUICK SETUP を行う

QUICK SETUP で設定できる項目と順序は、以下のとおりです。

セキュリティ設定
ナビゲーションシステムのセキュリティを設定できます。

▼

標準・かんたんモード画面切替
操作画面を標準またはかんたんモードに設定できます。

▼

自宅登録
自宅の登録ができます。

▼

ガイダンス音量設定
ナビの案内音量を設定できます。

▼

車両情報設定
長さ、幅、高さ、およびナンバーを設定して、車の有料道路料金区分や駐車制限に反映します。

▼

地図表示カスタマイズ
地図表示色、ルート表示色、または地図に表示される文字サイズを変更できます。

▼

エコ設定
一般道路と高速道路の燃費を設定して、エコルートの計算に反映します。

▼

Bluetooth 設定
本機に接続する Bluetooth 機器を登録できます。

QUICK SETUP を開始する

1 [QUICK SETUP を開始する] にタッチする

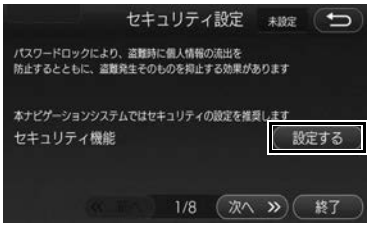


インフォメーション

- あとで設定したい場合は、**[次回起動時に設定する]** にタッチしてください。次回起動時も QUICK SETUP が起動します。また、本機の起動時以外から設定を行いたい場合は、MENU − **[設定・編集]** − **[ナビ]** − **[ナビ詳細設定]** − **[その他]** − **[QUICK SETUP]** から設定することもできます。
- **[設定しない]** にタッチすると、QUICK SETUP を行わず、地図画面を表示します。ただし、セキュリティ設定をしていない場合は、**[設定しない]** にタッチできません。
- QUICK SETUP 設定中は、**[次へ]** にタッチすると次の設定へ、**[前へ]** にタッチすると前の設定に移ることができます。
- QUICK SETUP 設定中は、**[終了]** − **[はい]** にタッチすると、その時点までの設定を保存して QUICK SETUP を終了します。
- 設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください。

セキュリティ設定

2 [設定する] にタッチし、セキュリティの設定をする



インフォメーション

- セキュリティの設定にはパスワードの設定が必要です。→**「セキュリティ設定をする」(P.162)**
- **[設定する]** にタッチした場合は、→**「セキュリティ機能を設定する」**手順2**(P.163)** を参照ください。

3 [次へ] にタッチする

標準・かんたんモード画面切替

4 [標準] または [かんたん] にタッチする



インフォメーション

- 標準・かんたんモードの詳細については、→**「標準・かんたんモード画面について」(P.51)** を参照してください。

5 [次へ] にタッチする

自宅登録

6 [現在地周辺から登録] または [住所から登録] にタッチする



インフォメーション

- **[現在地周辺から登録]** にタッチした場合、現在地周辺の地図から選択します。**(→ P.82)**
- **[住所から登録]** にタッチした場合、都道府県名から順に選択します。**(→ P.84)**

7 設定後に、[セット] にタッチする



▼

手順6の画面に戻ります。

8 [次へ] にタッチする

ガイダンス音量設定

9 [小] から [大] の間で選択してタッチする。音声を出力させないときは [消音] にタッチする



[消音]	音声が出力されません。(消音)
[小]	音量が最小となります。
[・] [中]	お好みに合わせて、音量を調節できます。
[大]	音量が最大となります。

インフォメーション

- ETC 音声も連動して設定されます。
- 設定後にアナウンスが流れますので、設定音量を確認してください。

10 [次へ] にタッチする

車両情報設定

11 [全長]、[全幅]、[全高]、および [ナンバー] の各項目にタッチして内容を設定する



[>]	寸法を大きくする、またはナンバープレートの分類番号を選択します。
[<]	寸法を小さくする、またはナンバープレートの分類番号を選択します。

12 [次へ] にタッチする

地図表示カスタマイズ

13 地図色 、ルート色 、および 文字サイズ の各タブスイッチにタッチして内容を設定する



インフォメーション

- 夜画面での各種設定は、車のライトを点灯した状態で行ってください。
- 文字サイズは、[小] [中] [大] から選択することができます。

14 [次へ] にタッチする

エコ設定

15 [一般道燃費] と [高速道路燃費] にそれぞれタッチして内容を設定する



[>]	タッチすると燃費の数値が上がります。
[<]	タッチすると燃費の数値が下がります。

インフォメーション

- 工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店などで確認なさった燃費を入力してください。

16 [次へ] にタッチする

Bluetooth 設定

17 [登録] にタッチして、Bluetooth 接続画面に表示される案内に従って、携帯電話本体を操作する



▼

接続が完了するとメッセージが表示され、機器の登録が完了します。

インフォメーション

- 中止する場合は **[中止]** にタッチします。
- 接続中の機器がある場合はメッセージが表示されます。切断して登録を続ける場合は **[はい]** にタッチします。
- 詳しくは、→ **「2. Bluetooth 設定をする」(P.152)** をご覧ください。

QUICK SETUP を終了する

18 [完了] にタッチする

インフォメーション

- **[完了]** にタッチした後にメッセージが表示されます。設定を終了する場合は **[はい]** にタッチします。設定を見直したい場合は **[いいえ]** にタッチしてください。

2 テレビを見るための準備

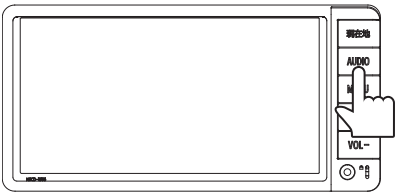
本機をご購入後、はじめてテレビ（ワンセグ放送）をご覧になるときは、受信可能なチャンネルを探して本機に登録する作業（チャンネルスキャン）が必要です。

インフォメーション

- テレビに関する詳しい操作方法は、→「3. テレビ（ワンセグ放送）を見る」（P.189）をご覧ください。
- チャンネルスキャンは、テレビの電波を受信しやすい場所で行ってください。（地下駐車場などでは電波を受信しない場合があります。）
- 設定初期化（→ P.168）したときにもチャンネルスキャンが必要です。

1 エンジン / ハイブリッドシステムを始動する

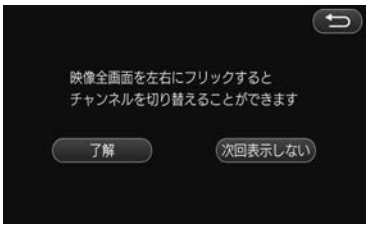
2 地図画面が表示されたら AUDIO を押す



3 [TV] にタッチする



4 [了解]、または［次回表示しない］タッチする



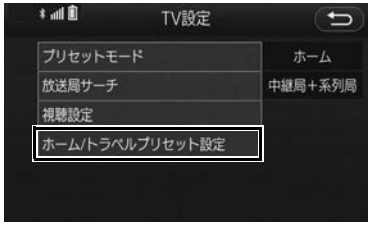
▼

映像にタッチします。

5 [TV 設定] にタッチする



6 [ホーム / トラベルプリセット設定] にタッチする



インフォメーション

- **[ホーム / トラベルプリセット設定]** が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。（→ P.193）

7 [スキャン] に長くタッチする



▼



▼

チャンネルスキャンが終了すると、
ホーム / トラベルプリセット設定画面
に戻ります。

3 案内言語を日本語以外に設定

本機で案内する言語を日本語以外に変更できます。

インフォメーション

- 日本語以外の言語に設定しても、全ての表示や案内が設定した言語に切り替わるわけではありません。また、ガイダンス機能の一部は OFF となります。

言語の設定操作

日本語以外に設定できる言語は、英語、中国語、または韓国語です。

1 MENU を押し、[設定・編集] ー [共通] にタッチする

インフォメーション

- メニュー画面（→ P.58）は、設定した言語で表示されます。各言語での **[設定・編集]** は以下の通りです。
  - 日本語：**[設定・編集]**
  - 英語：[Setup]
  - 中国語：**[设置・编辑]**
  - 韓国語：**[설정 / 편집]**

2 [言語設定] にタッチする



選択する言語にタッチします。
[日本語]
[English]
[中文]
[한국어]

3 [OK] にタッチする



インフォメーション

- メッセージ画面は、設定した言語で表示されます。各言語での **[OK]** は以下の通りです。
  - 日本語：[OK]
  - 英語：[OK]
  - 中国語：**[确定]**
  - 韓国語：**[확인]**

▼

設定が完了し、地図画面を表示します。

1 標準・かんたんモード画面について

操作画面には標準モードとかんたんモードの 2 種類があります。QUICK SETUP（→ P.44）や、共通設定画面（**[MENU] − [設定・編集] − [共通] − [標準・かんたんモード画面切り替え]**）で設定できます。どちらのモードに設定しても、操作方法は同じです。

標準・かんたんモードで表示される画面について

以下は標準モード画面とかんたんモード画面の一例です。

ナビメニュー画面

1 **MENU を押す**

かんたんモード画面



標準モード画面



目的地メニュー画面

1 **MENU を押し、[目的地設定] にタッチする**

かんたんモード画面



標準モード画面



オーディオソース選択画面

1 AUDIO を押し、［ソース選択］にタッチする

かんたんモード画面



標準モード画面



情報画面

1 MENU を押し、［情報］にタッチする

かんたんモード画面



標準モード画面



標準・かんたんモード画面を設定する

1 MENU を押し、［設定・編集］－［共通］にタッチする

2 ［標準・かんたんモード画面切替］にタッチする



3 ［標準］または［かんたん］にタッチする



2 リセットまたは初期化について

本体リセットについて

インフォメーション

- 次のようなときは、本機をリセットしてください。
  - 正しく動作しないとき
  - 画面が正しく表示されないとき
- 本体リセットを行っても、本機に登録されている内容や設定は消えません。

1 MENU を 10 秒以上押す

▼

本機が再起動します。

個人情報の初期化について

地点情報や電話帳などの個人情報を初期化します。→**「設定を初期状態に戻す」(P.168)**

注意

- バッテリーを外した場合に初期化される項目（→ P.7）と個人情報初期化をした場合で初期化される項目は異なります。

インフォメーション

- セキュリティ機能解除の案内メッセージが表示された場合、セキュリティ設定をOFF にしてから再度、個人情報の初期化をしてください。(→ P.165)

強制 EJECT について

ディスクが取り出せくなったとき、次の手順でディスクを取り出すことができます。

1 AUDIO を長く押す

2. リセットまたは初期化について

2

ナビゲーション

1 ナビゲーションの基本操作

1 メニューの操作 58
ナビメニューの操作 58

2 地図画面の操作 64
現在地画面を表示する 64
地図を動かす（スクロール） 65
地図の縮尺を変える 66
地図の表示方法を変える 67
地図の向きを変える 68
地図色切り替えタイミング設定 69
地図表示カスタマイズ 69
施設記号の表示設定をする 70
近くの施設を検索する 72
座標（緯度経度）を表示する 75
通った道を表示する 75
セーフティインフォメーション 75
走行中表示される画面について 76
ハイウェイモードについて 78

3 自宅へ帰る 81
自宅を登録する 81
自宅までルート探索する 81

4 場所を探す 82
地図で探す 82
目的地で探す 82
名称で探す 83
住所で探す 84
施設で探す 85
電話番号で探す 85
メモリ地点で探す 86
ジャンルで探す 87
マップコードで探す 88
特別メモリ地点で探す 88
目的地の履歴で探す 89
トイレのある施設を探す 89
検索結果画面の操作 90

5 詳細情報を見る 91
目的地メニューから場所を探した場合 91
地図上のマークにカーソルを合わせた場合 92

2 ルートの操作

1 ルートを探索する 94
ルート案内開始画面の見かた 95
ルート情報を表示する 95
他のルートを選ぶ 96
デモ走行で確認する 97
ルート探索機能について 97
全ルート図を表示する 98

2 ルート誘導・案内 99
ルート案内中の現在地画面 99
音声による誘導・案内 102

3 ルート案内中の操作と機能 105
ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する 105
ルートの再探索をする 105
状況に応じて新しいルートを提案する 107
ルート上の交通情報を案内させる 107
ターンリストの表示 108

4 ルートを変更する 109
目的地を追加する 109
目的地を消去する 110
目的地への順番を並べ替える 111
探索条件を変更する 111
乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する 112

3 登録地の操作

1 場所を登録・編集する..... 113
かんたんな操作で登録する..... 113
自宅を登録する 113
自宅の登録内容を修正する..... 114
自宅を消去する 115
特別メモリ地点を登録する..... 115
特別メモリ地点の登録内容を修正する 116
特別メモリ地点を消去する..... 117
メモリ地点を登録する 117
メモリ地点の登録内容を修正する 118
メモリ地点を消去する 120
迂回メモリ地点を登録する..... 121
迂回メモリ地点の登録内容を修正する 122
迂回メモリ地点を消去する..... 123
登録データを移行する 123

4 その他の操作

1 その他のデータを消去する 127
目的地の履歴を消去する..... 127
ルートの学習内容を消去する 128
通った道を消去する..... 128

2 FM-VICS情報を利用する..... 129
VICS 情報とは..... 129
VICS・交通情報を表示する..... 130
地図上で VICS 情報を見る 131
ルート上の交通情報を案内させる 134
VICS の文字・図形・緊急情報を見る..... 135
地図上の緊急情報対象エリア表示を解除する..... 136
放送局を選ぶ 136

3 車両メンテナンスを利用する 138
メンテナンス案内について 138
メンテナンス項目を設定する 139
販売店の設定をする..... 140
販売店の情報を修正・入力する 140

4 エコ情報メニューを使う 141
燃費設定をする 141
エコ運転評価について..... 141
燃費履歴について 142

5 スマートフォン連携機能を使う 144
NaviCon アプリを起動する 145
NaviCon アプリの操作について..... 146

5 ナビゲーションの設定

1 ナビ詳細設定をする 147
地図表示設定 148
案内表示設定 149
音声設定 150
ルート系設定 150
その他 151

2 Bluetooth設定をする 152
Bluetooth 機器使用上のご注意 152
Bluetooth 機器を初期登録する 153
Bluetooth 機器を切り替える 154
Bluetooth 機器を削除する 156
Bluetooth 設定を変更する 156

3 ナビゲーションの音量を設定する 159
音量設定をする 159

4 車両情報を設定する 160

5 その他の設定をする 162
自車位置のずれを修正する 162
セキュリティ設定をする 162
安全・快適走行の設定をする 166
タッチしたときの応答音の設定をする 166
メニューデザインを変更する 166
ショートカットキーの設定をする 167
設定を初期状態に戻す 168

6 知っておいていただきたいこと

1 故障とお考えになる前に 169
共通項目 169
ナビゲーション 170

2 ナビゲーションのしくみ 172
現在地がわかるしくみ 172
測位の精度を高めるためのしくみ 173
誤差について 174

3 その他の情報 176
検索におけるデータベースについて 176
ルートに関する注意事項 176
記号・マーク一覧 178

1 メニューの操作

ナビメニューの操作

本機のいろいろな機能を使うには、はじめにナビメニューを表示させます。

1 MENUを押す

▼

ナビメニューが表示されます。



[目的地設定]	目的地や場所を探すためのメニューを表示します。
[ルート編集]	ルート編集画面を表示します。(→ P.109) 目的地が設定されているときに操作することができます。
[情報]	交通規制や本機のシステム情報など、各種情報の操作を行うメニューを表示します。(→ P.60)
[電話]	携帯電話機能を使うためのメニューを表示します。 Bluetooth 機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。[はい]にタッチして、登録操作を行ってください。(→ P.59)
[設定・編集]	ナビゲーション機能の設定、電話・通信の設定など、各種設定・編集に関するメニューを表示します。(→ P.60)
[画質調整]	画質の調整画面に切り替えたり、画面を消したりします。(→ P.63)
[TILT・EJECT]	ディスクや SD カードを出し入れしたり、ディスプレイの角度を調整したりします。(→ P.63)
[←地図]	現在地画面を表示します。(→ P.64)

目的地メニュー



[名称]	目的地の名称を入力して検索します。(→ P.83)
[住所]	目的地の住所を入力して検索します。(→ P.84)
[施設]	目的地のジャンルを指定して検索します。(→ P.85)
[電話番号]	目的地の電話番号を入力して検索します。(→ P.85)
[メモリ地点]	登録したメモリ地点を目的地に設定します。(→ P.86)
[ジャンル]	自車周辺施設のジャンルを指定して検索します。(→ P.87)
[マップコード]	目的地のマップコードを入力して検索します。(→ P.88)
特別メモリに行く [1] ～ [5]	登録した特別メモリ地点を目的地に設定します。(→ P.88)
[履歴]	過去に検索した地点から目的地を選んで検索します。(→ P.89)
[トイレ]	トイレのある施設を検索します。(→ P.89)

[自宅に帰る] ／ [自宅登録]	自宅までのルートを探索します。(→ P.81) 自宅が未登録の場合は自宅の登録を行います。(→ P.81)
[目的地消去]	目的地までの道がわかるときなど、ルート案内が不要になったときには、目的地を消去することができます。(→ P.110) 目的地が設定されているときに操作することができます。 [目的地消去] にタッチすると。→「目的地を消去する」(P.110) 手順3の画面が表示されます。

ルート編集メニュー



[目的地追加]	目的地を追加します。(→ P.109)
[目的地消去]	目的地を消去します。(→ P.110)
[目的地並び替え]	目的地を並べ替えます。(→ P.111)
[高速入口出口指定]	入口 IC や出口 IC を指定します。(→ P.112)
[ルート詳細変更]	探索条件を変更します。(→ P.111)
[スマート IC 考慮]	スマート IC を乗降 IC の対象とするルート探索を ON/OFF します。
[季節規制回避] ※	季節規制区間を回避するルート探索を ON/OFF します。規制区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ON にしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。
[探索開始]	ルートの編集後、ルート探索を開始します。

※ 季節規制区間を通るルートが探索されたときに表示されます。

電話メニュー



[電話帳]	登録されている電話帳データを表示します。(→ P.282)
[ワンタッチダイヤル]	ワンタッチダイヤルに登録されているデータを表示します。(→ P.282)
[履歴]	発着信の履歴を表示します。(→ P.283)
[交通ナビ]	交通ナビ関連情報を表示します。(→ P.283)
[設定]	Bluetooth 機器の登録、切り替え、削除の設定を行います。(→ P.62)
	入力した番号に電話をかけます。(→ P.281)
[←]	入力を間違えたときに修正します。

情報メニュー



[エコ運転評価履歴]	エコ運転評価の履歴を表示します。(→ P.142)
[燃費]	給油量と走行距離から燃費を計算して燃費履歴を表示します。(→ P.142)
[VICS]	交通規制の確認や情報取得を行います。(→ P.135)
[ETC]	本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットを接続したときに表示され、ETC の利用履歴を確認できます。(→ P.272)
[燃費設定]	エコなルート表示の計測の基準となる燃費設定を行います。(→ P.141)



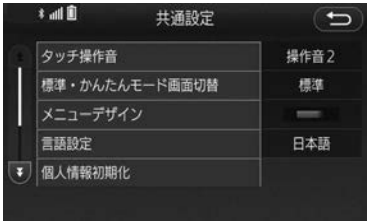
[ソフトウェア更新]	本機のソフトウェアを更新します。(→ P.228)

設定・編集メニュー



[共通]	機器に共通する設定をします。(→ P.61)
[ナビ]	ナビゲーションの設定をします。(→ P.61)
[Bluetooth]	電話機やオーディオ機器との接続と解除をします。(→ P.62)
[電話]	電話の設定をします。(→ P.62)
[運転支援]	地図の案内表示の設定をします。(→ P.62)
[メンテナンス]	メンテナンス機能の設定をします。(→ P.62)
[ETC]	ETC の設定をします。(本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットを接続した場合だけ表示されます。) (→ P.63)

[共通]



[タッチ操作音]	タッチ操作音の設定をします。**(→ P.166)**
[標準・かんたんモード画面切替]	本機の画面モードを設定をします。**(→ P.52)**
[メニューデザイン]	画面のメニューデザインの設定をします。**(→ P.166)**
[言語設定]	本機で案内する言語の設定をします。**(→ P.50)**
[個人情報初期化]	設定を工場出荷時の状態に戻します。**(→ P.168)**
[セキュリティ設定]	セキュリティの設定をします。**(→ P.162)**
[ショートカット登録・編集]	ショートカットスイッチの登録、編集を行います。**(→ P.167)**
[オープンソフトウェア情報]	本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。(該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。)**(→ P.227)**

[ナビ]



[ガイダンス音量設定]	ナビゲーションの案内音量を調整します。**(→ P.159)**
[案内中止] / [案内再開]	ルート案内を中止／再開します。
[ルート編集]	**→「ルートを変更する」(P.109)** 手順1のルート編集画面を表示します。目的地が設定されているときに操作することができます。
[メモリ地点登録・編集]	メモリ地点の登録、修正、または消去を行います。**(→ P.113,120)**
[ナビ詳細設定]	ナビゲーションの詳細設定を行います。**(→ P.147)**
[地図使用データ]	地図データのバージョンを表示します。**(→ P.227)**

[Bluetooth]



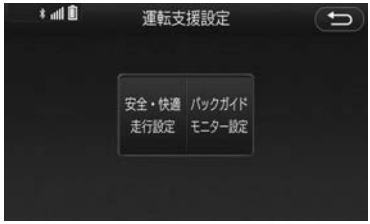
[(機器名称)]	機器が登録されている場合に、選択した Bluetooth 機器の情報を表示します。(→ P.154)
[Bluetooth 詳細設定]	Bluetooth の詳細設定をします。(→ P.156)
[新しい機器を登録する]	本機と Bluetooth 機器の Bluetooth 登録をします。(→ P.153)
[削除]	Bluetooth 機器の登録を削除します。(→ P.156)

[電話]



[電話機接続]	Bluetooth 機器を接続します。(→ P.154)
[通話 / 着信音設定]	ハンズフリーの各音量の調整を設定します。(→ P.287)
[電話帳 / 履歴設定]	電話帳や履歴を設定します。(→ P.289)
[通知設定]	ハンズフリー画面表示の設定をします。(→ P.286)

[運転支援]



[安全・快適走行設定]	踏切などの案内を設定します。(→ P.166)
[バックガイドモニター設定]	バックガイドモニターの設定をします。(→ P.260)(本機に販売店装着オプションのバックガイドモニターを装着した場合だけ表示されます。)

[メンテナンス]



[自動通知]	交換時期通知の設定をします。(→ P.138)
[設定全消去]	お知らせ時期の設定を消去します。(→ P.138)
[自動全更新]	お知らせ時期が過ぎた項目を全て更新します。(→ P.138)
[販売店設定]	販売店の設定をします。(→ P.140)

[ETC]



[ETC 割込表示]	ETC を利用するときに、利用料金などの割り込み表示をするかしないかの設定を行います。**(→ P.274)**
[ETC 音声案内]	ETC を利用するときに、利用料金などの音声案内をするかしないかの設定を行います。**(→ P.274)**
[ACC オン時警告表示]	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードにしたときに、ETC カードの異常などを画面に表示するかしないかの設定を行います。**(→ P.274)**
[ACC オン時警告音声案内]	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモードにしたときに、ETC カードの異常などを音声で案内するかしないかの設定を行います。**(→ P.274)**
[カード抜き忘れ警告]	車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモードから OFF にしたときに、ETC カードの抜き忘れをお知らせするかしないかの設定を行います。**(→ P.274)**

画質調整メニュー



[昼画面]	夜画面で表示されている場合だけ **[昼画面]** を選択できます。タッチするごとに、強制的に昼画面を表示するか設定します。(ON/OFF)
[画面消]	画面を消します。**(→ P.30)**
コントラスト	画面のコントラストを調整します。**(→ P.32)**
明るさ	画面の明るさを調整します。**(→ P.32)**

TILT・EJECT メニュー



[傾ける] / [戻す]	ディスプレイの角度を調整します。**(→ P.31)**
[CD 挿入] / [CD 取り出し]	ディスクを挿入、または取り出します。**(→ P.35,36)**
[SD カード挿入] / [SD カード取り出し]	SD カードを挿入、または取り出します。**(→ P.37,38)**
[ディスプレイを閉じる]	画面モニターを閉じます。**(→ P.36,37,38)**

2 地図画面の操作

ナビゲーションの地図表示には、自分の車（自車）の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面を表示する

どの画面を表示していても、すばやく現在地画面に戻ることができます。

1 **現在地** を押す

▼

現在地の地図が表示されます。



現在地画面の見かた

ETC マーク
本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC システムが接続され、ETC カードが挿入済みの場合に表示されます。

Bluetooth マーク
Bluetooth 機器を登録すると表示されます。(→ P.153)

受信レベル
携帯電話の電波状態を表示します。

電池残量
携帯電話の電池残量を表示します。

縮尺表示
表示させている地図の縮尺を表示します。

ステータスバー



GPS マーク
GPS 電波による測位中に表示されます。

方位マーク
地図の方角を表示します。
タッチするごとに、地図の向きを変更できます。
(→ P.68)

交通情報提供時刻表示
VICS・交通情報を受信した時刻を表示します。

時計表示
現在の時刻を表示します。
非表示にすることもできます。
(→ P.151)

自車マーク
現在位置と車が向いている方角を表示します。

インフォメーション

- 本機をはじめて使うときや、長期間使っていなかったときは、現在地を表示するまでに 5 分程度かかることがあります。
- 自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- 走行中は地図上に細街路は表示されません。ただし、細街路を走行中のときはその細街路が表示されます。
- 軌跡表示は、今までに通った約 1000km 分の通った道が表示できます。
- 現在の時刻は、GPS 衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻の変更はできません。

地図を動かす（スクロール）

地図上の見たい場所に地図を動かします。

1 地図上にタッチし、カーソルが表示されたら地図を動かしたい方向に指を動かす

▼

指を動かした方向に地図が動きます。
（地図スライド操作）



スクロール画面の見かた



ここに行くスイッチ
カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。
(→ P.90)

地図の縮尺を変える

25m ～ 200km の範囲で地図の縮尺を変えることができます。

1 [詳細] または [広域] にタッチする



[詳細]	より詳しい地図が表示されます。表示される範囲は狭くなります。
[広域]	より広い範囲で地図が表示されます。細い道路などは表示されません。

インフォメーション

- **[詳細]** や **[広域]** にタッチするごとに、50m、100m、200m、400m、800m、1.6km、3km、7km、13km、26km、50km、100km、200km と縮尺表示が変わります。
- **[詳細]** や **[広域]** にタッチし続けると、連続して縮尺表示を変えることができます。また、**[詳細]** や **[広域]** にタッチしたあとに表示されるスケールバーにタッチしても縮尺を変更できます。
- 市街図収録エリアでは、50m 縮尺表示で **[市街図]** にタッチすると、50m 縮尺の市街図表示に切り替えられます。さらに **[詳細]** にタッチすると、25m 縮尺の市街図を表示できます。
  25m 縮尺の市街図表示で **[広域]** にタッチすると、50m 縮尺の市街図表示に切り替わります。50m 縮尺表示で **[広域]** にタッチすると、通常地図に戻ります。
- 市街図は、時速 80km/h 以下で表示することができます。

地図の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 [表示変更] にタッチする



2 [画面分割] にタッチする



3 地図の表示方法にタッチする



表示方法の種類

地図 1 画面

通常の地図で表示されます。



地図2画面

地図が左右に2分割して表示されます。

画面の分割表示および右画面の表示設定はナビ詳細設定画面でも設定できます。(→ P.148)



インフォメーション

- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。
- 一度 2 画面表示を解除し、再度 2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

地図＆ターンリスト

分岐する交差点、IC、JCT、追加目的地の名称、案内方向、および距離などの情報が画面に表示されます。(→P.108)



インフォメーション

- ターンリストの表示または表示解除は、ルート案内中の場合だけ切り替えできます。

高速略図表示（ハイウェイモード）

有料道路走行時の専用画面です。前方の有料道路施設までの距離、予想到着（通過）時刻などが表示されます。ハイウェイモードについては、→「ハイウェイモードについて」(P.78)をご覧ください。



地図＆エコ情報

エコ運転評価画面（→P.141）が、地図の右側に表示されます。



地図の向きを変える

地図表示の向きは、ノースアップ、ヘディングアップ、ヘディングアップ（3 D）があります。

ノースアップとは、車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように地図を表示します。ヘディングアップとは、車の進行方向が常に上向きになるように地図を表示します。

画面左上の方位マークをタッチして切り替えます。

ノースアップ



ヘディングアップ



ヘディングアップ（3D）



地図色切り替えタイミング設定

昼画面表示と夜画面表示を切り替えるタイミングを設定できます。

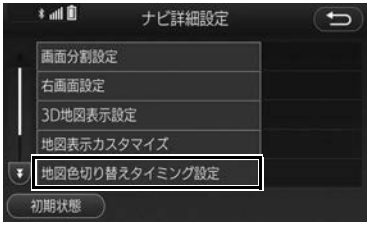
1 MENUを押し、［設定・編集］－［ナビ］にタッチする

2 ［ナビ詳細設定］にタッチする

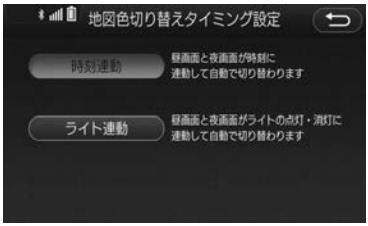
3 ［地図表示設定］にタッチする



4 ［地図色切り替えタイミング設定］にタッチする



5 設定する項目にタッチする



［時刻連動］	画面表示が時刻に合わせて、昼画面または夜画面に自動で切り替わります。
［ライト連動］	画面表示がライトの点灯・消灯に合わせて、昼画面（消灯時）または夜画面（点灯時）に自動で切り替わります。

地図表示カスタマイズ

地図上の以下の項目を設定できます。

- 地図色
- ルート色
- 文字サイズ

インフォメーション

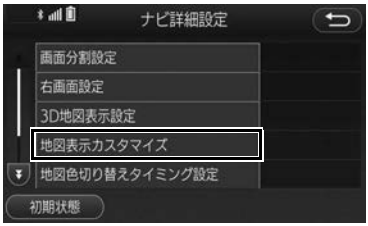
- 夜画面での各種設定は、車のライトを点灯した状態で行ってください。

1 MENUを押し、［設定・編集］－［ナビ］にタッチする

2 ［ナビ詳細設定］にタッチする

3 ［地図表示設定］にタッチする

4 [地図表示カスタマイズ] にタッチする



5 設定するタブスイッチにタッチする



地図色	表示されているカラーイメージから、地図の色を選択します。
ルート色	表示されているカラーイメージから、ルートの色を選択します。
文字サイズ	地図上の文字サイズを**[大]**、**[中]**、**[小]** から選択します。

6 設定する項目にタッチする

インフォメーション

- 初期設定の状態に戻す場合は、手順5の画面の **[初期状態]** にタッチします。

7 にタッチする

施設記号の表示設定をする

さまざまな施設の施設記号を地図上に表示させることができます。

1 現在地画面で、[表示変更] ー [周辺施設] にタッチする



2 施設記号を表示させたいジャンルにタッチする



▼

選んだ施設記号が地図上に表示されます。

インフォメーション

- **[駐車場あり]**、**[24 時間営業]**、および **[バリアフリー]** にタッチすると、該当する施設だけをリストに表示します。
- 条件を考慮したリストを表示しているときは、選択したスイッチ左横のインジケータが点灯します。
- ナビ詳細設定の「周辺施設表示」でも同じ設定ができます。**(→ P.148)**
- 操作を繰り返すことにより、施設のジャンルを 5 個まで表示できます。
- 縮尺表示が 800m を超える場合、施設記号は表示されません。
- 手順 2 の画面で表示される施設のジャンルは、「周辺施設走行中呼び出しジャンル」で変更できます。**(→ P.151)**

全てのジャンルから選ぶ

本機に登録されている全てのジャンルから選びます。

1. 現在地画面で、[表示変更] − [周辺施設] − [全ジャンルから選ぶ] にタッチする
2. 施設記号を表示させたいジャンルにタッチする



3. 施設記号を表示させたい詳細ジャンルにタッチする



▼

選んだ施設記号が表示されます。

インフォメーション

- ナビ詳細設定の「周辺施設表示」でも同じ設定ができます。**(→ P.148)**
- 操作を繰り返すことにより、施設のジャンルを 5 個まで表示できます。

施設記号の表示を解除する

1. 現在地画面で、[表示変更] − [周辺施設] にタッチする

▼



個別に解除する場合

2. 選択済みの施設のジャンルにタッチする

全て解除する場合

2. [表示を解除] にタッチする

近くの施設を検索する

地図上に施設の記号を表示させているときに、自車またはカーソルから施設の直線距離と方向を表示させます。

1 現在地画面で、［表示変更］－［周辺施設］－［表示施設一覧］にタッチする

2 施設名称にタッチする



▼

選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

インフォメーション

- **［ルート沿い考慮］**にタッチするとルート沿いの施設だけをリストに表示します。
  - 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。
  - ルートを考慮したリストを表示しているときは、「ルート沿い考慮」のスイッチ左横のインジケータが点灯します。
  - 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
  - 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設だけです。

インフォメーション

- **［ソート］**にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。（初期設定は距離順に表示されます。）



［距離順］	自車、またはカーソルから近い施設の順にソートします。
［種類順］	施設の種類順にソートします。

施設記号一覧

	レストラン
	ラーメン専門店
	カレー専門店
	パスタ専門店
	イタリア料理店
	フランス料理店
	スーパーマーケット
DIS COUNT	ディスカウントストア
D	デパート
MALL	ショッピングモール
OUT LET	アウトレットモール
DIY	ホームセンター

¥100 SHOP	100 円ショップ
	化粧品店
	文具・事務用品店
	宝石・貴金属店
	家具・インテリア店
H	ホテル
旅館	旅館
H	ビジネスホテル
H	公共宿舎
民宿	民宿
H	ペンション
カプセル H	カプセルホテル
宿泊	その他宿泊施設
	温泉
	カラオケ
	ゲームセンター
	水族館
	ゴルフ場
	遊園地
	キャンプ場
	ビーチ
	マリーナ
劇場	劇場
	映画館
ライブハウス	ライブハウス

JMS	ジェームス
	レクサス販売店
	トヨタ販売店
DAIHATSU	ダイハツ販売店
U-Car	トヨタ販売店（U-Car）
レンタリース	トヨタレンタリース
買取	中古車買取
整備	自動車整備
板金	板金・塗装
洗車	洗車
	ロードサービス
役所	役所
	警察署
	消防署
図書館	図書館
	公園
裁	裁判所
保健	保健所
〒	郵便局
総合	総合病院
病院	病院・医院・診療所
眼科	眼科
形成	形成外科
外科	外科
肛門科	肛門科

産婦人	産婦人科・産院
耳鼻	耳鼻咽喉科
小児科	小児科
神経	神経科・精神科
心療	心療内科
整形	整形外科
性病科	性病科
内科	内科
泌尿器	泌尿器科
皮膚科	皮膚科
美容	美容外科
	リハビリ施設
病院	動物病院
	その他医療機関
	駅
	空港
	港
IC	高速 IC・有料 IC
SA PA	サービスエリア・パーキングエリア
	道の駅
IC SA PA	一般道 IC・SA・PA
オアシス	ハイウェイオアシス
	名所・旧跡
	神社
卍	寺

	教会
	城・城跡
	美術館
博物	博物館
資料	資料館
ホール	ホール
	プラネタリウム
	天文台
カルチャー	カルチャーセンター
信用金庫	信用金庫
信用組合	信用組合
JA	農協
労働金庫	労働金庫
	学校※
	クリーニング店
	コインランドリー
不動産	不動産
TOYOTA HOME	トヨタホーム
住宅展示場	住宅展示場

※ 学校には以下が含まれます。
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 高等専門学校
- 大学
- 保育園
- 幼稚園
- 学童保育所
- 盲学校
- 養護学校
- 聾学校

座標（緯度経度）を表示する

現在地の緯度経度情報を表示します。

1 **現在地画面で、現在地を押す**

2 **［座標］にタッチする**



▼

緯度経度情報が表示されます。



通った道を表示する

地図画面に通った道を表示することができます。

1 **現在地画面で、［表示変更］にタッチする（→ P.28）**

2 **［通った道を表示］にタッチする**



インフォメーション

- 再度、通った道を消去したい場合は、現在地画面で**［表示変更］－［通った道の表示を解除］**にタッチしてください。**（→ P.128）**

セーフティインフォメーション

状況に応じて安全運転のための各種案内が行われます。

県境案内	○○県に入ります。
一時停止案内	この先、一時停止があります。 ※一時停止交差点に近づくと、案内マーク（）が表示されます。
踏切案内	この先踏切です。ご注意ください。 ※踏切に近づくと、案内マーク（  ）が表示されます。
細街路案内	実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。
合流案内	この先、右（左）からの合流があります。ご注意ください。 ※合流地点に近づくと、案内マーク（など）が表示されます。 ※合流案内は、有料道路を走行中のときに行われます。
カーブ案内	この先、右（左）カーブが、あります。（連続します。） ※急カーブに近づくと、案内マーク（）が表示されます。
レーン案内	およそ○○ m 先右折（左折）専用レーンがあります。ご注意ください。

事故多発地点案内	事故多発地点です。ご注意ください。 ※交通事故が多発している地点に近づくと、案内マーク（  ）が表示されます。
学校存在案内	近くに学校があります。 ※学校に近づくと、案内マーク（  ）が表示されます。

インフォメーション

- 踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない場合でも近くに踏切があれば案内される場合があります。また、全ての踏切で案内されるわけではありません。
- それぞれの案内については、設定（する／しない）を変更できます。

項目	ページ
県境案内	P.149
一時停止案内	P.166
踏切案内	P.166
細街路案内	P.150
合流案内	P.166
カーブ案内	P.166
レーン案内	P.166
事故多発地点案内	P.166
学校存在案内	P.166

- 以下のような条件などの場合は、案内されない場合や実際の状況と異なる案内をすることがあります。実際の交通状況や交通規則・標識などに従って運転してください。
  - 自車位置が正しく表示されていないとき
  - 表示されている地図と実際に走行中の道路状況が異なるとき

走行中表示される画面について

信号機が近づくと

進行方向に対して、約 300m 以内の信号機のマークが最大 5 カ所まで表示されます。



有料道路を走行すると

有料道路を走行すると、自動的にハイウェイモードに切り替わります。



インフォメーション

- 一部表示対象外の有料道路もあります。

走行中の名称表示について

一般道を走行中の場合



インフォメーション

- 自車から1番近くに表示されている信号機に交差点名称が存在する場合、交差点名称が表示されます。
- 交差点名称が表示されないとき、走行中の道路に道路名称が存在する場合、道路名称が表示されます。

有料道路を走行中の場合



インフォメーション

- 高速施設の手前 500m に近づくと、高速施設名称が表示されます。
- ルート案内中のとき、高速施設名称が表示されない場合、ルート上の有料道路分岐の手前約 2km に近づくと、ルートの進行方向の方面名称が表示されます。
- 高速施設名称および方面名称が表示されないとき、走行中の道路に道路名称が存在する場合、道路名称が表示されます。

シーズンレジャーランドマーク表示

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。



桜の名所	
紅葉の名所	

インフォメーション

- シーズンレジャーランドマーク表示のする／しないを設定できます。(→ P.148)
- 縮尺表示が 800m より詳細な場合に表示できます。
- シーズンレジャーランドマークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

ハイウェイモードについて

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り替わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

現在地画面の見かた

渋滞情報
施設間の渋滞状況および規制情報が色とマークで表示されます。

渋滞	赤色
混雑	橙色
通行止め	黒色
順調	表示なし



三番目に近い有料道路施設情報

二番目に近い有料道路施設情報

一番目に近い有料道路施設情報

施設送りタッチスイッチ
有料道路施設を現在地から近い順に送っていきます。最大 100 件の有料道路施設を確認できます。

道路名称表示
走行中の道路名称が表示されます。

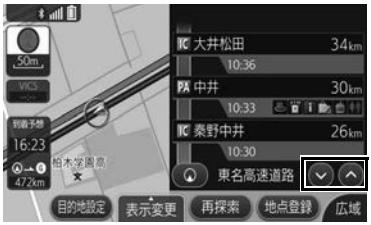
インフォメーション

- ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ 料金所 / スマート IC）と施設名および現在地からの距離と通過予想時刻が表示されます。
- 施設情報には、施設のサービス情報（→ **P.79**）が表示されます。
- VICS 情報を取得している場合は、VICS 情報（→ **P.133**）が表示されます。
- ルート案内中は、有料道路出口のおよそ 1km 手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- **［表示変更］**にタッチすると、他の地図表示を選んで切り替えることができます。
- ほかの地図表示からハイウェイモードに戻すと、左画面は直前の地図表示の向きで表示されます。（例えば直前の地図表示が 3D の場合、ハイウェイモードの左画面は 3D で表示されます。）

先の施設情報を見る

ハイウェイモード中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 [∧]、[∨] にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



インフォメーション

- ルート案内中は、ルートに沿って施設が送られます。
- 最大で 100 施設先まで見ることができます。
- にタッチすると、現在地から最寄りの施設を表示します。

サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

― ※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	休憩所
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	ドラッグストア
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

※ 各社固有のマークが表示されます。

インフォメーション

- 同時に表示される情報は 7 個までです。8 個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、8 個目以降は表示されません。

渋滞情報表示について

VICS 情報を取得している場合は、施設間の渋滞状況と規制情報が色とマークで表示されます。(→ P.78)

ETC カード有効期限切れ通知について

本機の電源 ON 時に、本機に接続した販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットに ETC カードが挿入された場合、ETC のカード情報によりメッセージ表示と音声案内が行われます。

インフォメーション

- 接続した ETC ユニットが有効期限通知機能に対応していない場合、案内は行いません。

通常時の例

メッセージ	ETC カードが挿入されました
音声案内	ETC カードが挿入されました。

有効期限切れが当月の場合の例

メッセージ	ETC カードの有効期限は今月末です。カードをお確かめください
音声案内	ETC カードの有効期限は今月末です。カードをお確かめください。

有効期限がすでに切れている場合の例

メッセージ	ETC カードの有効期限が切れています
音声案内	ETC カードの有効期限が切れています。

3 自宅へ帰る

自宅を登録すると、全国どこへ出かけていてもかんたんな操作で自宅までのルート案内を行うことができます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、かんたんな操作で自宅へのルート探索ができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］－［自宅登録］にタッチする

▼



［現在地周辺］	現在地周辺の地図から登録します。**（→ P.64）**
［目的地履歴］	目的地履歴リストから登録します。
［住所指定］	住所から検索して登録します。**（→ P.84）**

▼

自宅が登録されます。

インフォメーション

- QUICKSETUP **（→ P.44）**で登録することもできます。
- 自宅の位置は変更できます。**（→ P.114）**
- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を消去**（→ P.115）**してから登録してください。QUICKSETUPで自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅までルート探索する

登録した自宅を目的地として、ルート探索を行います。

1 MENUを押し、［目的地設定］－［自宅に帰る］にタッチする



▼

［案内開始］にタッチすると、ルート案内が開始され、状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。自宅に近づくとルート案内は終了します。

インフォメーション

- 案内中のルートがある場合は、自宅を中心とした地図画面が表示されますので、**［新規目的地］**または**［追加目的地］**にタッチしてください。
- **［5 ルート選択］**が表示されている場合、タッチすると自宅までのルートが最大５本まで探索されます。

4 場所を探す

ナビゲーションの操作は場所（行き先、立寄地などの目的地）を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

インフォメーション

- 検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- 施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道路上が目的地になる場合があります。
- 自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路上に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。
- 検索した場所（施設）に駐車場データが収録されている場合、その施設の駐車場を目的地として案内する場合があります。

地図で探す

地図上で探すことができます。

1 地図をスクロールさせて、目的の場所にカーソルを合わせる



以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

目的地で探す

1 MENUを押し、［目的地設定］にタッチする



項目	機能
［名称］	名称で検索した施設や店舗がある地点の地図を表示します。（→ P.83）
［住所］	県名や市町村名、番地で指定した地点の地図を表示します。（→ P.84）
［施設］	さまざまなジャンルから検索した施設がある地域の地図を表示します。（→ P.85）

項目	機能
[電話番号]	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示します。(→ P.85)
[メモリ地点]	メモリ地点を登録している場合、メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示します。(→ P.86)
[ジャンル]	食べる・遊ぶなどの目的から現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示します。(→ P.87)
[マップコード]	書籍などに掲載されたマップコードを入力して、その地域の地図を表示します。(→ P.88)
特別メモリに行く [1]～[5]	登録されている特別メモリ地点の地図を表示します。(→ P.88)
[履歴]	過去に設定した目的地の履歴から選択した地点の地図を表示します。(→ P.89)
[トイレ]	トイレのある施設を検索します。(→ P.89)

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1 MENUを押し、[目的地設定] ー [名称] にタッチする

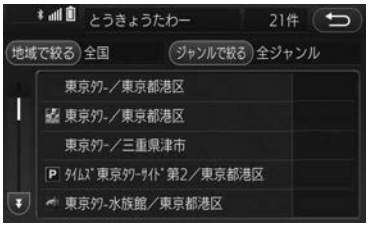
2 施設の名称をひらがな入力し [検索] にタッチする



インフォメーション

- ひらがな以外の入力はできません。カタカナ、漢字、および英数字などを含む施設を探すときも、全てひらがなで入力します。
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます。(キーワード検索)
- 修正するときは [←] にタッチします。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 名称は 12 文字目まで入力できます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗(チェーン店など)があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータがない旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設をリストから探して、施設名称にタッチする



[地域で絞る]	住所（都道府県・市町村）、現在地周辺、または目的地周辺などによる絞り込みができます。
[ジャンルで絞る]	ジャンルによる絞り込みができます。

▼

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

1 MENUを押し、[目的地設定] ー [住所] にタッチする

2 都道府県名、市区町村名、地名の順にタッチする



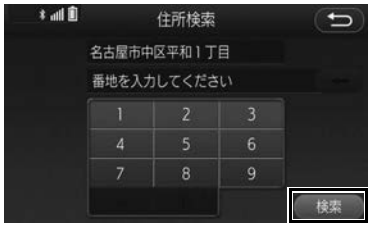
インフォメーション

- 各主要部にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。
- 郡・大字・字は表示されません。郡・大字・字が含まれる住所を検索するときは、省略して入力します。
  例：実際の住所が「東京都大島町元町字北の山」のとき、「東京都ー大島町ー元町ー北の山」で検索。

3 [番地指定] にタッチする



4 番地を入力して [検索] にタッチする



▼

入力した住所を中心とした地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

インフォメーション

- 入力した番地に該当する住所がないときは、**[了解]** にタッチするとその丁目（字）の広域図が表示されます。

施設で探す

表示されているジャンルから各種施設を探すことができます。

- ゴルフ場
- 駅
- ホテル
- 役所
- 空港
- 式場
- 病院
- 販売店
- その他

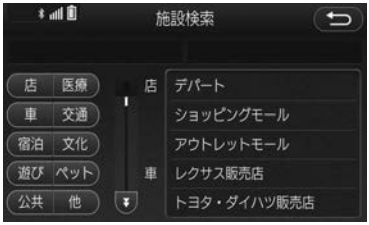
1 MENUを押し、［目的地設定］－［施設］にタッチする

2 検索する施設のジャンルにタッチする



該当するジャンルがない場合は、**［その他］**をタッチして該当するジャンルを選択してください。

［その他］にタッチした場合



3 都道府県名にタッチする



4 施設を選んでタッチする



▼

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

電話番号で探す

電話番号で探すことができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］－［電話番号］にタッチする

2 検索する電話番号を入力し、［検索］にタッチする



インフォメーション

- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号が以下のとき、市外または市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  - 該当する施設がないとき
  - 個人住宅などのとき
- 間違えたときは**【←】**にタッチして修正します。
- 同じ電話番号で複数の地点がある場合、電話番号検索候補表示リスト画面が表示されます。表示したい地点の施設を選んでタッチします。

▼

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作**（→ P.90）**を参照してください。

メモリ地点で探す

メモリ地点を登録**（→ P.117）**している場合、登録されているメモリ地点から探すことができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］ー［メモリ地点］にタッチする

2 地点を選んでタッチする



インフォメーション

- **［ソート］**にタッチして、**［50 音順］、［マーク順］**または**［登録順］**に並べ替えることができます。（50 音順に並べ替えるには、名称読みの入力**（→ P.118）**が必要です。）

▼

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作**（→ P.90）**を参照してください。

ジャンルで探す

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を探すことができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］にタッチする

2 ［▶▶］にタッチする



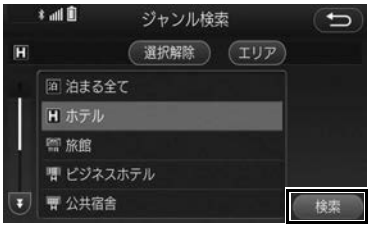
3 ［ジャンル］にタッチする



4 施設のジャンルにタッチする



5 詳細な施設のジャンルにタッチし、［検索］にタッチする



インフォメーション

- 5つまで選択することができます。
- 間違えた場合は、**［選択解除］**または選択済みのジャンルにタッチします。

6 施設名称にタッチする



［ソート］にタッチすると、表示する順序を切り替えることができます。（初期設定は距離順に表示されます。）

［距離順］	自車から近い施設の順にソートします。
［種類順］	施設のマーク順にソートします。

インフォメーション

- **［ルート沿い考慮］**にタッチするとルート沿いの施設だけをリストに表示します。
  - 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。
  - ルートを考慮したリストを表示しているときは、「ルート沿い考慮」のスイッチ左横のインジケータが点灯します。
  - 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
  - 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設だけです。

▼

施設付近の地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

マップコードで探す

マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

インフォメーション

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大 13 桁（拡張マップコードの場合）の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所もマップコードでは特定することができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］にタッチする

2 ［▶▶］にタッチする

3 ［マップコード］にタッチする

4 マップコードを入力して、［検索］にタッチする



インフォメーション

- 間違えた場合は［←］にタッチして修正します。

▼

該当する地図が表示されます。以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

特別メモリ地点で探す

特別メモリ地点を登録している場合、登録されている特別メモリ地点から探すことができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］にタッチする

2 登録してある特別メモリ地点［①］～［⑤］（→ P.115）を選んでタッチする



目的地の履歴で探す

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され目的地の設定のときなどに履歴から地図を呼び出せます。

1 MENUを押し、［目的地設定］ー［履歴］にタッチする

2 表示したい目的地の履歴にタッチする



▼

該当する地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

目的地の履歴を消去する

不要な目的地の履歴を選択して消去します。（→ P.127）

トイレのある施設を探す

現在地周辺でトイレのある施設を探すことができます。

1 MENUを押し、［目的地設定］ー［トイレ］にタッチする

2 施設名称にタッチする



インフォメーション

- **［駐車場あり］**、**［24 時間営業］**、および**［バリアフリー］**にタッチすると、該当する施設だけをリストに表示します。
- 条件を考慮したリストを表示しているときは、選択したスイッチ左横のインジケータが点灯します。
- **［ルート沿い考慮］**にタッチするとルート沿いの施設だけをリストに表示します。
  - 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右のどちらの方向にあるかを表示します。
  - ルートを考慮したリストを表示しているときは、「ルート沿い考慮」のスイッチのインジケータが点灯します。
  - 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
  - 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設だけです。
- トイレ施設データベースについて
  - 対象施設は役所、ホテル、道の駅、ホール、公園、デパート、博物館、美術館、国際展示場、ショッピングモール、アウトレットモール、コンビニ、旅館、各種資料館になります。
    ※ 一般のお客様が利用できない施設（企業内のコンビニ等）は検索対象外となります。

▼

該当する地図が表示されます。
以降の操作は、検索結果画面の操作（→ P.90）を参照してください。

検索結果画面の操作

地図を動かしたあとや、場所を探したあとに、自動的に検索結果画面が表示されます。この画面からルート探索、地点登録、および詳細情報の表示などができます。

1 地図をスクロール（→ P.65）または場所を探す（→ P.82）

▼

カーソルの位置や地図の表示状況によって、それぞれに応じた検索結果画面が表示されます。

スクロール画面の場合



[情報]	検索した場所に詳細情報のデータが収録されている場合は、詳細情報を表示します。**(→ P.92)**
[詳細]	地図の範囲を狭くします。**(→ P.66)**
[目的地設定]	目的地を検索します。**(→ P.58)**
[表示変更]	地図表示などの表示変更画面を表示します。**(→ P.67,70,98)**
[ここに行く]	検索結果画面が表示されます。
[地点登録]	メモリ地点に登録します。**(→ P.117)** 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、**→「メモリ地点で探す」(P.86)** をご覧ください。
[広域]	地図の範囲を広くします。**(→ P.66)**

結果画面の場合

目的地が 1 か所のとき



目的地が複数のとき



[詳細]	地図の範囲を狭くします。**(→ P.66)**
	登録されている電話番号に電話をかけます。**(→ P.285)**
[提携 P]	検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。**(→ P.92)**
[地点登録]	メモリ地点に登録します。**(→ P.117)** 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、**→「メモリ地点で探す」(P.86)** をご覧ください。
[目的地確定]	カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。**(→ P.95)**
[追加目的地]	カーソル位置を目的地に追加して、ルート探索を行います。**(→ P.109)**
[新規目的地]	目的地を全て消去し、カーソル位置を目的地としてルート探索を行います。**(→ P.95)**
[広域]	地図の範囲を広くします。**(→ P.66)**

5 詳細情報を見る

目的地メニューを使って探した場所については、その場所の情報が収録されている場合に限り詳細情報を表示することができます。

インフォメーション

- 利用した目的地メニューの項目によって、表示できる詳細情報の内容やスイッチの表示が異なります。

目的地メニューから場所を探した場合

1 目的地メニューを使って場所を探す（→ P.82）

メモリ地点（→ P.117）、特別メモリ地点（→ P.115）、および自宅（→ P.113）の登録から探索する場合も含みます。

2 情報を確認する

目的地未設定の場合



目的地設定済の場合



名称／周辺施設／電話番号／ジャンル／施設から探した場合

	登録されている電話番号に電話をかけます。（→ P.285）
[地点登録]	検索した情報をメモリ地点に登録します。（→ P.117） 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、→「メモリ地点で探す」（P.86）をご覧ください。
[目的地確定]	カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。（→ P.95）
[追加目的地]	カーソル位置を目的地に追加します。（→ P.109）
[新規目的地]	目的地を全て消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探索します。（→ P.95）
[提携 P]	検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。（→ P.92）

メモリ地点／電話番号（該当施設がメモリ地点登録されている場合）から探した場合

	登録されている電話番号に電話をかけます。(→ P.285)
[地点登録]	検索した情報をメモリ地点に登録します。(→ P.117) 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、→**「メモリ地点で探す」**(P.86)をご覧ください。
[目的地確定]	目的地を設定します。(→ P.95)
[追加目的地]	カーソル位置を目的地に追加します。(→ P.109)
[新規目的地]	目的地をすべて消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探索します。(→ P.95)

提携駐車場を検索する

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 [提携 P] にタッチする



▼

提携駐車場のリストが表示されます。

2 駐車場名称にタッチする

▼

タッチした駐車場の地図が表示されます。
専用駐車場は（青色）、提携駐車場は（緑色）で表示されます。

インフォメーション

- **[提携 P]** にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。
- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報(→ P.151)により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

地図上のマークにカーソルを合わせた場合

1 地図をスクロールさせてカーソルを地図上のマークに合わせ、[情報] にタッチする



インフォメーション

- 表示対象となるのは、下記のマークです。
  - 周辺施設表示の施設記号
  - メモリ地点マーク
  - 目的地マーク
  - VICS マーク
- 3D ランドマークの場合、**［情報］**は表示されません。

2 情報を確認する

目的地未設定の場合



	登録されている電話番号に電話をかけます。**(→ P.285)**
［地点登録］	検索した情報をメモリ地点に登録します。**(→ P.117)** 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、**→「メモリ地点で探す」(P.86)**をご覧ください。
［ここに行く］	カーソル位置を目的地として、ルートを探索します。**(→ P.95)**

目的地設定済の場合



	登録されている電話番号に電話をかけます。**(→ P.285)**
［修正］	メモリ地点を修正します。**(→ P.118)**
［消去］	メモリ地点を消去します。**(→ P.120)**
［地点登録］	検索した情報をメモリ地点に登録します。**(→ P.117)** 地点登録後、メモリ地点からルートを検索する場合は、**→「メモリ地点で探す」(P.86)**をご覧ください。
［追加目的地］	カーソル位置を目的地に追加します。**(→ P.109)**
［新規目的地］	目的地を全て消去し、カーソル位置を新規目的地としてルートを探索します。**(→ P.95)**

目的地マーク／追加目的地マークにカーソルを合わせた場合

	登録されている電話番号に電話をかけます。**(→ P.285)**
［消去］	目的地を消去します。**(→ P.110)**

VICS マークにカーソルを合わせた場合 (→ P.133)

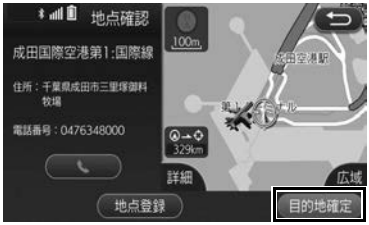
VICS マークの規制情報を表示します。

1 ルートを探索する

検索した場所を「目的地」として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 場所を探す（→ P.82）

2 [目的地確定] にタッチする



▼

ルート案内開始画面が表示されます。



[情報一覧]	出発地から行き先までの間に通る道路名、区間距離、通過予想時刻などの情報を確認できます。（→ P.95）
入口 IC 名／出口 IC 名	有料道路を通るルートの場合、乗降 IC を変更できます。（→ P.112）
[5 ルート選択]（探索ルートが複数の場合）	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。（→ P.96）複数の目的地が設定されている場合には、**[ルート編集]** − **[ルート詳細変更]** から設定してください。（→ P.111）
[ルート編集]	下記の操作ができます。 • 追加目的地指定（→ P.109） • 乗降 IC 指定（→ P.112） • 目的地の並び順変更（→ P.111） • 探索条件の変更（→ P.111） • 目的地または追加目的地の消去（→ P.110）
[案内開始]	現在選ばれているルートで案内を開始します。長くタッチすると、設定したルートのデモ走行を見ることができます。（→ P.97）

インフォメーション

- 目的地の近くに有料道路があるときは、有料道路の設定を確認するメッセージが表示され、**[設定する]** にタッチすると有料道路上に目的地を設定します。**[他の道路]** にタッチすると、一般道路上に目的地を設定します。
- VICS 交通規制考慮ルート探索（→ P.97）では、VICS 情報を考慮したルート探索を行います。
- すでにルートが設定されている場合は、探した場所を最終目的地にするか追加目的地にするかを選択します。
  - **[新規目的地]** にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探索します。
  - **[追加目的地]** にタッチすると、設定している目的地はそのままで、探した場所に立ち寄るルートを探索します。
  - **[追加目的地]** にタッチしたあとに、目的地追加の画面が表示された場合は、追加目的地を設定する区間を選択します。（→ P.110）

インフォメーション

- 走行を開始することで、案内を開始させることもできます。
- 追加目的地や乗降 IC を指定した場合、探索されるルートは 1 本のみとなります。

ルート案内開始画面の見かた

全行程
選ばれているルートの総距離が表示されます。

探索条件
現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。

フェリーを利用
フェリーを使用する場合に表示されます。

有料道
ルートに使用する有料道路の総距離が表示されます。有料道を使用しない場合は、「一般道」と表示されます。



料金
有料道路使用時の料金が表示されます。

IC（インターチェンジ）表示
利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

ルート情報を表示する

1 **[情報一覧]にタッチする**
（→ P.94）

▼

ルート情報一覧画面が表示されます。



インフォメーション

- 目的地や指定した乗降 IC 付近の地図を確認する場合は、それぞれの地点に表示されている**[地図]**にタッチします。

他のルートを選ぶ

最大 5 本のルートから選択できます。ただし、追加目的地や乗降 IC を指定した場合、ルートは 1 本だけとなります。

5 ルート地図から選ぶ

1 [5ルート選択] にタッチする (→ P.94)

2 ルートを選択してタッチする



[推奨]	一般的なルートを案内します。
[有料優先]	有料道路を優先して通るルートを案内します。
[一般優先]	一般道路を優先して通るルートを案内します。
[距離優先]	総距離が一番短くなるルートを案内します。
[別ルート]	推奨ルートとなるべく異なる道を通るルートを案内します。
[全行程一覧]	5 ルートの情報を一覧で表示します。

▼

選んだルートが設定され、ルート案内開始画面に戻ります。

インフォメーション

- 候補ルートが同じになる場合もあります。
- 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。
- 燃費設定（→ P.141）に従って、ルート探索結果の中から最も燃料消費量の少ないルートをエコなルートとして表示させることができます。

5 ルートリストから選ぶ

1 [5ルート選択] にタッチする (→ P.94)

2 [全行程一覧] にタッチする



3 ルートを選択してタッチする



インフォメーション

- 総距離、有料道路走行距離、料金、所要時間、エコ度が表示されます。

デモ走行で確認する

1 [案内開始] に長くタッチする（→ P.94）



インフォメーション

- デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

ルート探索機能について

通常のルート検索では、スマート IC を考慮していないルートが探索されます。

学習ルート探索

よく使う道を考慮したルート探索を行います。

インフォメーション

- ルート学習結果は消去できます。（→ P.128）
- 学習したルートを表示する機能はありません。
- 学習した道が必ず使われるとは限りません。
- よく使う道が無くなってしまったときや変更した場合などは、学習ルートを消去（→ P.128）してから新しいルートを学習させてください。ただし、消去を行うと学習した全てのルートが消去されますのでご注意ください。

スマート IC を考慮したルート探索

スマート IC とは、ETC 専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマート IC 考慮ルート探索が設定されている場合は（→ P.109）、スマート IC を乗降 IC の対象としてルート探索を行います。

インフォメーション

- ルート編集時にスマート IC 考慮を選択できます。
- スマート IC は施設管理者の都合で閉鎖される場合があります。この場合はルート案内の対象となっていても実際には利用できませんのでご注意ください。

交通規制を考慮したルート探索（VICS 交通規制考慮ルート探索）

FM 多重放送（→ P.136）による交通規制情報を考慮してルート探索を行います。

インフォメーション

- 交通規制情報が取得できないときは、VICS 交通規制考慮ルート探索はできません。
- 必ずしも実際の交通規制を避けるルートになるとは限りません。

季節規制を考慮したルート探索

冬期通行止めになる道路などの規制を考慮したルート探索を行います。

インフォメーション

- 規制のかかった道路を通らないと目的地に到着できない場合 (規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど) は、規制区間を利用するルートを探索されることがあります。

全ルート図を表示する

1 **現在地を押し、[表示変更] にタッチする（→ P.28）**

2 **[全ルート] にタッチする**



▼

ルート案内開始画面が表示されます。

2 ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面



インフォメーション

- 案内中のルートは、色塗り表示されます。また、目的地付近は細街路まで探索され、細街路はルートの道塗りより薄い色で表示されます。フェリー航路は点線で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- 到着予想時刻には、→**「案内表示設定」（P.149）**で設定した到着予想時刻速度が反映されます。また VICS 情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- 誘導中のレーンが灰色に白の矢印で表示され、通行が推奨される誘導レーンは青色に白の矢印で表示されます。
- ルート探索については、→**「ルートに関する注意事項」（P.176）**を参照してください。
- 地図表示の設定によって表示は変わります。設定項目については、→**「地図表示設定」（P.148）**を参照してください。

案内地に近づくと

分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図または交差点拡大図に切り替わります。

レーンリスト

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図を表示させることができます。

レーンリスト図は、走行する交差点の名称とレーンを 4 つまで表示させることができ、走行を推奨するレーンが青色で表示されます。

⚠ 警告

- レーン案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路標識・標示や道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。



[レーン解除]	レーンリスト図を非表示にします。
[レーン表示]	レーンリスト図を表示します。

インフォメーション

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図が自動的に表示されます。

高精度レーンリスト

高精度レーンリストでは、実際の車線状況に応じたレーンリスト（右側・左側車線の増減を画面にそのまま反映したもの）が表示されます。



[レーン解除]	レーンリスト図を非表示にします。
[レーン表示]	レーンリスト図を表示します。

拡大図

案内地の手前約 300 m に近づくと、交差点案内表示の画面に切り替わり、曲がる方向が表示されます。



インフォメーション

- 交差点案内表示は、オーディオソース画面を表示している状態でも割り込み表示される場合があります。
- 交差点案内表示中は、**[>>]** が表示されタッチすると、交差点案内を消すことができます。再度、交差点案内を表示したいときは **現在地** を押します。

案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



都市高速道路の入口に近づくと

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 m に近づくと、イラストが表示されます。



インフォメーション

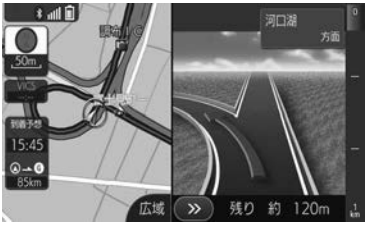
- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

有料道路の入口や出口の料金所に近づくと

本機に販売店装着オプションのナビ連動ETC ユニットを接続していて、かつ ETC の情報が受信できている場合は、ETC の利用可否と料金が音声案内されます。また、料金についてはメッセージ表示も行います。

有料道路の入口、出口、または料金所を通過すると

ルート上の有料道路の入口、出口、または料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



インフォメーション

- 地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

細街路に近づくと

ルート上の細街路に近づくと、メッセージと音声で案内されます。



インフォメーション

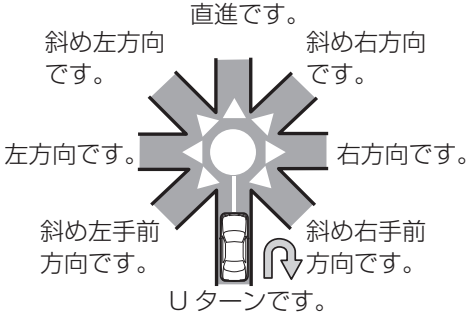
- メッセージは細街路走行中、表示し続けます。
- 細街路内からルート走行を開始した、または細街路内で車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたあと、アクセサリーモードまたはイグニッション ON モード< ON モード>にした場合は、音声案内は行われません。ただし、メッセージは表示されます。
- 細街路案内は変更（する／しない）できます。**(→ P.150)**

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。案内する音声の言語は、日本語・英語・中国語・韓国語から選択できます。→**「言語の設定操作」(P.50)**

進行方向案内

進行方向（8 方向）は、音声で以下のように案内されます。



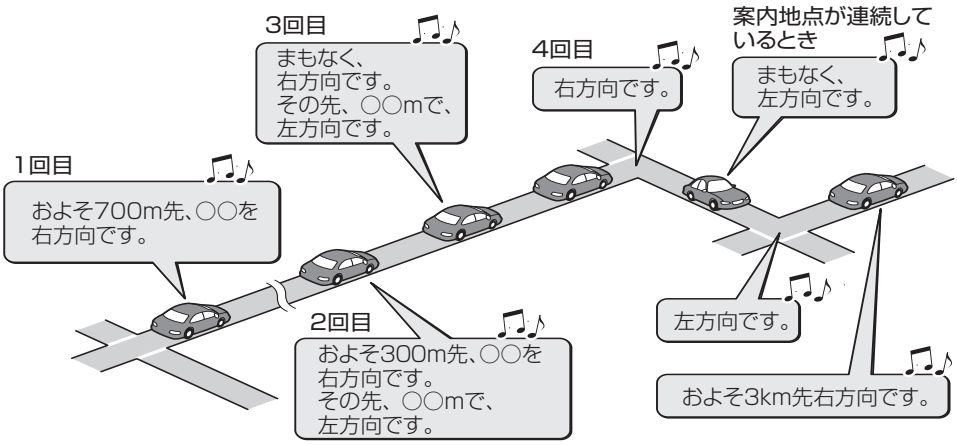
種類	案内例
側道案内	およそ○○ m 先、左側側道です。
有料道路入口・出口案内	およそ○○ m 先、左方向、入口です。
有料道路料金所案内	およそ○○ km 先、料金所です。
方面名称案内	およそ○○ km 先、右方向○○方面です。
ETC 料金案内	料金は、○○円でした。払い戻し料金は○○円です。
レーン案内	およそ○○ m 先、右方向です。右折専用レーンがあります。
交差点名称案内	およそ○○ m 先、○○を右方向です。

インフォメーション

- 右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- 本機の ETC 情報案内機能を利用するには、本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットを接続する必要があります。
- ETC 情報案内は、情報提供施設からの情報により、案内が行われます。
- 交差点名称は、情報のある地点のみ案内されます。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大 4 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。

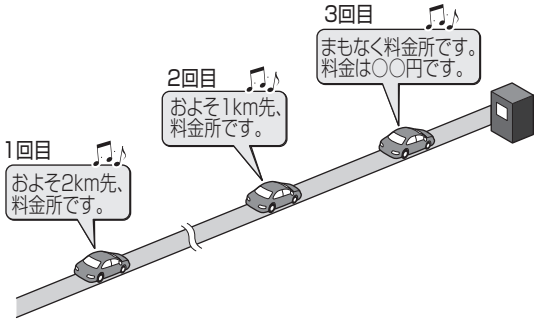


追加目的地に近づいたら

一般道の場合は、100m、細街路は、30m 手前に近づくと音声案内が流れます。
有料道路の場合は、600m 手前に近づくと音声案内が流れます。

有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大 3 回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト（→ P.102）などが表示されます。



3 ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索する

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します。（オートリルート）

インフォメーション

- ドライバーが意図的にルートを外れたのか、道を間違えたのかを内部で判断し、全ルート再探索または復帰ルート再探索を行います。

ルートの再探索をする

ルート案内中の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索ができます。再探索するルートは、選んだ検索条件により異なります。

インフォメーション

- 目的地が複数設定されている場合、現在地から一番近い目的地と現在地までの一区間だけを、選択された探索条件で再探索します。

1 [再探索] にタッチする



2 再探索する項目にタッチする



[推奨]	一般的なルートを案内します。
[有料優先]	有料道路を優先して通るルートを案内します。
[一般優先]	一般道路を優先して通るルートを案内します。
[距離優先]	総距離が一番短くなるルートを案内します。
[別ルート]	上の４つとは別のルートを案内します。
[次のG消去] ※1	現在地の次の目的地を消去して、再探索します。
[指定IC解除] ※2	次の IC の指定を解除して、再探索します。
[スマート IC 考慮]	スマート IC を考慮したルートを探索します。
[有料道から探索] ／ [一般道から探索] ※3、4	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索します。

[回避ルート探索] ※5	気象・災害情報エリアを回避するルートを探索します。

※1 目的地が複数設定されているときに表示されます。
※2 IC が指定されているときに表示されます。
※3 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートから外れたときは表示されません。
※4 目的地案内開始前にはできません。
※5 目的地案内中に気象・災害情報を受信したときのみ表示されます。

回避ルート探索について

目的地案内中に緊急情報を受信し、案内中のルートに緊急情報対象エリアや規制対象エリアがある場合、メッセージの表示と音声案内が流れます。再探索画面から回避ルート探索を行なうことができます。



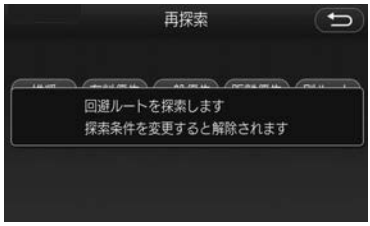
1 [再探索] にタッチする

2 [回避ルート探索] にタッチする



▼

回避ルートで案内が再開します。



状況に応じて新しいルートを提案する

案内中のルートから外れ、10 秒間操作をしなかった場合のみ、状況に応じた新ルートを提案します。

インフォメーション

- 案内地付近や案内地が連続している場合は、機能しない場合があります。
- 新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- 新しい候補ルートが提案されたときは、元ルートと新ルートのどちらを利用するか選択することができます。ただし下記の場合、自動的に新ルートが選択されます。
  - 10 秒間操作をしなかった場合
  - 新旧ルートの分岐点まで 400 m（高速道路は 900 m）以内に到達した場合
  - 次の案内地点まで 400 m（高速道路は 900 m）以内に到達した場合
  - 新旧ルートの提案から 500 m（高速道路は 1,500 m）以上走行した場合

ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、メッセージが表示され、ルートが自動的に変更されます。

ルート上の交通情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

インフォメーション

- VICS 情報が取得できないときなどは働かないことがあります。
- 音声では、例：“およそ 3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。” と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した交通情報を自動的に音声で案内します。

インフォメーション

- 案内中のルートがない場合は、案内されません。

渋滞チェック

[VICS] にタッチすると、ルート上に発生している交通情報を音声案内で確認することができます。

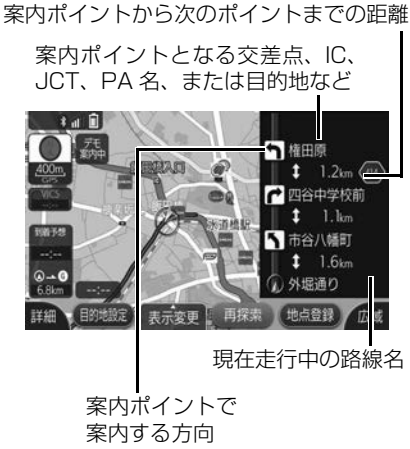


インフォメーション

- 案内中のルートがない場合は、案内されません。
- VICS 情報が受受信できていない場合、VICS 地図情報提供時刻が灰色となり選択はできません。**(→ P.131)**

ターンリストの表示

ターンリストは、ルート上で通過予定の分岐する交差点、IC、JCT、追加目的地の名称や案内方向、距離などの情報を画面に表示させることができます。



インフォメーション

- ターンリストは自動表示の設定（する／しない）ができます。**(→ P.149)**
- 地図データに情報のない交差点、IC、JCT 名および路線名は表示されません。
- 目的地やフェリーの場合、案内方向表示の代わりにアイコンを表示します。

4 ルートを変更する

設定したルートを確認したり、追加目的地や乗降 IC などを指定したり、ルートを編集することができます。

1 MENU を押し、［ルート編集］にタッチする



▼

ルート編集画面が表示されます。



［目的地追加］	目的地を追加します。
［目的地消去］	目的地を消去します。(→ P.110)
［目的地並び替え］	目的地を並べ替えます。(→ P.111)
［高速入口出口指定］	入口 IC や出口 IC を指定します。(→ P.112)
［ルート詳細変更］	探索条件を変更します。(→ P.111)
［スマート IC 考慮］	スマート IC を乗降 IC の対象とするルート探索を ON/OFF します。
［季節規制回避］	季節規制区間を回避するルート探索を ON/OFF します。規制区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ON にしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。
［探索開始］	ルートの編集後、ルート探索を開始します。

インフォメーション

- MENU －［設定・編集］－［ナビ］－［ルート編集］でも同じ操作ができます。

目的地を追加する

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

1 ［目的地追加］にタッチする



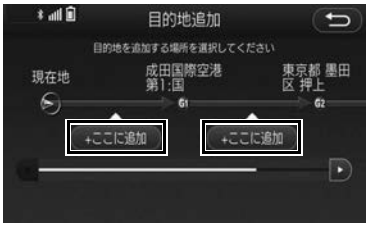
2 目的地の検索方法を選び、追加したい地点の地図を表示する



3 [追加目的地] にタッチする



4 目的地を設定する区間の［+ここに追加］にタッチする



インフォメーション

- 目的地は 5 カ所まで追加できます。
- あとから順番を並べ替えることもできます。

5 [探索開始] にタッチする

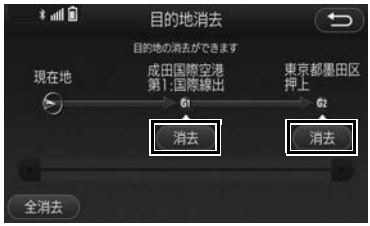
目的地を消去する

追加目的地または最終目的地を消去します。案内中のルートを消去する場合は、全ての目的地を消去します。

1 [目的地消去] にタッチする



2 消去する目的地を選んで［消去］にタッチする



インフォメーション

- 全ての目的地を消去する場合、**［全消去］**にタッチします。
- 追加目的地を設定していない場合、この手順は発生しません。

3 [はい] にタッチして、目的地を消去する



インフォメーション

- MENU －［目的地設定］－［目的地消去］でも同じ操作ができます。
- 全ての目的地を消去すると、ルートが消去され、ルート案内が中止されます。

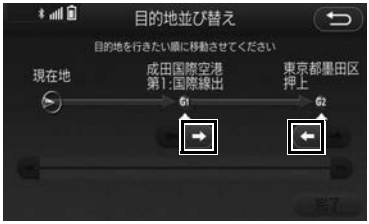
4 [探索開始] にタッチする

目的地への順番を並べ替える

1 [目的地並び替え] にタッチする



2 順番を変更したい目的地の［←］または［→］にタッチして、目的地を並べ替える



3 [完了] にタッチする



4 [探索開始] にタッチする

探索条件を変更する

目的地を複数設定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

1 [ルート詳細変更] にタッチする



2 変更したい探索条件にタッチして、[探索開始] にタッチする



乗降 IC（出口 IC または入口 IC）を指定する

目的地を設定したあと、ルート案内の出口 IC、または入口 IC を 1 カ所ずつ指定できます。

インフォメーション

- 設定されているルートで使用されている入口または出口によっては、乗降 IC が指定できない場合があります。
- 目的地の追加、削除、または並べ替えをすると、指定した乗降 IC は解除されます。
- スマート IC 考慮ルート探索が機能している場合は、スマート IC を乗降 IC として指定することもできます。(→ P.97)

1 [高速入口出口指定] にタッチする



2 指定する出口 IC、または入口 IC にタッチする



インフォメーション

- ルート案内開始画面からも指定できます。(→ P.95)

3 IC リストから、選択する IC 名称にタッチする



インフォメーション

- ジャンクション（JCT）や路線名、[▲]、[▼]、[◀]、[▶] を選ぶと、リストの表示範囲が変更できます。

乗降 IC を解除する

1 解除する出口 IC、または入口 IC にタッチする



2 [出口解除] または [入口解除] にタッチする



1 場所を登録・編集する

探した場所やドライブで訪れた場所を登録しておくと、次回そこへ行くときにかんたんにルートを探索することができます。

また、登録した情報（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更したり、登録を消去することもできます。登録した場所へ近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。**(→ P.118)**

インフォメーション

- メモリ地点 400 件、特別メモリ地点 5 件、迂回メモリ地点 10 件、および自宅 1 件まで登録できます。
- メモリ地点や特別メモリ地点の情報を SD カードに保存したり、メモリ地点のデータを SD カードから、本機に読み込ませたりすることができます。**→「登録データを移行する」(P.123)**

かんたんな操作で登録する

1 **場所を探す（→ P.82）**

2 **［地点登録］にタッチする**



▼

検索した地点がメモリ地点として登録されます。

自宅を登録する

自宅の場所を 1 件登録できます。

1 **MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［メモリ地点登録・編集］にタッチする**

2 **［自宅］にタッチする**



▼

自宅が登録されていないとき



自宅が登録されているとき



[メモリ地点移行]	パスワードを設定することで、登録データを SD カードに保存したり、SD カード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることができます。(→ P.123)
⮌	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
[登録]	自宅が未登録の場合、自宅を登録することができます。
[修正]	自宅の登録時に設定した内容を修正することができます。
[消去]	自宅を消去することができます。(→ P.115)

3 [登録] にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す (→ P.82)

5 [セット] にタッチする



▼

検索した地点が自宅として登録され、自宅編集画面が表示されます。
登録内容を修正する場合は、→**「自宅の登録内容を修正する」**の手順2以降を参照してください。

6 [完了] にタッチする

インフォメーション

- すでに自宅が登録済みの場合は、登録済みの自宅を消去 **(→ P.115)** してから登録してください。QUICK SETUP で自宅を登録し直す場合は、自宅を上書きできます。

自宅の登録内容を修正する

1 [修正] にタッチする

2 変更したい項目にタッチする



[マーク]	地図上に表示される自宅の 2D マークを変更します。また、自宅に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。(→ P.118)
[地図への名称表示]	地図上に名称を表示できます。(→ P.119)
[名称]	変更したい名称を全角 24 文字（半角で 48 文字）まで入力できます。
[名称読み]	名称の読み方を修正します。
[位置]	自宅の位置を修正します。

[電話番号]	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

3 [完了] にタッチする

▼

自宅編集選択リスト画面に戻ります。

自宅を消去する

1 [消去] にタッチする (→ P.114)

▼

確認メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする

▼

自宅が消去されます。

特別メモリ地点を登録する

通常のメモリ地点とは別に、特別メモリ地点を 5 件まで登録できます。よく行く地点などは特別メモリ地点として登録しておくと検索時などに便利です。

1 MENU を押し、[設定・編集] – [ナビ] – [メモリ地点登録・編集] にタッチする

2 [特別メモリ] にタッチする



▼



[メモリ地点移行]	パスワードを設定することで、登録データを SD カードに保存したり、SD カード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることができます。(→ P.123)
⮌	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
[登録]	新規に特別メモリ地点を登録することができます。
[修正]	特別メモリ地点の登録時に設定した内容を修正することができます。(→ P.118)
[消去]	特別メモリ地点を消去することができます。(→ P.117)

3 [登録] にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す (→ P.82)

5 [セット] にタッチする (→ P.118)

6 登録先の番号を選んでタッチする



インフォメーション

- すでに登録してある特別メモリを置き替える場合は、置き替えたい登録先の番号にタッチして、上書き確認のメッセージが表示されたら**［はい］**にタッチします。

▼

検索した地点が特別メモリ地点として登録され、メモリ地点編集画面が表示されます。

登録内容を修正する場合は、**→「特別メモリ地点の登録内容を修正する」**の手順3以降を参照してください。

7 ［完了］にタッチする

特別メモリ地点の登録内容を修正する

1 ［修正］にタッチする (→ P.115)

2 登録内容を修正したい地点にタッチする



インフォメーション

- リストは特別メモリ地点 ID 順で表示されます。

3 変更したい項目にタッチする



［マーク］	地図上に表示される特別メモリ地点の 2D マークを変更します。また、特別メモリ地点に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。(→ P.118)
［地図への名称表示］	地図上に名称を表示できます。(→ P.119)
［名称］	変更したい名称を全角 24 文字（半角で 48 文字）まで入力できます。
［名称読み］	名称の読み方を修正します。
［位置］	特別メモリ地点の位置を修正します。
［電話番号］	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

4 ［完了］にタッチする

▼

特別メモリ編集選択リスト画面に戻ります。

特別メモリ地点を消去する

1 [消去] にタッチする
(→ P.115)

2 消したい特別メモリ地点にタッチする



▼

タッチした特別メモリ地点は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度その特別メモリ地点にタッチします。

[全選択]	全ての特別メモリ地点が選択されます。
[全選択解除]	選択されている特別メモリ地点全てを解除します。

3 [消去] にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

▼

特別メモリ地点が消去されます。

メモリ地点を登録する

登録したい場所を、メモリ地点として400 件まで登録できます。

1 MENU を押し、[設定・編集] ー [ナビ] ー [メモリ地点登録・編集] にタッチする

2 [メモリ地点] にタッチする



▼



[メモリ地点移行]	パスワードを設定することで、登録データを SD カードに保存したり、SD カード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることができます。(→ P.123)
⮌	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
[登録]	新規にメモリ地点を登録することができます。
[修正]	メモリ地点の登録時に設定した内容を修正することができます。(→ P.118)

[消去]	メモリ地点を消去することができます。(→P.120)

3 [登録] にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す (→ P.82)

5 [セット] にタッチする



▼

検索した地点がメモリ地点として登録され、メモリ地点編集画面が表示されます。
登録内容を修正する場合は、→**「メモリ地点の登録内容を修正する」(P.119)** の手順3以降を参照してください。

6 [完了] にタッチする

効果音について

効果音を設定することで、メモリ地点、特別メモリ地点、または自宅の各登録地に近づくと、自動的に音を鳴らすことができます。
効果音は、各登録地の内容画面から **[マーク]** − **[音声付]** で設定できます。
(→P.114, 116)

インフォメーション

- 効果音が設定された各登録地が、自車から約 500 m 以内に近づくと効果音が鳴ります。
- 自車から約 500 m 以内に各登録地が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 一度効果音が鳴ると、800m 以上離れて再度近づくか本機の電源を入れ直さないと（車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたあと、アクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>)、効果音は再度鳴りません。
- 各登録地の効果音よりも、ルートや VICS の音声案内が優先されます。

メモリ地点の登録内容を修正する

1 [修正] にタッチする (→ P.117)

2 登録内容を修正したい地点にタッチする



インフォメーション

・**[ソート]** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

[50 音順]	名称の 50 音順に並べ替えます。
[マーク順]	マークごとに並べ替えます。
[登録順]	登録日時順に並べ替えます。

50 音順に並べ替えるには、名称読みの入力が必要です。

3 変更したい項目にタッチする



[マーク]	地図上に表示されるメモリ地点の 2D マークを変更します。また、メモリ地点に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。**(→ P.118)**
[地図への名称表示]	地図上に名称を表示できます。
[名称]	変更したい名称を全角 24 文字（半角で 48 文字）まで入力できます。 地図への表示は全角 15 文字 (半角で 30 文字) までとなります。
[名称読み]	名称の読み方を修正します。
[位置]	メモリ地点の位置を修正します。
[電話番号]	電話番号を入力します。電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

4 [完了] にタッチする

▼

手順2の画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

[地図への名称表示] にタッチして ON にすることで、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます。タッチするごとに ON/OFF を設定できます。



▼



ON にすると、**[地図への名称表示]** の左横にあるインジケータが点灯します。

メモリ地点を消去する

1 [消去] にタッチする
(→ P.117)

2 消したいメモリ地点にタッチする



▼

タッチしたメモリ地点は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度そのメモリ地点にタッチします。

[全選択]	全てのメモリ地点が選択されます。
[全選択解除]	選択されているメモリ地点全てを解除します。

インフォメーション

- **[ソート]** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリストを並べ替えることができます。

[50 音順]	名称の 50 音順に並べ替えます。
[マーク順]	マークごとに並べ替えます。
[登録順]	登録日時順に並べ替えます。

50 音順に並べ替えるには、名称読みの入力 (→ P.119) が必要です。

3 [消去] にタッチする



▼

確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

▼

メモリ地点が消去されます。

迂回メモリ地点を登録する

工事や通行止め、よく渋滞する場所などがわかっているとき、迂回メモリとして登録しておくと、そのエリアを迂回するルートを探索します。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［メモリ地点登録・編集］にタッチする

2 ［迂回メモリ］にタッチする



▼



［メモリ地点移行］	パスワードを設定することで、登録データをSDカードに保存したり、SDカード内の登録データをナビ本体へ読み込ませることができます。(→P.123)
⮌	メモリ地点登録・編集画面に戻ります。
［登録］	新規に迂回メモリ地点を登録することができます。
［修正］	迂回メモリ地点の登録時に設定した内容を修正することができます。(→P.122)
［消去］	迂回メモリ地点を消去することができます。(→P.123)

3 ［登録］にタッチする

4 検索方法を選択して、場所を探す(→P.82)

5 ［セット］にタッチする



迂回範囲が黄色の四角で表示されます。

6 ［▲］または［▼］にタッチし、迂回範囲を設定する



［▲］：迂回範囲を広くする
［▼］：迂回範囲を狭くする
［▲］・［▼］の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

7 ［セット］にタッチする

8 ［完了］にタッチする

インフォメーション

- 1/800m より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。
- 迂回範囲を最小にすると、（迂回メモリ地点）に切り替えることができます。高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることができません。迂回したいときは、迂回メモリ地点を道路上に設定してください。
- 迂回メモリ地点は専用のマーク（■）で表示され、マークを変更することはできません。

▼

検索した地点が迂回メモリ地点として登録され、メモリ地点編集画面が表示されます。
登録内容を修正する場合は、→**「迂回メモリ地点の登録内容を修正する」**の手順3以降を参照してください。

迂回メモリ地点の登録内容を修正する

1 **[修正] にタッチする**
(→ P.121)

2 **登録内容を修正したい地点にタッチする**



3 **変更したい項目にタッチする**



[有効] / [無効]	迂回機能の有効／無効を変更します。
[名称]	変更したい名称を全角 24 文字（半角で 48 文字）まで入力できます。
[地図への名称表示]	地図上に名称を表示できます。**(→ P.119)**
[位置]	迂回メモリ地点の位置を修正します。
[迂回エリア]	迂回エリアの範囲を変更します。

4 [完了] にタッチする

▼

手順2の画面に戻ります。

迂回メモリ地点を消去する

1 [消去] にタッチする
(→ P.121)

2 消したい迂回メモリ地点にタッチする



▼

タッチした迂回メモリ地点は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度その迂回メモリ地点にタッチします。

[全選択]	全ての迂回メモリ地点が選択されます。
[全選択解除]	選択されている迂回メモリ地点全てを解除します。

3 [消去] にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

4 [はい] にタッチする

▼

迂回メモリ地点が消去されます。

登録データを移行する

登録したメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データをSD カードに保存できます。また、SD カードに保存されているデータを読み込むこともできます。

1 [メモリ地点移行] にタッチする
(→ P.115)

インフォメーション

- メモリ地点登録・編集画面で、**[特別メモリ] − [メモリ地点移行]**、**[迂回メモリ] − [メモリ地点移行]**、または **[自宅] − [メモリ地点移行]** でも同じ操作ができます。

▼

メモリ地点移行メニュー画面が表示されます。



保存 − **[SD]**	本機に登録したメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データをSD カードに保存します。(→ P.124)
読み込み − **[SD]**	SD カードに保存されているメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データを本機に読み込ませます。(→ P.125)

パスワード－**［設定］**	登録データの保存、または読み込み時に使用するパスワードを設定します。
パスワード－**［初期化］**	設定したパスワードを初期化します。(→ P.126)

パスワードを設定する

登録データの保存や読み込みには、パスワードの設定が必要です。

1 「パスワード」の［設定］にタッチする

2 パスワードを入力して［完了］にタッチする



インフォメーション

- 入力できるパスワードは、半角数字で 4 桁までです。

▼

確認のため再度、パスワード入力画面が表示されます。

3 手順2で入入力したパスワードを入力して［完了］にタッチする

▼

パスワードが設定されます。

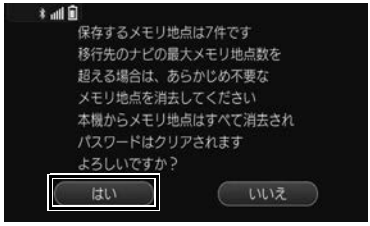
登録データを SD カードに保存する

1 「保存」の［SD］にタッチする
(→ P.123)

2 パスワードを入力して［完了］にタッチする



3 ［はい］にタッチする



▼

登録されているメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データを一括で SD カードに保存します。

注意

- データ保存中は、本機の電源を OFF にしたり、SD カードを抜いたりしないでください。

▼

保存処理終了メッセージが表示されます。

4 ［了解］にタッチする

インフォメーション

- すでにメモリ地点などが SD カードに保存されている場合は、**［はい］**にタッチすると SD カードに保存されているデータが上書き（消去）され、本機に登録されているデータを SD カードに保存します。キャンセルする場合は**［いいえ］**にタッチしてください。
- SD カードに保存するメモリ地点のデータは、アクセス日時順で保存します。
- メモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅を合わせて最大 416 件まで保存できます。
- SD カードへの保存が正常に終了した場合、本機のメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅のデータが全て消去され、パスワードが初期化されます。

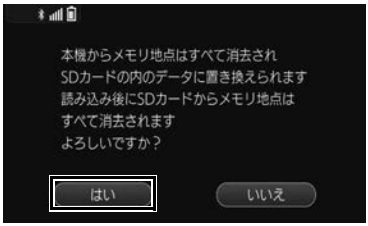
登録データを SD カードから読み込む

1 **「読み込み」の［SD］にタッチする（→ P.123）**

2 **パスワードを入力して［完了］にタッチする**



3 **［はい］にタッチする**



▼

SD カードに保存されているメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データを一括で本機に読み込みます。

注意

- データ読み込み中は、本機の電源を OFF にしたり、SD カードを抜いたりしないでください。

▼

読み込み処理終了メッセージが表示されます。

4 **［了解］にタッチする**

インフォメーション

- すでにメモリ地点などが本機に登録されている場合は、**[はい]** にタッチすると本機に登録されているデータが上書き（消去）され、SD カードに登録されているデータを本機に移行します。キャンセルする場合は **[いいえ]** にタッチしてください。
- 本機へ正常に読み込みが行われた場合は、SD カード内のメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅のデータは消去されます。
- SD カードからの読み込み中に本機のメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の各件数が登録可能最大数に達した場合は、その旨メッセージを表示し、それ以上の読み込みは行いません。

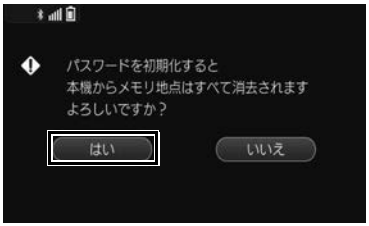
パスワードを初期化する

インフォメーション

- パスワードを初期化した場合、同時に本機のメモリ地点、特別メモリ地点、迂回メモリ地点、および自宅の全データも消去されます。初期化する際は、事前に SD カードへ登録データを保存（→ P.124）することをお勧めします。

1 「パスワード」の［初期化］にタッチする（→ P.123）

2 [はい] にタッチする



▼

再確認メッセージが表示されます。

3 [はい] にタッチする

▼

パスワードが初期化されます。

1 その他のデータを消去する

本機に保存されたいろいろな機能のデータを消去することができます。

目的地の履歴を消去する

目的地に設定した場所が自動的に履歴として 100 件まで保存されていきます。

次の手順で履歴を消去することができます。

1 MENU を押し、［目的地設定］にタッチする



2 ［履歴］にタッチする



3 ［履歴消去］にタッチする



4 消去したい履歴にタッチする



▼

タッチした履歴は色が変わり、引き続き選択できます。選択を解除する場合は、再度その履歴にタッチします。

［全選択］	全ての履歴が選択されます。
［全解除］	選択されている履歴全てを解除します。

5 ［消去］にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

6 ［はい］にタッチする

▼

選んだ履歴が消去されます。

インフォメーション

- MENU を押し、**［設定・編集］－［ナビ］－［ナビ詳細設定］－［その他］－［目的地履歴の消去］**でも、手順3からと同様に履歴を消去できます。

ルートの学習内容を消去する

本機は、よく使用する道を学習しており、ルート探索時に学習した道を優先的に使用します。→**「学習ルート探索」(P.97)**よく使用する道を変更した場合などは、学習ルートを消去してから再学習を行います。

インフォメーション

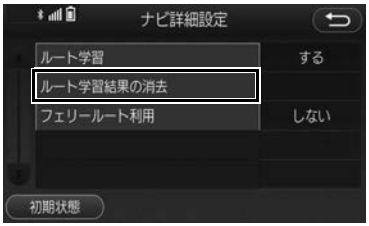
- 全ての学習ルートが消去されますのでご注意ください。

1 **MENU** **を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［ナビ詳細設定］にタッチする**

2 **［ルート系設定］にタッチする**



3 **［ルート学習結果の消去］にタッチする**



▼

確認メッセージが表示されます。

4 **［はい］にタッチする**

▼

学習ルートが消去されます。

通った道を消去する

地図画面に表示される通った道を消去することができます。工場出荷時の設定は「通った道の表示を解除」です。

1 **現在地** **を押し、［表示変更］にタッチする（→ P.28）**

2 **［通った道の表示を解除］にタッチする**



▼

確認メッセージが表示されます。

3 **［はい］にタッチする**

▼

通った道の表示が消去されます。

インフォメーション

- 通った道の表示を解除すると、地図上に表示されていた通った道も消去されます。
- これまでの通った道を保存しておきたい場合は、手順3で確認メッセージの**［いいえ］**にタッチしてください。
- 再度、通った道を表示させる場合は、現在地画面で**［表示変更］－［通った道を表示］**にタッチしてください。**(→ P.75)**

2 FM-VICS 情報を利用する

FM 多重放送で提供される渋滞、規制などの FM-VICS 情報を確認することができます。FM 多重放送の新サービスの VICS WIDE にも対応しています。全国 53 局からの FM 多重放送によって、5 分間隔で渋滞情報や気象情報が提供されます。

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見ることもできます。

VICS 情報の表示形態

ドライバーは VICS センターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報（順調情報も含む）
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

インフォメーション

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

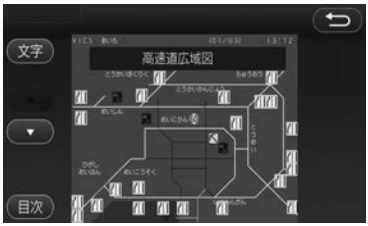
地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



文字

文字で道路交通情報が表示されます。



VICS・交通情報を表示する

1 現在地を押し、［表示変更］－［VICS・交通情報］にタッチする



2 VICS・交通情報を表示する道路にタッチする

［全て］	高速道路と一般道路に表示します。
［高速道のみ］	高速道路だけに表示します。
［一般道のみ］	一般道路だけに表示します。
［非表示］	交通情報を表示しません。

インフォメーション

- 一般道のみに設定している場合でも、ハイウェイモード（→P.78）では、右画面の高速略図に VICS・交通情報が表示されます。ただし、左画面の地図上には、高速道路上に VICS・交通情報は表示されません。

表示する VICS・交通情報を選択する

1 現在地を押し、［表示変更］－［VICS・交通情報］にタッチする

2 ［表示設定］にタッチする

3 表示する VICS・交通情報にタッチする

［渋滞・混雑］	渋滞や混雑している道路を表示します。
［空き道］	空いている道路を表示します。
［規制情報］	規制がある道路を表示します。
［駐車場］	駐車場情報を表示します。
［充電施設］※	充電施設情報を表示します。

※ 充電施設情報は 2016 年 9 月現在、提供されていません。

インフォメーション

- 選択したスイッチは、スイッチ左横のインジケータが点灯します。再度タッチするとインジケータが消灯し選択が解除されます。

地図上で VICS 情報を見る

地図の表示形態では、VICS センターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りや VICS マークで地図上に表示されます。

通常時

一般道路・有料道路への表示

渋滞	赤色に灰色の縁取り
混雑	橙色に灰色の縁取り
順調	明るい青色に灰色の縁取り
通行止め	黒色 ※ に灰色の縁取り

※ 夜画面表示の場合は、白色になります。



VICS 地図情報提供時刻表示（文字色）

赤色	ルート上の直近の交通情報が「渋滞」
橙色	ルート上の直近の交通情報が「混雑」
黄色	ルート上の直近の交通情報が「規制」
白色	ルート上の直近の交通情報が「渋滞」、「混雑」、「規制」以外
灰色	交通情報を受信していない

緊急情報受信中の場合



緊急情報の対象エリアの表示

赤色	緊急情報対象エリア
黄色	規制対象エリア

インフォメーション

- 本機の電源を ON（車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>）にしてから受信した VICS 情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り替えてください。(→ P.136)
- VICS 情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- **[VICS]** の情報提供時刻部にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を音声案内でお知らせします。(→ P.134)
- VICS 交通情報は、1.6km 縮尺表示より広域の地図にすると、緊急情報のみ表示されます。
- 緊急情報を受信した場合、**[確認]** にタッチすると、緊急情報画面が表示されます。(→ P.136)
- ルート案内中に緊急情報を受信した場合、緊急情報対象エリアや規制対象エリアを迂回したルートで再探索できます。(→ P.106)
- 緊急情報を受信した場合の規制対象エリアの表示を解除するには、表示設定画面で **[規制情報]** にタッチしてください。(→ P.130)

VICS マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。

	事故		故障車
	路上障害		工事
	火災		雨
	凍結		雪
	作業		通行止め
	右折禁止		左折禁止
	直進禁止		片側交互通行
	チェーン規制		進入禁止
	対面通行		車線規制
	徐行		入口閉鎖
	入口規制		出口規制
	大型通行止め		速度規制 （数字は制限速度）
	イベント 開催中		イベント 開催外
	緊急情報		気象速報警報
	災害速報		

	注意 （通常：青色、地震警戒宣言：黒色）
	駐車場 （空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
	駐車場（閉鎖）
	臨時駐車場 （空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
	SA PA 情報（閉鎖）

	SA PA 情報 （空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）
	SA PA 情報（閉鎖）
	充電施設 （空車：青色、混雑：橙色、満車：赤色、不明：黒色）

インフォメーション

- VICS マークにタッチすると、詳細な情報を表示できます。

「VICS 地図情報提供時刻表示」の内容

FM 多重放送による VICS 情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

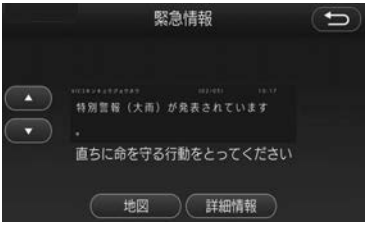
受信中の放送局の受信感度を確認してください。→**「放送局の受信状態の確認について」(P.137)**

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺の VICS 情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）の VICS 情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。また、一度表示された緊急情報を再度表示させることもできます。(→P.135)



緊急情報画面の操作については、→「FM 緊急情報の場合」(P.136)をご覧ください。

ルート上の交通情報を案内させる

ルート上に発生した VICS の交通情報を音声で案内させることができます。

インフォメーション

- VICS 情報が取得できないときなどは動作しないことがあります。
- 音声では、例：“およそ 3 km 先、1 km の渋滞が発生しています。” と案内されます。

渋滞オートガイド

ルート上に発生した交通情報を自動的に音声で案内します。

インフォメーション

- 案内中のルートがない場合は、案内されません。

渋滞チェック

VICS 地図情報提供時刻表示（→P.131）にタッチすると、ルート上に発生している交通情報を音声案内で確認することができます。

新旧ルート比較

VICS 情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。



1 **[新ルート]、または［元ルート］にタッチする**

インフォメーション

- 表示された後、何も操作しなかったときは、新ルートで案内されます。

VICS の文字・図形・緊急情報を見る

文字や図形の VICS 情報や緊急情報を表示させることができます。

1 MENU を押し、［情報］にタッチする

2 ［VICS］にタッチする



3 表示させたい情報にタッチする

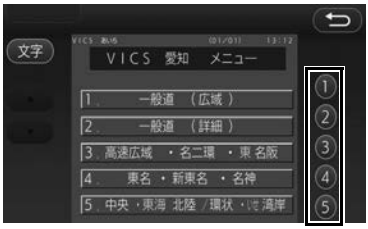


［FM 図形］	図形情報の広域情報を表示します。
［FM 文字］	文字情報の広域情報を表示します。
［FM 緊急］	緊急情報を表示します。

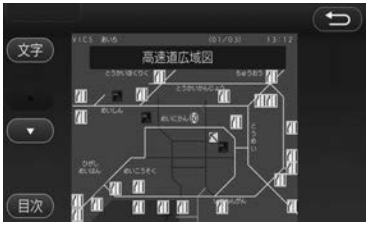
FM 図形情報／ FM 文字情報の場合

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



▼

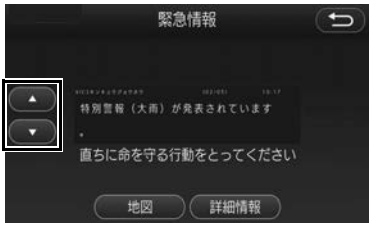


インフォメーション

- 全情報画面が複数のページにおよぶときは、［▲］、［▼］にタッチすると、ページを送ります。
- 全ての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ［目次］にタッチすると、VICS 情報目次画面に戻ります。
- ［文字］／［図形］にタッチすると、VICS 文字情報目次画面と VICS 図形情報目次画面を切り替えます。

FM 緊急情報の場合

4 [▲]、[▼] にタッチして表示したい情報を選択する



[詳細情報]	緊急情報の詳細な内容を表示します。

5 [地図] にタッチする

▼

受信した緊急情報の対象エリアを表示します。



地図上の緊急情報対象エリア表示を解除する

1 現在地 を押し、[表示変更] にタッチする（→ P.28）

2 [VICS・交通情報] にタッチする

3 [緊急情報エリア表示を解除] にタッチする



インフォメーション

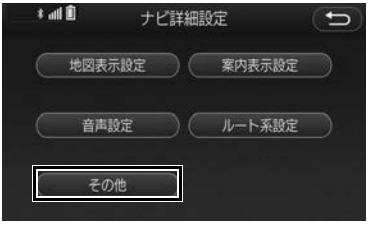
- すでに受信した緊急情報が更新された場合や新たに緊急情報を受信した場合は、表示が ON になります。

放送局を選ぶ

VICS 情報を FM 多重放送から受信するときは、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 MENU を押し、[設定・編集] － [ナビ] － [ナビ詳細設定] にタッチする

2 [その他] にタッチする



3 [VICS 選局] にタッチする



4 放送局を探す方法にタッチする

インフォメーション

- **[自動]** ／ **[手動]** にタッチすると、放送局を探す方法を切り替えます。

自動の場合



手動の場合



リスト項目	放送局リストから選びます。
[▼] / **[▲]**	周波数の手動チューニングを行います。タッチするごとに 0.1MHz ずつ周波数を切り替えます。

放送局の受信状態の確認について

VICS 選局設定画面では、周波数や受信状態などが表示されます。



受信状態表示は、「受信中」、「検出中」、「未受信」のいずれかが表示されます。

「受信中」	VICS を受信しています。
「検出中」	VICS を確認しています。そのままお待ちください。
「未受信」	VICS が受信できていません。地域を切り替えるか周波数を変更してください。

3 車両メンテナンスを利用する

お車の消耗品の交換時期などの更新時期を設定しておくと、交換または更新時期が近づいたことをお知らせするメッセージを表示することができます。

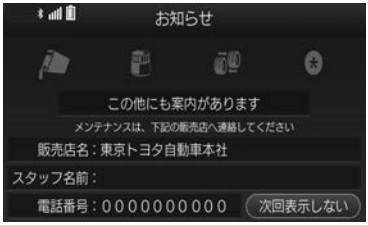
車両メンテナンスとは、GPS（→ P.172）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期、各種点検時期、または免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。車両メンテナンスでは、以下の消耗品があらかじめ設定されています。

必要により、「任意入力１～５」を利用して、消耗品を任意に設定することができます。

- エンジンオイル交換
- オイルフィルター交換
- タイヤローテーション
- タイヤ交換
- エアクリーナー
- ブレーキパッド交換
- V ベルト
- 冷却水交換
- ブレーキフルード交換
- ATF 交換
- 任意入力
- 任意入力
- 任意入力
- 任意入力
- 任意入力

メンテナンス案内について

設定をして日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビ画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に４つまで案内されます。



- メンテナンス案内の自動通知を設定できます。
- ５つ以上の項目があるときは、  が表示されます。
- 任意入力項目のときは、入力した名称を表示します。
- **［次回表示しない］**にタッチすると、次にナビ画面が立ち上がるときは、案内されません。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［メンテナンス］にタッチする

▼

メンテナンスメニューが表示されます。



［自動通知］	本機起動時に交換時期のお知らせをするかしないかの設定が行えます。
［設定全消去］	設定したお知らせ時期の項目を全て消去します。
［自動全更新］	お知らせ時期が過ぎた項目を全て更新します。
［販売店設定］	販売店を設定します。（→ P.140）

メンテナンス項目を設定する

1 MENU を押し、［設定・編集］－［メンテナンス］にタッチする

2 設定する項目にタッチする



インフォメーション

- 任意入力を選択すると、表示されているメンテナンス項目以外の項目を任意で設定できます。

3 入力する項目にタッチして、メンテナンス項目を設定する
例：エンジンオイル交換



［マーク］	任意で表示するマークを設定します。（任意入力のメンテナンス項目を選択した場合だけ表示されます。）
［お知らせ日］	お知らせする日付を入力して設定します。
［お知らせ距離］	お知らせする走行距離（km）を入力して設定します。
［設定消去］	全ての設定を未設定状態にします。
［自動更新］	最新の設定に更新します。

▼

各項目設定後、 にタッチすると手順2の画面に戻ります。

インフォメーション

- ［自動更新］は、お知らせ時期を過ぎると選択できます。
- 日付入力画面で、西暦年を入力するときは上２桁の入力は不要です。また、１桁の月・日を入力するときは、先頭に「0」を入力する必要はありません。
例：2016 年 7 月 8 日の場合、入力値は「16」、「7」、「8」となります。

任意入力項目を設定する

1 MENU を押し、［設定・編集］－［メンテナンス］にタッチする

2 任意入力 （任意入力項目）にタッチする

3 設定するマークにタッチする



4 名称を入力し［完了］にタッチする



インフォメーション

- 間違えた場合は、［←］にタッチして修正します。

5 お知らせ日、またはお知らせ距離を設定します（→ P.139）

6 ［完了］にタッチする

販売店の設定をする

1 MENU を押し、［設定・編集］－［メンテナンス］にタッチする

2 ［販売店設定］にタッチする



3 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する（→ P.82）

4 ［セット］にタッチする



インフォメーション

- →「施設で探す」（P.85）でトヨタ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに［セット］を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

販売店の情報を修正・入力する

1 MENU を押し、［設定・編集］－［メンテナンス］にタッチする

2 ［販売店設定］にタッチする

3 変更したい項目にタッチして、修正または入力する



［販売店名］	販売店を修正または入力します。
［スタッフ名前］	スタッフ名を修正または入力します。
［位置］	販売店の位置を修正または設定します。
［電話番号］	販売店の電話番号を修正または入力します。

インフォメーション

- ［販売店に行く］を選択すると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいときは、［販売店の消去］を選択し、［はい］を選択します。

4 エコ情報メニューを使う

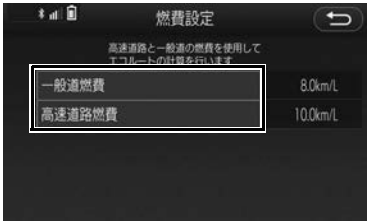
エコなルート表示を行うための燃費設定、エコ運転評価の履歴確認、および燃費履歴の表示を行います。

燃費設定をする

一般道路、高速道路走行時の燃費を設定します。ここで設定した内容がエコなルート表示（→ P.96）に反映されます。

1 MENU を押し、［情報］－［燃費設定］にタッチする

2 ［一般道燃費］または［高速道路燃費］にタッチする



3 燃費を入力し、⮌ にタッチする

例：一般道燃費



インフォメーション

- 工場出荷時に目安の燃費が入っています。入力する燃費は、お客様が販売店などで確認なさった燃費を入力してください。また、実際の走行では道路状況、季節、運転のしかたなど各使用状況で燃費は異なることがありますので、選んだルートが必ずしもエコなルートであるとは限りません。

エコ運転評価について

エコ運転評価画面では、エコ運転を急発進、急加速、急減速、巡航、アイドリングの状態から５段階で評価し、運転のアドバイスを行います。地図の表示方法で**［地図＆エコ情報］**を選んだときに表示されます。（→ P.68）

⚠ 警告

- エコ運転評価を参考にして運転する場合は、ナビ画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。

インフォメーション

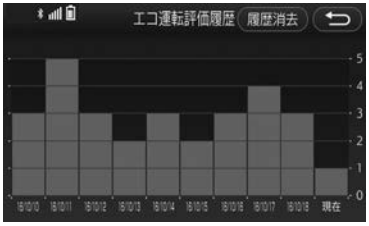
- 速度と経過時間から計算されます。車速が算出されない状態では正しく計算されない場合があります。（→ P.174）
- 急な坂道など走行環境によりエコ運転評価が低く評価される場合がありますので、ご了承ください。
- 評価は一日単位で行われ、日付が変わると最新のエコ運転評価が履歴に追加保存されます。すでに履歴が９件ある場合、一番古い履歴は削除されます。履歴を確認するには情報メニュー画面で**［エコ運転評価履歴］**にタッチしてください。
- 以下の場合、エコ運転評価画面は表示されません。
  - 交差点案内表示中
  - レーン情報表示中
  - 方面看板表示中
  - ターンリスト表示中
  - ハイウェイモード表示中

エコ運転履歴の表示

過去 9 件分と最新のエコ運転評価履歴を表示します。

1 **MENU を押し、［情報］－［エコ運転評価履歴］にタッチする**

▼



インフォメーション

- 履歴を消去したい場合は、**［履歴消去］－［はい］**の順にタッチします。（履歴は全件消去されます。）

燃費履歴について

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。

燃費の履歴・グラフを表示する

前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示され、過去 6 回分の燃費がグラフで表示されます。

1 **MENU を押し、［情報］－［燃費］－［履歴・グラフ］にタッチする**

▼



インフォメーション

- 履歴を消去したいときは、**［履歴消去］－［はい］**の順にタッチします。
- 給油量を入力していない場合、履歴は表示されません。**(→ P.143)**
- 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。
- グラフの表示は、最大 60 km/L になります。
- 数値の表示は、0.1 km/L から 99.9 km/L になります。

給油量を入力する

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット（0.0 km）されます。

1 MENU を押し、［情報］－［燃費］にタッチする

2 ［データ入力］にタッチする



3 ［給油量入力］にタッチする



インフォメーション

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後に**［走行距離リセット］－［はい］**の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。
- 走行距離の表示は、0.0 km から 9999.9km になります。

4 給油量を入力して、［完了］にタッチする



インフォメーション

- 間違えた場合は、**［←］**にタッチして修正します。
- 入力できる給油量は、0.1 L から 99.9 L になります。

5 スマートフォン連携機能を使う

スマートフォンを本機に接続して、地図の操作や、目的地の設定、オーディオ操作の確認をすることができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーション（NaviCon または smart nAVVi Link）をスマートフォンにダウンロードする必要があります。

⚠ 警告

- スマートフォンは必ず固定してお使いください。走行中に転がり、ブレーキペダルの下に入り込むと大変危険です。
- エアバッグなどの車の安全装置が働いたときに動作の妨げになる場所や視認の妨げになる場所には固定しないでください。
- 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

インフォメーション

- 本機能をお使いになるには、専用のアプリケーションをスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、App Store または Google Play のヘルプをご覧ください。
- スマートフォン連携機能を使うためには、本機とスマートフォンを Bluetooth 接続（HFP で接続）する必要があります。→**「2. Bluetooth 設定をする」（P.152）**
- 本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店またはトヨタのパソコンサイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）でご確認ください。
- スマートフォンアプリサービスは、予告なく変更あるいは終了する場合がございます。

NaviCon アプリを起動する

1 スマートフォンを操作して、専用アプリ（NaviCon）を起動する



NaviCon アプリが起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「ONLINE」と表示されるとともに、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。（ナビ画面の状態によっては、ナビ画面に地図表示がされない場合があります。）

インフォメーション

- Android 版アプリをご利用の場合は、アプリ起動後に接続先の選択が必要になる場合があります。詳細はアプリのヘルプをご覧ください。
- 専用アプリ（NaviCon）起動時の操作方法は、NaviCon アプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。
- 本アプリは、（株）デンソーが提供します。

NaviCon アプリのダウンロードについて

NaviCon アプリは以下からダウンロードできます。

- iOS 版：AppStore
  https://itunes.apple.com/jp/app/navicon-odekakesapoto/id368186022?mt=8

- Android 版：GooglePlay
  https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.denso.navicon.view

NaviCon のサポートサイト
https://navicon.com/

インフォメーション

- QR コードを読み込むには、専用のアプリが必要になります。

NaviCon アプリの操作について

⚠ 警告

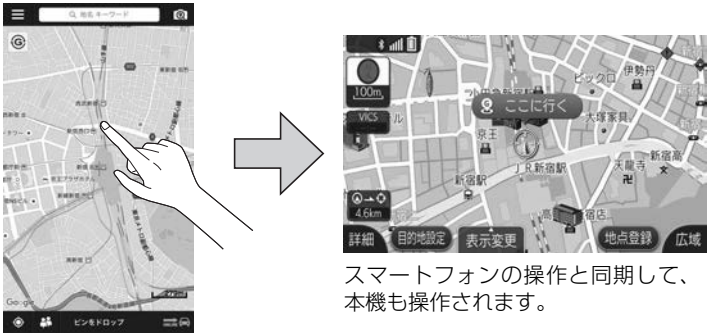
● 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

● 車両走行中にはアプリの操作が制限されます。

スマートフォンを操作することによって、本機の下記操作を行うことができます。

- 地図のスクロール
- 地図の縮尺変更
- 目的地の設定
- 外部連携アプリからの連携操作
  （グルメ検索アプリなどで選んだお店位置を NaviCon 経由で本機に設定できます。）



スマートフォンの操作と同期して、
本機も操作されます。

インフォメーション

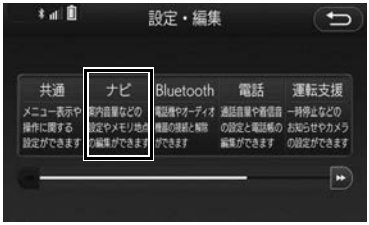
- ナビ画面の状態によっては NaviCon アプリの操作と連携して動作しない場合があります。（地図表示中でない場合など）
- スマートフォンの地図操作やアプリの操作については、NaviCon アプリ内のヘルプ、サポートサイトのヘルプをご覧ください。

1 ナビ詳細設定をする

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとのメニューに分類されています。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］にタッチする



2 ［ナビ詳細設定］にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



項目	ページ
地図表示設定	P.148
案内表示設定	P.149
音声設定	P.150
ルート系設定	P.150
その他	P.151

4 設定する機能のメニューにタッチする

インフォメーション

- 初期設定の状態に戻す場合は、各画面の［初期状態］にタッチします。

地図表示設定



項目	設定	機能
[画面分割設定]	**[地図 1 画面]** **[地図 2 画面]** **[地図&エコ情報]**	地図画面の分割表示設定（→ P.67）を変更します。
[右画面設定]	**[周辺施設表示]** **[VICS 表示]**	地図を 2 画面表示にしたときの右画面に表示する周辺施設マーク（→ P.70）や VICS 表示（→ P.131）を変更します。
[3D 地図表示設定]	**[▲]** **[▼]** **[初期状態]**	地図を 3D 表示するときの角度を変更します。
[地図表示カスタマイズ]	地図色 タブスイッチ ルート色 タブスイッチ 文字サイズ タブスイッチ	地図表示色、ルート表示色、または地図に表示される文字サイズを変更します。（→ P.69）
[地図色切り替えタイミング設定]	**[時刻連動]** **[ライト連動]**	昼画面と夜画面の切り替え設定を変更します。（→ P.69）
[周辺施設表示]	**[表示を解除]** **[GS]** **[コンビニ]** **[レストラン]** **[駐車場]** **[銀行]** **[郵便局]** **[トイレのある施設]** **[全ジャンルから選ぶ]**	地図上に表示させたい施設記号を設定します。（→ P.70） 左記表示は工場出荷時の設定です。**[トイレのある施設]** 以外の表示項目は、「周辺施設 走行中呼び出しジャンル」で変更できます。（→ P.151） 表示されている施設以外を設定する場合は、**[全ジャンルから選ぶ]** をタッチします。（→ P.71） **[トイレのある施設]** は、**[駐車場あり]**、**[24 時間営業]**、および **[バリアフリー]** にタッチすると、該当する施設だけを表示します。
[シーズンレジャーランドマーク表示]	**[する]** **[しない]**	桜や紅葉の季節名所の表示の設定を変更します。（→ P.77）

案内表示設定



項目	設定	機能
[ターンリスト自動表示]	**[する]** **[しない]**	分岐する交差点などのターンリストの表示設定を変更します。
[縮尺切替メッセージ表示]	**[する]** **[しない]**	縮尺切り替え時のメッセージ表示の設定を変更します。
[県境案内]	**[する]** **[しない]**	県境での案内の設定を変更します。
[3D 交差点拡大図]	**[する]** **[しない]**	交差点拡大図を立体的（3D）に表示する設定を変更します。
[到着予想時刻用速度設定]	**[自動]** **[手動]**	ルート案内するときの、到着予想時刻・通過予想時刻・所要時間を計算する基準である平均車速の設定方法を変更できます。 **[手動]** を選択した場合は、一般道路・有料道路・高速道路の車速をそれぞれ設定します。
[到着予想時刻表示]	**[デジタル]** **[アナログ]**	到着予想時刻の表示設定を変更します。

音声設定



項目	設定	機能
[VICS 渋滞・規制音声自動発声]	[する] [しない]	VICS 交通情報の音声案内の設定を変更します。
[細街路での音声案内]	[する] [しない]	細街路の手前 100 m での音声案内の設定を変更します。
[ハートフル音声]	[する] [しない]	ハートフル音声の設定を変更します。 (一日の最初の起動時に、今日の日付や記念日などを音声で案内します。)

ルート系設定



項目	設定	機能
[ルート学習]	[する] [しない]	ルート学習の設定を変更します。
[ルート学習結果の消去]	-	ルート学習の結果を消去します。(→ P.128)
[フェリールート利用]	[する] [しない]	フェリールートの設定を変更します。

その他



項目	設定	機能
[車両情報設定]	**[全長]** **[全幅]** **[全高]** **[ナンバー]**	有料道路の料金計算や提携駐車場を検索するときの基準である車両情報を変更します。 （目的地を設定している場合、車両情報の設定と変更はできません。）
[目的地履歴の消去]	-	目的地履歴を消去します。**（→ P.127）**
[時計表示]	**[する]** **[しない]**	地図画面の時計表示の設定を変更します。
[現在地修正]	-	現在地の修正をします。
[VICS 選局]	**[自動]** **[手動]**	VICS 選局の設定を変更します。
[周辺施設 走行中呼出ジャンル]	**[GS]** **[コンビニ]** **[レストラン]** **[駐車場]** **[銀行]** **[郵便局]** **[初期状態]**	走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更します。左記表示は工場出荷時の設定です。**[初期状態]** 以外は変更できます。変更する場合は、変更したい施設にタッチして、「走行中呼出ジャンル」から設定したい施設を選択して変更します。
[QUICK SETUP]	「セキュリティ設定」 「標準・かんたんモード画面切替」 「自宅登録」 「ガイダンス音量設定」 「車両情報設定」 「地図表示カスタマイズ」 「エコ設定」 「Bluetooth 設定」	QUICK SETUP **（→ P.44）** の設定や設定した内容を修正します。

2 Bluetooth 設定をする

Bluetooth 機器を本機に接続することで、Bluetooth 機器を直接操作することなく使用できます。

ハンズフリー機能や Bluetooth Audio 機能、スマートフォン連携機能などをお使いになるには、Bluetooth 機器をあらかじめ設定する必要があります。

インフォメーション

- 最大 5 台の Bluetooth 機器を登録できます。Bluetooth 機器の切り替えかたや削除の方法は**→「Bluetooth 機器を切り替える」(P.154)**、**→「Bluetooth 機器を削除する」(P.156)** をご覧ください。
- QUICK SETUP **(→ P.44)** で設定することもできます。
- スマートフォン連携機能については、**→「5. スマートフォン連携機能を使う」(P.144)** をご覧ください。

Bluetooth 機器使用上のご注意

本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

プロファイル名	用途
HFP (Hands Free Profile)	ハンズフリー通話に利用されます。
SPP (Serial Port Profile)	スマートフォン連携機能に利用されます。
OPP (Object Push Profile)	電話機を操作して電話帳データを送信するために利用されます。
PBAP (Phone Book Access Profile)	自動的に電話帳データを受信するために利用されます。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	ミュージックプレーヤーの音声をステレオ再生するために利用されます。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	オーディオコントロール（ミュージックプレーヤーの音量や曲送り、選曲の操作）に利用されます。

インフォメーション

- スマートフォンと本機を HFP で接続することで、スマートフォン連携機能を利用できます。**(→ P.144)**

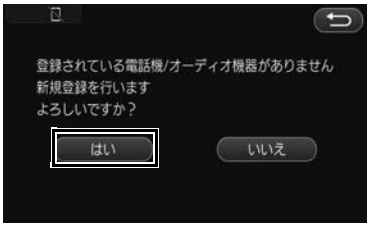
Bluetooth 機器を初期登録する

ハンズフリーや Bluetooth Audio を使用するためには、電話機 / オーディオ機器を本機に初期登録する必要があります。初期登録完了後は、車両のエンジンスイッチ< パワースイッチ>を OFF からアクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>にするたびに自動で Bluetooth 接続します。

1 MENU を押し、[設定・編集] − [Bluetooth] にタッチする



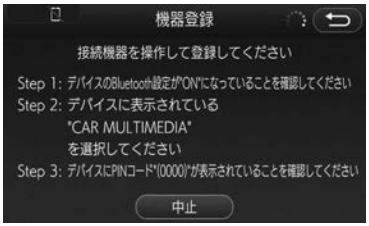
2 [はい] にタッチする



インフォメーション

- Bluetooth 機器を追加で登録する場合は、**[新しい機器を登録する]** にタッチしてください。
- 複数の電話機 / オーディオ機器を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内に従って操作してください。

3 Bluetooth 接続画面が表示されたら、電話機 / オーディオ機器から Bluetooth 登録する



インフォメーション

- 電話機 / オーディオ機器側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
- 電話機 / オーディオ機器を Bluetooth 接続可能な状態にしてください。
- 中止するときは、**[中止]** を選択してください。

4 電話機本体 / オーディオ機器本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コードを入力する

インフォメーション

- PIN コードとは、電話機を本機に登録する際のパスワードです。4 ～ 16 桁の任意の数字に変更することができます。
- 電話機 / オーディオ機器の機種により、PIN コード入力後に電話機 / オーディオ機器の操作が必要になる場合があります。
- SSP (Secure Simple Pairing) に対応している電話機は、PIN コードを入力する必要はありません。ただし、機種によっては電話機に確認メッセージが表示される場合があります。表示に従って操作してください。
- オーディオ機器で PIN コード入力できない場合、本機の PIN コードをオーディオ機器の PIN コードに変更し操作してください。

5 初期登録が完了すると、メッセージが表示されます

失敗画面が表示された場合、画面の案内に従い、操作してください。

インフォメーション

- PBAP 接続（→ P.152）に対応した電話機の場合、機器登録とハンズフリーの接続が完了すると、PBAP を接続して電話帳と履歴が自動転送されます。お使いの電話機によってはアクセス許可を認めるかのメッセージが電話機側に表示されますので、アクセス許可の操作をしてください。
  アクセスが許可されるまでは、プロファイルの接続が完了しませんのでご注意ください。
- 登録した携帯電話を忘れたり携帯電話の Bluetooth 設定が OFF になっているときは、画面と音声で警告します。画面にタッチすることで、警告を消すことができます。

Bluetooth 機器を切り替える

Bluetooth Audio を使用中に Bluetooth 機器の切り替え操作を行うと、Bluetooth Audio の再生が中断されます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［Bluetooth］にタッチする

2 切り替える Bluetooth 機器にタッチする



3 項目を選んでタッチする



［機器詳細情報］	登録した機器の設定を変更します。（→ P.155）
［（機器名称）の接続］	対応しているプロファイルを全て接続します。
［（機器名称）の切断］	選択された機器と接続中のプロファイルを全て切断します。

［電話機の接続］／［電話機の切断］	選択した機器が未接続の場合、**［電話機の接続］**にタッチして接続します。 選択した機器が接続中の場合、**［電話機の切断］**にタッチして切断します。
［オーディオ機器の接続］／［オーディオ機器の切断］	選択した機器が未接続の場合、**［オーディオ機器の接続］**にタッチして接続します。 選択した機器が接続中の場合、**［オーディオ機器の切断］**にタッチして切断します。

インフォメーション

- MENU －**［設定・編集］**－**［電話］**－**［電話機接続］**でも同じ操作ができます。

Bluetooth 機器の登録設定を変更する

1 **［機器詳細情報］にタッチする**（→ P.154）

2 **項目を選んでタッチする**





［機器名称］	機器名称を入力または変更します。
［接続方法］	接続方法を**［車載機から］**、または**［オーディオ機器から］**にタッチして変更できます。
［スマートフォン連携］	スマートフォン連携を**［する］**、または**［しない］**にタッチして変更できます。
［初期状態］	**［はい］**にタッチすると、機器の登録をクリア（初期化）します。

Bluetooth 機器を削除する

インフォメーション

- 選んだ Bluetooth 機器が発着信中、通話中の場合は削除できません。動作終了後に操作してください。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［Bluetooth］にタッチする

2 ［削除］にタッチする



3 削除する Bluetooth 機器にタッチする



▼

確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］にタッチする

▼

選択した Bluetooth 機器が削除されます。

Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更ができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［Bluetooth］－［Bluetooth 詳細設定］にタッチする

2 変更する項目にタッチする



［Bluetooth Power］	**［On］**または**［Off］**にタッチすると、Bluetooth を利用する／しないを設定できます。
［優先接続設定］	自動で Bluetooth 接続する機器の優先順位を設定できます。**(→ P.157)**
［機器情報］	本機に関する Bluetooth 設定が変更できます。**(→ P.157)**

3 各項目を変更する

優先接続設定を変更する

1 [優先接続設定] にタッチし、[する] にタッチする

2 [優先接続電話機] または [優先接続オーディオ機器] にタッチする



3 優先順位を変更したい Bluetooth 機器にタッチして、[上へ] または [下へ] にタッチする



本機の Bluetooth 設定を変更する

本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更ができます。

1 MENU を押し、[設定・編集] − [Bluetooth] − [Bluetooth 詳細設定] − [機器情報] にタッチする

2 変更する項目にタッチする



[機器名称]	Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更できます。
[PIN コード]	接続機器を本機に登録するときのパスワードです。4 ～ 16 桁の任意の数字に変更できます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更はできません。 機器名称や PIN コードを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまった場合などに、識別の参考にできます。

[電話機の接続確認表示]	ACC を ON にしたあと、本機と携帯電話を自動的に Bluetooth 接続した場合に、本機の画面に接続確認の案内表示をするか設定（する／しない）できます。
[オーディオ機器の接続確認表示]	Bluetooth 接続されると、接続完了の案内を本機の画面に表示するか設定（する／しない）できます。
対応プロファイル	本機で対応している Bluetooth プロファイルが表示されます。**(→ P.152)**

3 各項目を変更する

インフォメーション

- 機器名称は英数字と数記号だけの入力です。ひらがなとカタカナの入力はできません。
- PIN コードは、4 ～ 16 桁の範囲で任意の数字を入力します。
- 間違えた場合は、**[←]** にタッチします。

Bluetooth 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態に戻すことができます。

1 MENU を押し、[設定・編集] － [Bluetooth] － [Bluetooth 詳細設定] － [初期状態] にタッチする



▼

確認メッセージが表示されます。

2 [はい] にタッチする

3 ナビゲーションの音量を設定する

ナビゲーションの案内音量の調整を行います。

インフォメーション

- オーディオの音量の調整については、→**「オーディオの音量を調整する」（P.184）**をご覧ください。

音量設定をする

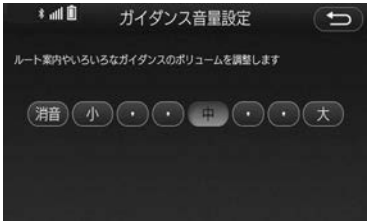
ナビゲーションの案内音量を設定します。

インフォメーション

- QUICK SETUP（→**P.44**）で設定することもできます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［ガイダンス音量設定］にタッチする

2 設定したい項目にタッチする



［消音］	音声が出力されません。（消音）
［小］	音量が最小となります。
［・］［中］	お好みに合わせて、音量を調節できます。
［大］	音量が最大となります。

インフォメーション

- ETC 音声も連動して設定されます。
- 設定後にアナウンスが流れますので、設定音量を確認してください。

4 車両情報を設定する

車両の長さ、幅、高さ、およびナンバー（車種）を設定します。
ここで設定された内容が駐車場および有料道路料金の案内に反映されます。

インフォメーション

- ここで設定された車両情報は、以下の検索方法で駐車場を検索した際に考慮されます。
  - 名称検索→**「名称で探す」(P.83)**
  - 電話番号検索→**「電話番号で探す」(P.85)**
  - 周辺検索（周辺施設）→**「近くの施設を検索する」(P.72)**
  - 周辺検索（ジャンル）→**「ジャンルで探す」(P.87)**
  - 提携駐車場検索→**「提携駐車場を検索する」(P.92)**
- QUICK SETUP（→**P.44**）で設定することもできます。
- 目的地を設定している場合、車両情報の設定と変更はできません。

1 **MENU** を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［ナビ詳細設定］－［その他］にタッチする

2 ［車両情報設定］にタッチする



3 車検証などを参考に、各項目を選んで［<］または［>］で内容を設定し、⮌ にタッチする



全長

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
450 cm 以下の場合	「450 cm 以下」を選択してください。
600 cm 以上の場合	「600 cm 以上」を選択してください。
それ以外の場合（455 cm ～ 590 cm）	自車の全長に近い値を選択してください。455 cm ～ 500 cm までは 5 cm 単位、500 cm ～ 590 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

全幅

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
160 cm 以下の場合	「160 cm 以下」を選択してください。
250 cm 以上の場合	「250 cm 以上」を選択してください。

それ以外の場合（165 cm ～ 240 cm）	自車の全幅に近い値を選択してください。165 cm ～ 200 cm までは 5 cm 単位、200 cm ～ 240 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

全高

設定していない場合	「未設定」が表示されます。
150 cm 以下の場合	「150 cm 以下」を選択してください。
300 cm 以上の場合	「300 cm 以上」を選択してください。
それ以外の場合（155 cm ～ 290 cm）	自車の全高に近い値を選択してください。155 cm ～ 200 cm までは 5 cm 単位、200 cm ～ 290 cm までは 10 cm 単位で表示されます。

ナンバー（車種）

1 または 2 の場合	「1・2」を選択してください。
3 の場合	「3」を選択してください。
5 または 7 の場合	「5・7」を選択してください。
軽自動車の場合	「軽」を選択してください。

インフォメーション

- **［初期状態］**をタッチすると、設定した値が全てクリアされます。

5 その他の設定をする

自車位置のずれを修正する

自車位置がずれた場合は、修正することができます。自車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［ナビ詳細設定］－［その他］にタッチする

2 ［現在地修正］にタッチする



3 地図画面にタッチし、修正したい位置にカーソルを合わせる

4 ［セット］にタッチする



5 左右の回転矢印にタッチして自車の向きを調整する



6 ［セット］にタッチする

▼

自車位置が修正されます。

セキュリティ設定をする

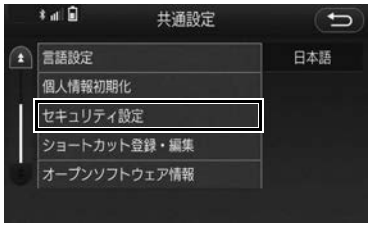
セキュリティ設定をすることで、盗難抑止効果や盗難予防効果が期待できます。

注意

- 本機能をご利用いただくことが、必ずしも盗難防止につながるわけではありません。車から離れるときは必ずキーを抜いてドアをロックするなど、基本的な対策はお客様ご自身で注意していただきますようお願いします。
- お車を手放す場合は、セキュリティ設定の解除（→ P.165）と個人情報の初期化（→ P.168）をしてください。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［共通］にタッチする

2 ［セキュリティ設定］にタッチする



▼

セキュリティ設定画面が表示されます。



セキュリティ機能－**［設定］**／**［解除］**	本機が一度バッテリー/補機バッテリーから外された場合、パスワードが一致しない限り、主な機能が使えないように設定することができます。セキュリティ機能の設定は、セキュリティ解除時に必要となるパスワードと、それを入力する際に表示されるヒントを設定します。
インジケータ－**［ON］**／**［OFF］**	セキュリティ機能を有効に設定した場合、本機の電源をOFF（車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFF）にすると盗難予防としてのセキュリティインジケータを点滅させるように設定することができます。**（→P.165）**

セキュリティ機能を設定する

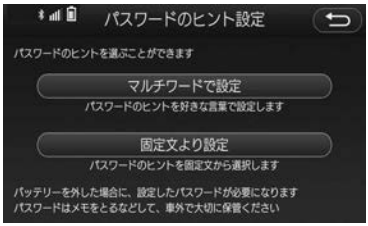
1 「セキュリティ機能」の［設定］にタッチする

インフォメーション

- すでにパスワードが設定されている場合は、パスワードを変更するかしないかのメッセージが表示されます。変更する場合は、**［はい］**にタッチして現在のパスワードを入力して**［完了］**にタッチします。

ヒントの設定

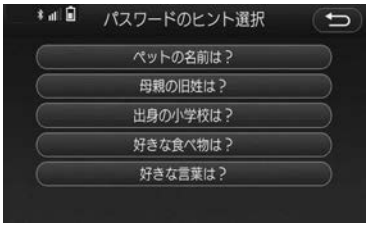
2 ［マルチワードで設定］または［固定文より設定］を選んでタッチする



［マルチワードで設定］	お好みの言葉をパスワードのヒントとして設定できます。
［固定文より設定］	5つの固定文からパスワードのヒントを選んで設定できます。

例：［固定文より設定］を選んだとき

3 5 つの固定文からヒントを選んでタッチする



インフォメーション

- **［マルチワードで設定］**を選んだときは、半角または全角 12 文字以内でお好みの言葉をヒントとして入力し、**［完了］**にタッチします。

パスワードの設定

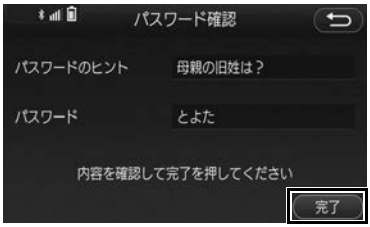
4 設定したいパスワードを入力し、［完了］にタッチする



インフォメーション

- 入力できるパスワードは、半角または全角で 12 文字以内です。

5 設定したパスワードとヒントを確認し、［完了］にタッチする



▼

セキュリティ機能が設定されます。

セキュリティ機能が働いた場合の操作

セキュリティ機能を有効に設定した状態で、バッテリー / 補機バッテリー交換などを行った場合、ACC を ON にすると、以下の画面が表示されます。

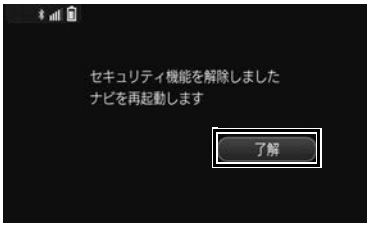
1 設定したパスワードを入力して［完了］にタッチする



インフォメーション

- 万が一、パスワードを忘れた場合は、販売店にご相談ください。

2 [了解] にタッチする



▼

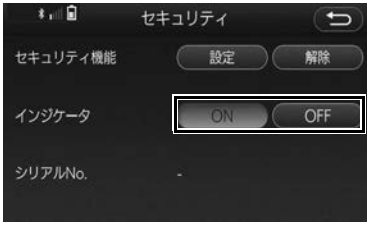
ナビゲーションが起動します。

インジケータを設定する

インフォメーション

- セキュリティ機能が有効に設定されている場合だけ、インジケータを設定できます。

1 「インジケータ」の［ON］または［OFF］にタッチする



[ON]	セキュリティインジケータが点滅します。
[OFF]	セキュリティインジケータは点滅しません。

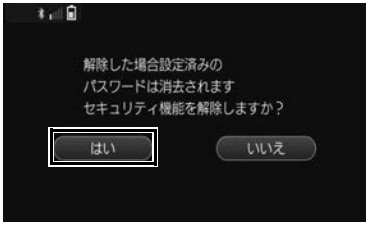
セキュリティ機能を解除する

セキュリティ機能を解除したい場合は、以下のように操作します。

1 「セキュリティ機能」の［解除］にタッチする



2 [はい] にタッチする



3 パスワードを入力し、［完了］にタッチする



▼

セキュリティ機能が解除されます。

安全・快適走行の設定をする

1 MENU を押し、［設定・編集］－［運転支援］にタッチする

2 ［安全・快適走行設定］にタッチする

3 設定を変更したい項目にタッチする



［一時停止案内］	一時停止案内を設定します。（する／しない） （→ P.75）
［踏切案内］	踏切案内を設定します。（する／しない） （→ P.75）
［合流案内］	合流案内を設定します。（する／しない） （→ P.75）
［カーブ案内］	カーブ案内を設定します。（する／しない） （→ P.75）
［レーン案内］	専用レーン案内を設定します。（する／しない） （→ P.75）
［事故多発地点案内］	事故多発地点案内を設定します。（する／しない） （→ P.76）
［学校存在案内］	学校存在案内を設定します。（する／しない） （→ P.76）

タッチしたときの応答音の設定をする

タッチパネルにタッチしたときの応答音の出力を消音、または３種類の中から設定できます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［共通］にタッチする

2 ［タッチ操作音］にタッチして、変更したい音にタッチする



インフォメーション

・ 操作音を消したい場合は、［操作音なし］にタッチしてください。

メニューデザインを変更する

画面のメニューデザインを変更できます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［共通］にタッチする

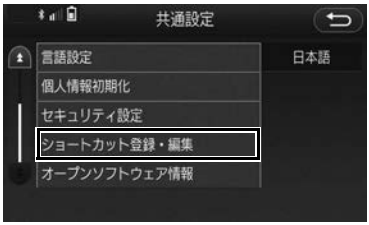
2 ［メニューデザイン］にタッチして、変更したいデザインにタッチする



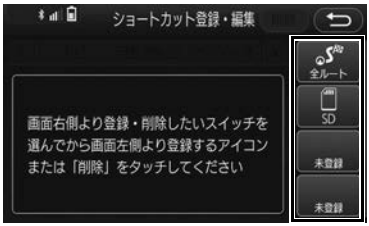
ショートカットキーの設定をする

1 MENU を押し、［設定・編集］－［共通］にタッチする

2 ［ショートカット登録・編集］にタッチする



3 画面右側の［未登録］、または変更したいショートカットをタッチする



4 新しくショートカットにしたいメニューを、下記のタブスイッチから選んでタッチする

ナビ
目的地設定
オーディオ
設定・編集
情報

インフォメーション

- ショートカットに登録したメニューを削除したい場合は、手順3の画面右側から削除したいメニューにタッチして、［削除］にタッチします。

ショートカットコントロール画面を表示する

1 MENU を長く押す

2 操作したいメニューにタッチする

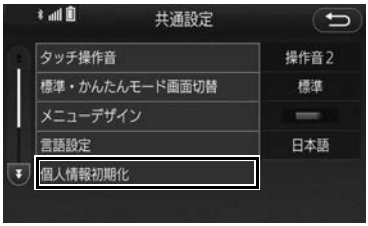


設定を初期状態に戻す

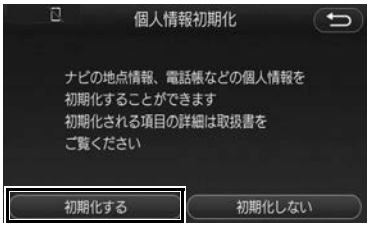
設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 MENU を押し、[設定・編集] ー [共通] にタッチする

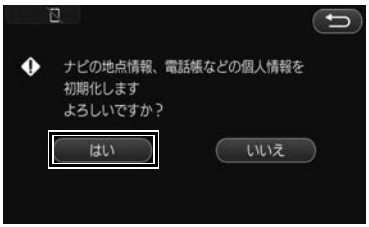
2 [個人情報初期化] にタッチする



3 [初期化する] にタッチする



4 [はい] にタッチする



▼

設定が初期化されます。

注意

- 一度消去したデータは元に戻せません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は、事前に控えておいてください。
- お車を手放す場合は、セキュリティ設定の解除（→ P.165）と個人情報の初期化をしてください。
- バッテリーを外した場合に初期化される項目（→ P.7）と個人情報初期化をした場合で初期化される項目は異なります。

消去される項目は、以下のとおりです。

消去される項目

車両情報設定、電話帳データ、Bluetooth 設定、ソフトウェア更新情報、一時停止案内、フリックガイド、燃費、ショートカット、QUICK SETUP、バックガイドモニターなど

インフォメーション

- それぞれの設定を個別に初期化する場合は、各設定画面から操作してください。
- セキュリティ設定（→ P.162）が設定されていた場合、情報を削除できません。セキュリティ設定を解除してから、再度操作を行ってください。

1 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	考えられること	処置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネルの特性として、表示面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、または明るさ調整が適正でない。	画面のコントラスト、または明るさを調整してください。(→ P.31)
車両の車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>をアクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
地図 SD の挿入検知。（半押しなど）	地図 SD が正しく挿入されていない。	地図 SD を “カチッ” と音がするまで差し込んでください。（地図 SD カードは取り出さないでください。地図データを更新する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。）
タッチパネルが効かない、ずれる、反応が悪い。	画面に保護シートが貼られている。	保護シートを剥がしてご使用ください。

ナビゲーション

症状	考えられること	処置
地図が表示されない。	地図 SD が差し込まれていない。	地図 SD が地図 SD スロットに正しく挿入されているかご確認ください。
「地図 SD がありません 地図 SD を挿入してください」の表示が出て、動作しない。	地図 SD に異物などが付着し、SD カードのデータが読み込めない。	地図 SD を確認し再挿入してください。地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジン / ハイブリッドシステムを始動し直してください。
	地図 SD 以外の SD カードが挿入されている。	地図 SD を確認し、挿入してください。地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジン / ハイブリッドシステムを始動し直してください。
	地図 SD が完全に挿入されていない、もしくは未挿入状態となっている。	地図 SD を奥まで差し込み、画面モニターを閉じて、エンジン / ハイブリッドシステムを始動し直してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっている。	現在地画面を表示させてください。**(→ P.64)**
自車マークが表示されない。		
自車マークが実際の現在地とずれている。	測位誤差。	測位誤差の発生しやすい場所については、**→「誤差について」(P.174)** をご覧ください。
自車位置を測位できない。測位誤差が大きい。	GPS アンテナの近くに、電波をさえぎる物や電子機器などが設置されている。	GPS アンテナ付近には物を設置しないでください。機器を取り外し、GPS の受信状況が改善するかご確認ください。
音声案内が出力されない。	案内の音量が小さく、または消音になっている。	音量を大きくしてください。**(→ P.159)**
FM-VICS が受信されない。	FM-VICS 選局が「手動」で設定している。(そのため、現在地エリアの FM-VICS 放送局が選局されていないため、FM-VICS 放送を受信できない。)	FM-VICS 放送局を「自動」に切り替えてください。**(→ P.136)**
	VICS 情報の表示設定をしていないため。	VICS 情報の表示設定を行ってください。**(→ P.130)**

症状	考えられること	処置
車両情報を変更できない。 車両情報を設定できない。 **[車両情報設定]** にタッチできない。	目的地が設定されている。 (Gが残っている。)	目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。目的地を消去 **(→ P.110)** してから、変更または設定をしてください。
Bluetooth 機器と接続できない。	本機が Bluetooth 機器と通信できない状態になっている。	Bluetooth 機器の電源を入れ直すか、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたあと、アクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>してください。あとから Bluetooth 機器の電源を入れたときは、1 分ほどお待ちいただくか、→ **「Bluetooth 機器を切り替える」(P.154)** の操作をして、Bluetooth 接続する Bluetooth 機器を選択してください。

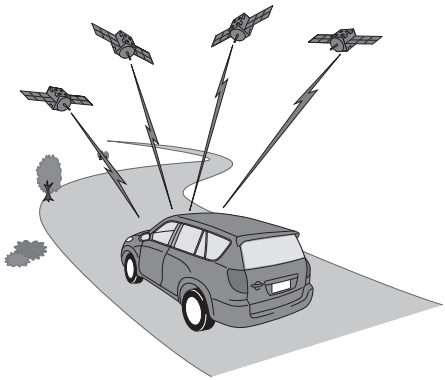
2 ナビゲーションのしくみ

現在地がわかるしくみ

本機では、現在地（自車位置）を測位する方法として GPS に加え、自立航法による測位が可能です。

GPS による測位

GPS 衛星 (人工衛星) から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。GPS 衛星は、地球の周り高度 21,000 km に打ち上げられています。3 つ以上の GPS 衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPS による測位には、3 次元測位と 2 次元測位の 2 種類があります。



種類	内容
3 次元測位	GPS 衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の 3 次元で測位できる。
2 次元測位	GPS 衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の 2 次元で測位する。高度は測位できないため、3 次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

自立航法による測位

GPS と自立航法を組み合わせた測位の特徴

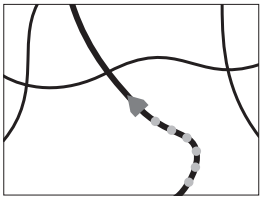
- GPS による現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS 衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPS と自立航法を組み合わせると、GPS 測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

マップマッチング

GPS や自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPS と自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

インフォメーション

- 市街図で道路が表示されていても、その道路をルート探索またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

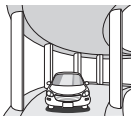
誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS 測位不能による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。


トンネルの中や
ビルの駐車場


2層構造の高速道路
の下


高層ビルの群集地帯


密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPS アンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積もると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS 衛星自体による誤差

- GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2 次元測位となり誤差が大きくなります。

有料・高架道路での誤差について

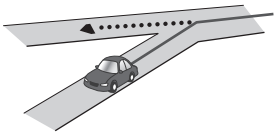
有料道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、勾配を検知して距離補正を行います。勾配データが収録されていない道路では、補正されないため誤差が大きくなることがあります。

低速時の自車位置精度について

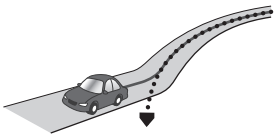
車種によっては数 km/h 程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数 km/h 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さなＹ字路を走った場合。



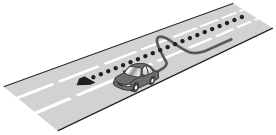
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



- 砂利道や雪道などでタイヤがスリップした場合。



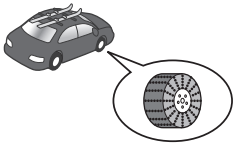
- 蛇行運転をした場合。



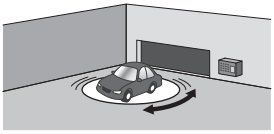
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



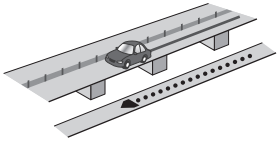
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



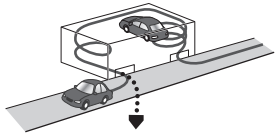
- ヘアピンカーブが続いた場合。



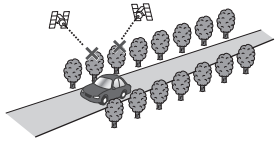
- 道路が近接している場合。（有料道路と側道など）



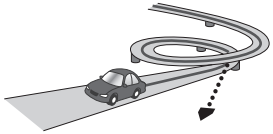
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



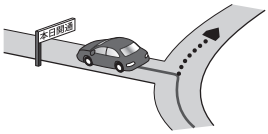
- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。



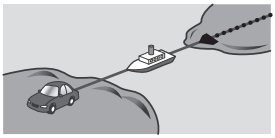
- ループ橋などを通った場合。



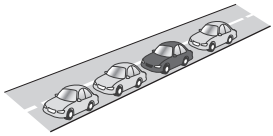
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



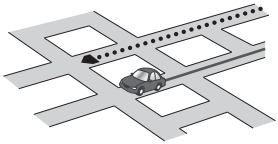
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジン / ハイブリッドシステムを始動してすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。

3 その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTT タウンページをもとに位置データを整備していますが、元のデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所や元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。

施設記号の表示について

- 施設記号が表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

ルートに関する注意事項

⚠ 警告

- ルート探索をすると、自動的にルート / 音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、ルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は 100 m 縮尺の地図に表示される道路を対象としています。市街図にだけ表示される道路は対象となりません。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます。（本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます。）
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、全てのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口または出口によっては、乗降 IC 指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 一般優先ルート、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが 5 本に満たない場合、各条件のルートが同じになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地付近の「大きな交差点 ※」付近に追加目的地を設定してみてください。

  ※「大きな交差点」とは、細街路（100 m 縮尺でグレー表示の細い道 →**「記号・マーク一覧」(P.178)**）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 目的地の前後では道塗りされない場合があります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D 交差点拡大図は、交差点とその約 150 m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。
- 第 1 案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「○○円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

記号・マーク一覧

地図関連

- 高速・有料道
- 国道
- 主要地方道
- 都道府県道
- 一般道
- 細街路
- 鉄道（JR）
- 鉄道（私鉄）
- 都道府県境
- 国道番号
- 都道府県道番号
- 一方通行
- 海・川・湖沼
- 公園・緑地・芝生など
- 施設敷地
- 家形
- 信号機
- 山岳
- 公園・庭園
- 工場・研究所・鉱山
- SA サービスエリア
- PA パーキングエリア
- IC 高速入口・出口
- IC スマート IC ゲート
- P 駐車場
- 道の駅
- 空港・民間飛行場
- フェリーターミナル
- 駅
- 港湾
- 踏切
- ボトルネック踏切
- 事故多発地点
- 発電所
- 灯台
- 墓地
- 都道府県庁
- 市役所
- 町村役場・区役所
- 官公署
- 警察署・交番
- 消防署
- 病院・保健所
- 郵便局
- NTT
- 学校
- 幼稚園・保育園
- 銭湯・温泉
- キャンプ場
- ゴルフ場
- 陸上競技場・体育館
- スキー場
- ビーチ
- ヨットハーバー
- アイススケート場
- 神社
- 寺院
- キリスト教会・天主堂
- 城・城跡
- デパート
- 銀行
- H ホテル
- ビル
- 名所・観光地など
- その他の施設
- トヨタ店
- トヨペット店
- カローラ店
- ネッツ店
- ダイハツ
- レクサス
- L&F トヨタ L&F

検索・ルート関連

- G 目的地
- G1 目的地 1 ～ 5
- 案内地
- 登録地
- 案内中ルート
- 案内中ルート（細街路）

渋滞情報関連

- 渋滞
- 混雑
- 順調
- 規制区間
- 入口閉鎖・通行止
- 事故
- 故障車
- 路上障害
- 工事
- 火災
- 雨
- 凍結
- 雪
- 作業
- 通行止め
- 右折禁止
- 左折禁止
- 直進禁止
- 片側交互通行
- チェーン規制
- 進入禁止
- 対面通行
- 車線規制
- 徐行
- 入口閉鎖
- 入口規制
- 出口規制
- 大型通行止め
- 30 速度規制
  （数字は制限速度）
- イベント開催中
- イベント開催外
- 特別警報 緊急情報
- 気象速報 気象速報警報
- 災害速報 災害速報
- 注意（通常：青色、
  地震警戒宣言：黒色）
- P 駐車場（空車：青色、
  混雑：橙色、満車：
  赤色、不明：黒色）
- SA PA 情報（閉鎖）
- SA PA SA PA 情報（空車：青色、
  混雑：橙色、満車：
  赤色、不明：黒色）
- SA PA SA PA 情報（閉鎖）
- 充電施設（空車：青色、
  混雑：橙色、満車：
  赤色、不明：黒色）

※ 記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。
※ 実際の色と異なる場合があります。

3

オーディオ&ビジュアル

1 はじめに

1 オーディオの基本操作..... 182
使用できるメディアについて..... 182
オーディオソース画面を表示する.... 182
オーディオソースを切り替える..... 183
オーディオソースを OFF にする..... 184
オーディオの音量を調整する..... 184
はっきり音声を設定する 185
緊急警報放送（EWS）の受信について..... 185
本機で再生可能なメディアとファイルの種類..... 185

2 ラジオを聞く

1 ラジオの操作..... 186
ラジオの放送を受信する 186
プリセットの種類を選ぶ 187
放送局を手動で登録する 187
放送局の一括登録..... 187
交通情報を受信する 188

3 テレビ（ワンセグ放送）を見る

1 テレビの操作..... 189
テレビ（ワンセグ放送）を受信する..... 189
放送局を手動で登録する 191
サービスを切り替える 191
番組表を表示する..... 191
番組内容を表示する 192
放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）..... 192
2 ワンセグの機能設定をする..... 193
プリセットの種類を切り替える 193
オート放送局サーチ設定..... 194
視聴設定を切り替える..... 194

4 CDプレーヤーの操作

1 音楽CDを聞く..... 196
再生する..... 196
リストから選んで再生する..... 197
リピート再生..... 197
ランダム再生..... 197
2 CD-R/RW（WMA/MP3/AAC）を聞く..... 198
再生する..... 198
リストから選んで再生する..... 199
リピート再生..... 199
ランダム再生..... 200

5 SDカードの操作

1 SDの操作のしかた..... 201
再生する..... 201
リストから選んで再生する..... 202
リピート再生..... 203
ランダム再生..... 203

6 Bluetooth Audioの操作

1 Bluetooth Audioの操作のしかた 204
Bluetooth Audio 機器の登録..... 204
再生する..... 204
リストから選んで再生する..... 206
リピート再生..... 207
ランダム再生..... 207

2 Bluetooth Audio機器の接続について 208
一時的に接続が切断された場合..... 208
Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合..... 208

7 AUXの操作

1 AUXを使う 209
外部機器の音声を聞く..... 209

8 オーディオの設定

1 オーディオの設定をする 210
イコライザー設定 210
リスニングポジション設定..... 212
フェーダー／バランス設定..... 212
音量・効果設定 213

9 知っておいていただきたいこと

1 故障とお考えになる前に..... 215
共通項目 215
FM/AM..... 215
CD/CD-R/RW（WMA/MP3/AAC)..... 216
テレビ..... 217
SD カード..... 218
AUX 218

2 ディスクについて 219
再生できるディスクの種類 219
ディスクの構成について 220

3 WMA/MP3/AAC ファイルについて..... 221
フォルダと WMA/MP3/AAC ファイルについて 221
WMA とは？ 221
MP3 とは？..... 222
AAC とは？..... 223

1 オーディオの基本操作

使用できるメディアについて

オーディオ&ビジュアルで使用できるメディア※については、→**「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」（→P.185）**をご覧ください。

※ メディアとは、CD・SD カードなどの記憶媒体や本機に接続することができる外部機器の総称です。本書では一部を除き、記憶媒体や外部機器をメディアという表現で説明しています。

オーディオソース画面を表示する

1 現在地画面やメニュー画面のときに AUDIO を押す

▼

オーディオソースが OFF のときは、オーディオソース選択画面が表示されます。お好みのオーディオソースアイコンにタッチします。



オーディオソースが ON のときは、オーディオソース画面が表示されます。



現在地画面に戻るには、**現在地** を押します。

インフォメーション

- オーディオソースが ON の状態で **現在地** を押したときは、オーディオソースの音声はそのままに現在地画面に戻ります。

オーディオソースの状態表示について

本機の **VOL +** **VOL −** やステアリングスイッチ（装備車のみ）で、音量調整や選局・選曲操作などを行った場合、画面上部に現在のオーディオソースの状態が表示されます。表示されてから数秒間何も操作されないと表示は消えます。

オーディオソースの状態表示



オーディオソースを切り替える

オーディオソースの切り替えは、タッチ操作（オーディオソースアイコン）で行います。

1 [ソース選択] にタッチする



2 お好みのオーディオソースアイコンにタッチする



▼

選んだオーディオソースに切り替わります。

インフォメーション

- 機器を接続していないオーディオソースはご使用になれません。
- ステアリングスイッチ装備車では、MODE スイッチでオーディオソースを順に切り替えることができます。
- オーディオソース画面を表示しているときに AUDIO を押しても、オーディオソース選択画面を表示できます。

オーディオソースアイコンについて

AM	AM ラジオ放送を聞きたいときに選びます。
FM	FM ラジオ放送を聞きたいときに選びます。
CD	音楽 CD や CD-R/RW などを再生したいときに選びます。
SD	SD カードに保存した音楽ファイルを再生したいときに選びます。
TV	テレビ（ワンセグ放送）を見たいときに選びます。
Bluetooth	Bluetooth Audio を再生したいときに選びます。
AUX	外部オーディオ機器を使いたいときに選びます。
オーディオOFF	選択中のオーディオソースを OFF にしたいときに選びます。
交通情報	幹線道路などで放送されている交通情報を聞きたいときに選びます。

インフォメーション

- オーディオソースによっては、設定や接続が必要です。詳しくは、各オーディオソースの説明ページをご覧ください。

オーディオソースを OFF にする

オーディオソースの再生や受信をやめる場合は、オーディオソースを OFF にします。

1 **[オーディオ OFF] にタッチする (→ P.183)**

▼

オーディオソースが OFF になります。

インフォメーション

- AUDIO を2秒以上押しても、オーディオソースを OFF にすることができます。

オーディオの音量を調整する

オーディオの音量調整をします。

⚠ 警告

● 車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転を妨げないように適度な音量でお使いください。

1 **VOL + または VOL − (音量調整) を押す**

VOL +	音量が大きくなります。
VOL −	音量が小さくなります。

インフォメーション

- オーディオソースごとの音量の差を調整することもできます。→**「ソース音量レベル調整」(P.214)**
- ステアリングスイッチ装備車では、−／+スイッチで音量を調整することができます。
- スマートストップ装着車は、音量の最大値が変化します。

はっきり音声を設定する

ラジオのニュースや、野球中継など、人の声とその他の音声の周波数を最適に調整することで、はっきりした音声で、しっかり聞き取ることができます。

AM　FM　交通情報　テレビソース使用時に利用可能です。

1 オーディオソースを［AM］、［FM］または［TV］にする（→ P.183）

2 ［はっきり音声］にタッチする



緊急警報放送（EWS）の受信について

EWS（Emergency Warning System）とは、テレビで緊急警報を受信して、災害の発生を知らせるシステムです。テレビ（ワンセグ放送）を受信中、視聴番組でEWS があった場合、緊急メッセージが警告音声とともに表示されます。

また、その他の画面を表示中でも EWS を受信した場合は、テレビ（ワンセグ放送）への切り替え確認のメッセージが表示されます。

本機で再生可能なメディアとファイルの種類

本機で再生可能なメディアとファイル形式の組み合わせには制限があります。以下の表をご覧いただき、対応の可（○）否（×）をご確認の上、ご利用ください。

なお、ファイル形式や拡張子が対応可の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。（→ P.219）また、以下の表に記載されている以外のメディアやファイル形式は再生できません。

ファイル形式	拡張子	CD-R/RW	SDカード
WMA	.wma	○	○
MP3	.mp3	○	○
AAC	.m4a	○	○

1 ラジオの操作

ラジオの操作のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 オーディオソースを［AM］または［FM］にする（→P.183）

2 受信したい放送局にタッチする



インフォメーション

- プリセットされた周波数や放送局がリスト表示されます。
- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- ワイドFM受信時は、プリセットに ワイドFM が表示されます。ワイドFMとは、FM補完放送（90.1MHzから95.0MHz）でAMラジオが聞けるサービスの通称です。放送局により名称が変わることがあります。
- ワイドFMが受信できない車種もあります。

［<］／［>］	周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。（SEEK）
／（FMラジオのみ）	プリセットのリストを切り替えます。
［サウンド設定］	サウンド設定メニュー画面を表示します。**（→P.210）**
［交通情報］	交通情報画面を表示します。**（→P.188）**
［地図］	地図画面を表示します。**（→P.64）**
［ソース選択］	オーディオソース選択画面を表示します。**（→P.183）**
［エリア］	プリセットの種類（**→P.187**）を切り替えます。
［オート/サーチ］	長くタッチすると、受信状態の良い放送局を自動的にマニュアルプリセットに登録します。**（→P.187）**
［はっきり音声］	はっきり音声を設定します。**（→P.185）**
［TILT・EJECT］	TILT・EJECT画面を表示します。**（→P.63）**

インフォメーション

- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がさえぎられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局（マニュアルプリセット）を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 **[エリア] にタッチする**
（→ P.186）

▼

タッチするごとに、「マニュアルプリセット」⇔「エリアプリセット」が切り替わります。

インフォメーション

- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

放送局を手動で登録する

マニュアルプリセットに、FM は 12 局、AM は 6 局まで、手動で登録することができます。

1 **「マニュアルプリセット」に切り替える**

2 **[<] または [>] にタッチして、登録したい放送局（周波数）を選ぶ**

3 **登録したいプリセットの枠に長くタッチする**



▼

現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

放送局の一括登録

受信状態の良い放送局をマニュアルプリセットに自動的に登録することができます。

1 **[オート / サーチ] に長くタッチする**
（→ P.186）



▼

自動登録が完了すると、マニュアルプリセットに放送局が登録されます。

インフォメーション

- 自動登録を途中で中止する場合、再度 **[オート / サーチ]** にタッチします。
- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、以前に登録した放送局が残る場合があります。

交通情報を受信する

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

1 **[交通情報] にタッチする (→ P.186)**

▼

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



[1620kHz]	1620 kHz にします。
[1629kHz]	1629 kHz にします。
[交通情報終了]	交通情報を終了し、前回のオーディオソースに戻ります。
[地図]	地図画面を表示します。**(→ P.64)**
[ソース選択]	オーディオソース選択画面を表示します。**(→ P.183)**
[はっきり音声]	はっきり音声を設定します。**(→ P.185)**
[TILT・EJECT]	TILT・EJECT 画面を表示します。**(→ P.63)**

1 テレビの操作

ワンセグ放送の視聴のしかたを説明します。

⚠ 警告

● 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

インフォメーション

・ テレビソースをはじめて使用するときや設定を初期化したとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→**「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」(P.192)**

テレビ（ワンセグ放送）を受信する

1 オーディオソースを［TV］にする (→ P.183)

▼

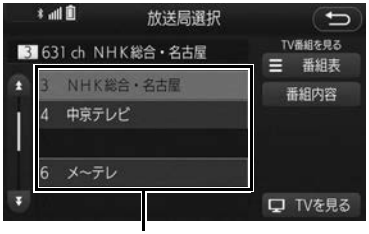
テレビソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

テレビソース画面



［1］～［12］	キーを押してプリセットチャンネルを選局します。
［全画面にする］	映像を全画面で表示します。
［サウンド設定］	サウンド設定画面を表示します。**(→ P.210)**
［交通情報］	交通情報を受信します。**(→ P.188)**
［地図］	地図画面を表示します。**(→ P.64)**
［ソース選択］	オーディオソース選択画面を表示します。**(→ P.183)**
［サービス切替］	同じ放送局内のサービスを切り替えます。**(→ P.191)**
［放送局選択］	放送局選択画面を表示します。**(→ P.191)**
［TV 設定］	テレビ設定画面を表示します。**(→ P.193)**
［はっきり音声］	はっきり音声を設定します。**(→ P.185)**
［TILT・EJECT］	TILT・EJECT 画面を表示します。**(→ P.63)**

放送局選択画面



リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
[番組表]	番組表を表示します。**(→ P.191)**
[番組内容]	番組内容を表示します。**(→ P.192)**
[TV を見る]	映像を全画面で表示します。

インフォメーション

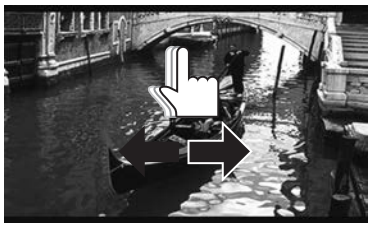
- ワンセグの音量は、他のオーディオソースより低いため、他のオーディオソースからワンセグに切り替えると、音が小さく感じられる場合があります。ソース音量レベル調整でオーディオソースごとの音量の違いをそろえることができます。**(→ P.214)**

アンテナインジケータについて

テレビソース画面左端に電波の受信状態を表すアンテナインジケータ（）が表示されます。

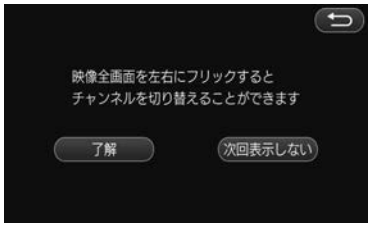
フリック操作

画面に触れた指を上下左右に払うような操作を「フリック操作」といいます。テレビ（ワンセグ放送）を受信中に画面を左右にフリックすると、チャンネルを切り替えることができます。



インフォメーション

- フリック操作説明メッセージが表示されます。**[了解]** または **[次回表示しない]** にタッチしてメッセージ表示の設定を行ってください。



放送局を手動で登録する

ホームプリセット、またはトラベルプリセットにそれぞれ 12 局まで、現在受信中の放送局を手動で登録することができます。（マニュアルプリセット）

1 [TV 設定] にタッチする（→ P.189）

2 [ホーム / トラベルプリセット設定] にタッチする（→ P.193）

インフォメーション

- [ホーム / トラベルプリセット設定] が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。（→ P.193）

3 登録したい放送局を受信する

4 登録したいプリセットの枠に長くタッチする



▼

現在受信中の放送局が、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り替える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り替えることができます。

1 [サービス切替] にタッチする（→ P.189）

▼

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

現在視聴している放送局の番組表を最大 10 番組まで表示できます。

1 [放送局選択] にタッチする（→ P.189）

2 番組表を見たい放送局を選んで [番組表] にタッチする

▼

選んだ放送局の番組表が表示されます。



インフォメーション

- リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。
- ⮌ にタッチすると、放送局選択画面に戻ります。
- 選択中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、**[サービス切替]** にタッチすると、サービスを切り替えることができます。(→ P.191)

番組内容を表示する

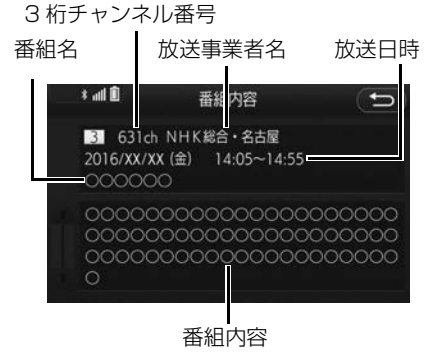
視聴している番組の番組内容を表示します。

1 **[放送局選択] にタッチする** (→ P.189)

2 **番組内容を見たい放送局を選んで [番組内容] にタッチする**

▼

番組内容が表示されます。



インフォメーション

- 番組表画面でリスト項目にタッチしても番組内容を表示できます。(→ P.191)
- ⮌ にタッチすると、放送局選択画面、または番組表画面に戻ります。

放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）

受信可能な放送局をホームプリセット、またはトラベルプリセットに自動的に登録することができます。

1 **[TV 設定] にタッチする** (→ P.189)

2 **[ホーム / トラベルプリセット設定] にタッチする** (→ P.193)

インフォメーション

- **[ホーム / トラベルプリセット設定]** が選択できない場合は、プリセットモードをホームプリセット、またはトラベルプリセットに切り替えてください。(→ P.193)

3 **[スキャン] に長くタッチする**

▼



[中止] にタッチすると、スキャンを中止します。

▼

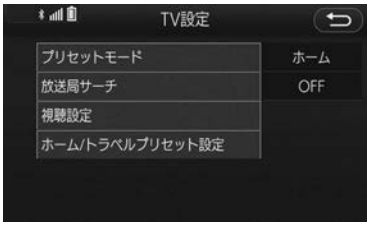
現在受信可能な放送局が自動的に登録されると、ホーム / トラベルプリセット設定画面に戻ります。

2 ワンセグの機能設定をする

テレビ（ワンセグ放送）を受信する際の機能を設定します。

1 [TV 設定] にタッチする (→ P.189)

2 設定したい機能を選んでタッチする



[プリセットモード]	ホーム／トラベル／エリアからプリセットの種類を切り替えられます。
[放送局サーチ]	受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。(→ P.194)
[視聴設定]	字幕／音声／画面のワイドモードを切り替えられます。(→ P.194)
[ホーム／トラベルプリセット設定]	ホームプリセット、またはトラベルプリセットにお好みの放送局をそれぞれ 12 局まで登録できます。(→ P.192)

プリセットの種類を切り替える

ホームプリセット、トラベルプリセット、またはエリアプリセットを切り替えます。

1 [プリセットモード] にタッチする

2 表示したいプリセットモードにタッチする



[ホーム]	普段ご覧になるときに使用するモードです。ホームプリセットに記憶したチャンネルが表示されます。
[トラベル]	旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。
[エリア]	自車周辺の地域で放送されているチャンネルが自動的にプリセットスイッチに表示されます。

インフォメーション

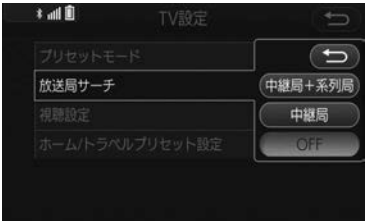
- エリアプリセットに設定しておくと、自車周辺の放送局がリスト表示され、かんたんに放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

1 [放送局サーチ] にタッチする (→ P.193)

2 放送局を選ぶ



[中継局＋系列局]	自動で中継局・系列局を探します。
[中継局]	自動で中継局を探します。
[OFF]	中継局・系列局は探しません。

視聴設定を切り替える

1 [視聴設定] にタッチする (→ P.193)

2 項目を選んでタッチする



[主 / 副]	2 カ国語放送の音声を切り替えられます。
[字幕]	番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示の ON/OFF を切り替えます。
[音声]	番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。
[映像サイズ設定]	映像の表示をノーマルモード / ワイドモードに切り替えます。
[全画面にする]	映像を全画面で表示します。

2 カ国語放送（主 / 副音声）の切り替え

2 カ国語放送の音声を切り替えられます。

1 **[主 / 副] にタッチする**
(→ P.194)

▼

タッチするごとに次のように切り替わります。
主→副→主 / 副→主に戻る

字幕の切り替え

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示の ON/OFF を切り替えます。

1 **[字幕] にタッチする**
(→ P.194)

▼

タッチするごとに次のように切り替わります。
第 1 言語→第 2 言語→ OFF →第 1 言語に戻る

複数音声の切り替え

番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。

1 **[音声] にタッチする**
(→ P.194)

▼

タッチするごとに次のように切り替わります。
音声 1 →音声 2 →音声 1 に戻る

ワイドモードの切り替え

通常の映像をワイド映像に拡大します。

1 **[映像サイズ設定] にタッチする**
(→ P.194)

2 **[ワイド] にタッチする**



▼

ワイドモードに切り替わります。

インフォメーション

- **[ノーマル]** にタッチすると、ノーマルモードに切り替わります。

1 音楽 CD を聞く

音楽 CD の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する（→ P.35）

▼

自動的に再生が始まります。



⏮ / ⏭	タッチするとトラック（楽曲）をダウン／アップします。 タッチし続けると、早戻し／早送りします。
▶	再生を再開します。
⏸	再生を一時停止します。
🔁	リピート再生を行います。（→ P.197）
🔀	ランダム再生を行います。（→ P.197）
[サウンド設定]	サウンド設定メニュー画面を表示します。（→ P.210）
[交通情報]	交通情報を受信します。（→ P.188）
[地図]	地図画面を表示します。（→ P.64）
[ソース選択]	オーディオソース選択画面を表示します。（→ P.183）
[曲選択]	トラックリストを表示します。（→ P.197）
[TILT・EJECT]	TILT・EJECT 画面を表示します。（→ P.63）

インフォメーション

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、オーディオソースを切り替えてください。（→ P.183）
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては→**「再生できるディスクの種類」（P.219）**を参照してください。
- 楽曲名、アルバム名、アーティスト名は、CD-TEXT から情報が取得できた場合のみ表示されます。それ以外では、以下のように表示されます。
  - 楽曲名：（NO DATA）
  - アルバム名：（NO DATA）
  - アーティスト名：（NO DATA）
- 音楽データ（CD）と WMA/MP3/AAC データが混在しているディスクを再生した場合、CD のみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したいトラック（楽曲）を直接選ぶことができます。

1 [曲選択] にタッチする（→ P.196）

2 聞きたいトラック（楽曲）にタッチする



インフォメーション

- 通常再生画面に戻るには、 にタッチします。

リピート再生

再生中のトラック（楽曲）を繰り返し聞くことができます。

1 にタッチする（→ P.196）

▼

タッチするごとに、リピート再生の ON/OFF が切り替わります。

インフォメーション

- リピート再生「ON」の場合は、スイッチの色が変わります。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 にタッチする（→ P.196）

▼

タッチするごとに、ランダム再生の ON/OFF が切り替わります。

インフォメーション

- ランダム再生「ON」の場合は、スイッチの色が変わります。

2 CD-R/RW（WMA/MP3/AAC）を聞く

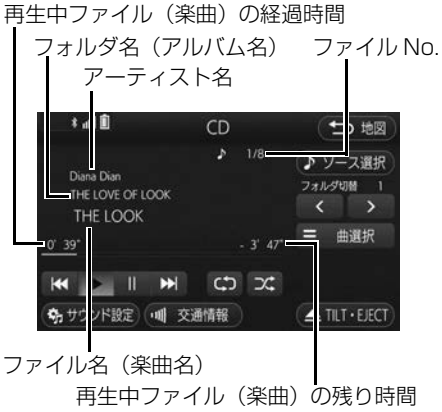
CD-R/RW（WMA/MP3/AAC）の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する（→ P.35）

▼

自動的に再生が始まります。



⏮ / ⏭	タッチするとファイル（楽曲）をダウン／アップします。 タッチし続けると、早戻し／早送りします。
▶	再生を再開します。
⏸	再生を一時停止します。
🔁	リピート再生を行います。（→ P.199）
🔀	ランダム再生を行います。（→ P.200）
[サウンド設定]	サウンド設定メニュー画面を表示します。（→ P.210）
[交通情報]	交通情報を受信します。（→ P.188）
[地図]	地図画面を表示します。（→ P.64）
[ソース選択]	オーディオソース選択画面を表示します。（→ P.183）
[<] / [>]	フォルダをダウン／アップします。
[曲選択]	再生中フォルダ内のファイルリストを表示します。（→ P.199）
[TILT・EJECT]	TILT・EJECT 画面を表示します。（→ P.63）

インフォメーション

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、オーディオソースを切り替えてください。（→ P.183）
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては→**「再生できるディスクの種類」（P.219）**を参照してください。
- ID3 Tag/WMA Tag（→ P.221）からタイトル情報を取得できた場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
  - 楽曲名：(NO DATA)
  - アルバム名：(NO DATA)
  - アーティスト名：(NO DATA)
- WMA のときに Tag の Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- 音楽データ（CD）と WMA/MP3/AAC データが混在しているディスクを再生した場合、CD のみ再生されます。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したいファイル（楽曲）を直接選ぶことができます。

1 **[曲選択] にタッチする（→ P.198）**

2 **聞きたいファイル（楽曲）にタッチする**



インフォメーション

- **[フォルダ]** にタッチすると、フォルダリストが表示されます。
- **[再生中]** にタッチすると、再生中のフォルダ内のファイルリストが表示されます。
- トップ階層を表示している場合、にタッチすると通常再生画面に戻ります。それ以外の場合、上位階層フォルダの内容をリスト表示します。
- フォルダリスト表示中にフォルダ名にタッチすると、そのフォルダの内容をリスト表示します。
- リストに表示されるフォルダ数は最大192、ファイル数は 255 です。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をファイルリピートに指定すると、再生中のファイル（楽曲）を繰り返し聞くことができます。

1 **にタッチする（→ P.198）**

リピート再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。ファイル（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

リピート再生の範囲	スイッチ表示	内容
ファイルリピート		再生中のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。
フォルダリピート		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。

インフォメーション

- リピート再生「OFF」以外の場合は、スイッチの色が変わります。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 にタッチする（→ P.198）

ランダム再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。ファイル（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

ランダム再生の範囲	スイッチ表示	内容
フォルダランダム		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）をランダム再生します。
オールランダム		全ファイル（楽曲）をランダム再生します。

インフォメーション

- ランダム再生「ON」の場合は、スイッチの色が変わります。

1 SD の操作のしかた

本機に接続した SD カード内の音楽ファイル（WMA/MP3/AAC）の操作について説明します。

注意

● SD カードの出し入れは、決められた手順で行ってください。**(→ P.37)** 異なる手順で出し入れを行うと、SD カードに保存したデータが破損する場合があります。

インフォメーション

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
  - SD カード：最大容量 32GB、ファイルシステム：FAT16, FAT32
- SD カードに関する注意点は、**→「SD カードについて」(P.8)** をご覧ください。
- 再生可能なファイルに関しては、**→「本機で再生可能なメディアとファイルの種類」(P.185)** をご覧ください。

再生する

1 オーディオソースを［SD］にする（→ P.183）

▼

前回再生していたファイル（楽曲）から再生されます。



⏮ / ⏭	タッチするとファイル（楽曲）をダウン／アップします。 タッチし続けると、早戻し／早送りします。
▶	再生を再開します。
⏸	再生を一時停止します。
🔁	リピート再生を行います。**(→ P.203)**
🔀	ランダム再生を行います。**(→ P.203)**
［サウンド設定］	サウンド設定メニュー画面を表示します。**(→ P.210)**
［交通情報］	交通情報を受信します。**(→ P.188)**
［地図］	地図画面を表示します。**(→ P.64)**
［ソース選択］	オーディオソース選択画面を表示します。**(→ P.183)**
［<］/［>］	フォルダをダウン／アップします。

[曲選択]	再生中ファイル対応のフォルダ内の全てファイルリストを表示します。
[TILT・EJECT]	TILT・EJECT 画面を表示します。(→ P.63)

インフォメーション

- 再生中の MP3/WMA/AAC ファイルに Tag 情報が存在する場合は、楽曲名やアルバム名、アーティスト名が表示されます。
- Tag 情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
  - 楽曲名：(NO DATA)
  - アルバム名：(NO DATA)
  - アーティスト名：(NO DATA)
- WMA のときに Tag の Author 情報があった場合、アーティスト名として表示します。
- ファイル No. は、同一フォルダ内でファイルシステムから見つかった順に割り振られます。
- DRM（デジタル著作権管理）が設定されたファイルは再生できません。
- フォルダ名＋ファイル名が 128 文字を超えるファイルは再生できません。
- 多くの階層を持つ SD カードは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したいファイル（楽曲）を直接選ぶことができます。

1 [曲選択] にタッチする

2 聞きたいファイル（楽曲）にタッチする



インフォメーション

- トップ階層を表示している場合、  にタッチすると通常再生画面に戻ります。それ以外の場合、上位階層フォルダの内容をリスト表示します。
- フォルダ、アーティスト、アルバムリスト表示中にフォルダ名などにタッチすると下位階層のリストを表示します。
- リストに表示されるフォルダ数は最大 3,000、ファイル数は最大 255 です。
- 以下の項目にタッチすると項目ごとのリストが表示され、各リストからファイル（楽曲）を選択できます。

項目	内容
[再生中]	再生中のフォルダやアーティスト、アルバム内のファイルリストからファイル（楽曲）を選択できます。
[フォルダ]	フォルダ名からファイル（楽曲）を選択できます。
[アーティスト]	アーティスト名からファイル（楽曲）を選択できます。
[アルバム]	アルバム名からファイル（楽曲）を選択できます。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をファイルリピートに指定すると、再生中のファイル（楽曲）を繰り返し聞くことができます。

1 にタッチする（→ P.201）

リピート再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。ファイル（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

リピート再生の範囲	スイッチ表示	内容
ファイルリピート		再生中のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。
フォルダリピート		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。
アルバムリピート		再生中のアルバム内のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。

インフォメーション

- リピート再生「OFF」以外の場合は、スイッチの色が変わります。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 にタッチする（→ P.201）

ランダム再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。ファイル（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

ランダム再生の範囲	スイッチ表示	内容
フォルダランダム		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）をランダム再生します。
アルバムランダム		再生中のアルバム内のファイル（楽曲）をランダム再生します。
オールランダム		全ファイル（楽曲）をランダム再生します。

インフォメーション

- ランダム再生「OFF」以外の場合は、スイッチの色が変わります。

1 Bluetooth Audio の操作のしかた

AV プロファイルに対応した Bluetooth 機器と本機をワイヤレス接続することで、Bluetooth Audio 機器内の音楽データを本機で再生することができます。

本機は AV プロファイルの A2DP+AVRCP Ver1.4 に対応しておりますが、お使いの Bluetooth Audio 機器によっては動作できない場合があります。

Bluetooth Audio 機器の登録

Bluetooth Audio 機器をお使いになるには、あらかじめ本機に Bluetooth Audio 機器を登録する必要があります。→**「2.Bluetooth 設定をする」(P.152)**

登録が行われ、A2DP に対応している Bluetooth Audio 機器は、オーディオソースが Bluetooth Audio に切り替えられた時点で自動的に本機と接続され再生が始まります。接続された機器によっては、再生が始まる場合と始まらない場合があります。

インフォメーション

- 本機に登録されていない Bluetooth Audio 機器は、接続することができません。
- 優先接続する Bluetooth Audio 機器を変更したい場合は、Bluetooth 設定で行ってください。→**「Bluetooth 機器を切り替える」(P.154)**
- Bluetooth Audio 機器が別のプロファイルで接続中は、接続できない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。

再生する

1 オーディオソースを [Bluetooth] にする (→ P.183)

▼

自動的に Bluetooth Audio 機器と接続を行い、再生が始まります。

インフォメーション

- Bluetooth 機器が未登録の場合は、未登録をお知らせするメッセージが表示されます。**[機器接続]** にタッチして、登録操作を行ってください。**(→ P.153)**



⏮ / ⏭	タッチするとトラック（楽曲）をダウン／アップします。 タッチし続けると、早戻し／早送りします。
▶	再生を再開します。
⏸	再生を一時停止します。
🔁	リピート再生を行います。**(→ P.207)**
🔀	ランダム再生を行います。**(→ P.207)**

[サウンド設定]	サウンド設定メニュー画面を表示します。(→ P.210)
[交通情報]	交通情報を受信します。(→ P.188)
[地図]	地図画面を表示します。(→ P.64)
[ソース選択]	オーディオソース選択画面を表示します。(→ P.183)
[曲選択]	トラックリストを表示します。(→ P.206)
[機器接続]	機器登録・接続画面を表示します。(→ P.152)
[TILT・EJECT]	TILT・EJECT 画面を表示します。(→ P.63)

インフォメーション

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
- お使いの Bluetooth Audio 機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で再生を開始させてください。
- Bluetooth Audio 機器によっては、早戻し／早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
- A2DP 接続のみの場合は ▶ や ⏸ などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、Bluetooth Audio 機器側で操作してください。
- Bluetooth Audio 使用中に、ハンズフリー機能や電話帳転送機能を使用すると、一時的に Bluetooth Audio の機能は停止します。
- A2DP + AVRCP 接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
- A2DP+AVRCP Ver1.3 で接続した場合は、トラック名（楽曲名）やアーティスト名などの情報が表示されます。
（Bluetooth Audio 機器によっては表示されない場合もあります。）
また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にそれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、販売店にご確認ください。

リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したいトラック（楽曲）を直接選ぶことができます。

1 **[曲選択] にタッチする**
(→ P.205)

2 **聞きたいトラック（楽曲）にタッチする**



▼

選んだトラック（楽曲）が再生されます。

インフォメーション

- 以下の項目にタッチすると項目ごとのリストが表示され、各リストからトラック（楽曲）を選択できます。

項目	内容
[再生中]	再生中のアルバムやアーティスト、ジャンルなどの項目内にあるトラックリストからトラック（楽曲）を選択できます。
[再生リスト・曲]	接続した機器に収録されているリストからトラック（楽曲）を選択できます。

- にタッチすると上位階層フォルダの内容をリスト表示します。
  Bluetooth Audio 機器によってはルートフォルダより下の階層をトップ階層にしている場合があるため、トップ階層では操作できない場合があります。
- A2DP Ver1.0、A2DP+AVRCP Ver1.0、または A2DP+AVRCP Ver1.3 で、Bluetooth Audio 機器と接続した場合、リストから選んで再生することはできません。

リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生することができます。例えば、リピート再生の範囲をトラックリピートに指定すると、再生中のトラック（楽曲）を繰り返し聞くことができます。

1 にタッチする（→ P.204）

リピート再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。トラック（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

リピート再生の範囲	スイッチ表示	内容
ファイルリピート		再生中のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。
フォルダリピート		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。
アルバムリピート		再生中のアルバム内のファイル（楽曲）を繰り返し再生します。

インフォメーション

- リピート再生「OFF」以外の場合は、スイッチの色が変わります。
- 通常のリピート再生の範囲はお使いの機器によって異なります。

ランダム再生

曲順を変えて再生することができます。

1 にタッチする（→ P.204）

ランダム再生の範囲は、以下の範囲で選択できます。トラック（楽曲）の選択状態により選択できる範囲が変わります。

ランダム再生の範囲	スイッチ表示	内容
フォルダランダム		再生中のフォルダ内のファイル（楽曲）をランダム再生します。
アルバムランダム		再生中のアルバム内のファイル（楽曲）をランダム再生します。
オールランダム		全ファイル（楽曲）をランダム再生します。

インフォメーション

- ランダム再生「OFF」以外の場合は、スイッチの色が変わります。
- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。

2 Bluetooth Audio 機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功した Bluetooth Audio 機器は、以下のような理由により一時的に Bluetooth 接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- ACC を OFF/ON した場合
- 電話帳転送を行った場合
- Bluetooth 機器の登録を行った場合

インフォメーション

- 以下の場合は、自動接続の対象外となります。Bluetooth 設定メニューから再接続してください。(→ P.152)
  - Bluetooth Audio 機器側の操作で Bluetooth 接続を切断した場合
  - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合

Bluetooth Audio 機器が自動的に接続されない場合

お使いになる Bluetooth Audio 機器によっては、Bluetooth Audio 機器の登録が行われていても自動的に接続できないことがあります。その場合は、以下の手順で接続してください。

1 **[機器接続] にタッチ（→ P.205）、または Bluetooth Audio 機器を操作して本機と接続する**

▼

Bluetooth Audio 機器との接続を開始します。

インフォメーション

- 接続を開始してから 10 秒以内に接続が完了しない場合、接続処理は中断されます。
- Bluetooth Audio 機器側でナビと Bluetooth 接続機器との接続を解除して、再度接続してください。
- Bluetooth Audio 機器側の接続操作は、Bluetooth Audio 機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 AUX を使う

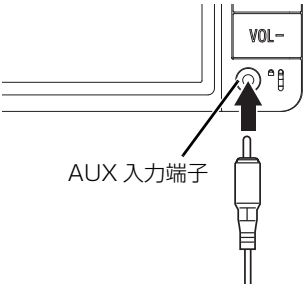
本機にポータブルオーディオプレーヤーなどの外部音声機器を接続すると、その音声を本機のオーディオソース（AUX）として聞くことができます。

インフォメーション

- 本機に外部音声機器を接続するには、市販の φ3.5 mm ミニプラグケーブルが必要です。

外部機器の音声を聞く

1 φ3.5 mm ミニプラグケーブルを本機の AUX 入力端子に接続する



2 オーディオソースを［AUX］にする（→ P.183）

▼

外部機器の音声が再生されます。

インフォメーション

- AUX を使用しているときに、音量を調整すると、AUX 用の音量として設定することができます。他のオーディオソースに切り替えて音量を調整しても、次回 AUX を使用したときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- AUX 入力端子を抜くと、音量設定は初期値に戻ります。

1 オーディオの設定をする

お好みに合わせてオーディオの音や機能などを設定することができます。

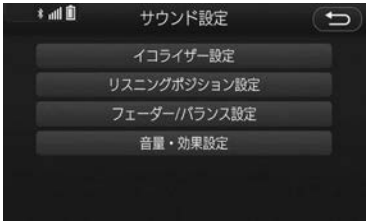
1 オーディオソース画面を表示する (→ P.183)

2 [サウンド設定] にタッチする



▼

サウンド設定メニュー画面が表示されます。



	オーディオソース画面に戻ります。
[イコライザー設定]	あらかじめ用意された 6 つの設定（初期設定カーブ）とお好みで調節した設定（カスタムプリセット）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
[リスニングポジション設定]	スピーカーからの音が各座席に伝わるまでの時間を調整することができます。(→ P.212)
[フェーダー／バランス設定]	前後左右の音量バランスを設定することができます。(→ P.212)
[音量・効果設定]	音量・効果設定画面を表示します。(→ P.213)

インフォメーション

- 走行中は操作できない設定項目があります。
- オーディオ設定メニュー画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。
- オーディオソース OFF 時や MUTE 中は、設定できません。
- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

イコライザー設定

工場出荷時は「フラット」です。

1 [イコライザー設定] にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



▼
タッチする設定によって、イコライザーカーブが切り替わります。

初期設定カーブ	[フラット]	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
	[ロック]	スピーディーで力強いアタック音を再現します。
	[ポップス]	中高音域をメインにしたリズミカルな音を再現します。
	[ボーカル]	中高音域が厚みを持ち、のびやかなボーカルを際立たせます。
	[R&B]	自然なリズム感を出します。
	[ジャズ]	ウッドベースの音階やボーカルの音質を鮮明に再現します。
[カスタムプリセット] [1]、[2]、[3]		カスタムプリセットに登録した調整値を呼び出します。
[カスタム調整]		選んだ初期設定カーブを補正します。

インフォメーション
- カスタムプリセットは全てのオーディオソースで同じ設定になります。
- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

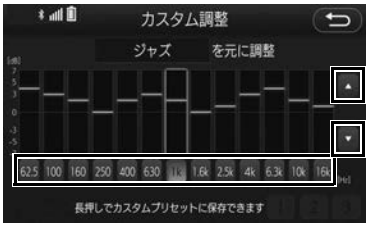
イコライザーを補正する

選んだ初期設定カーブの各周波数を、さらに細かくレベル補正することができます。補正した値は、カスタムプリセットに登録できます。

1 初期設定カーブを選ぶ (→ P.210)

2 [カスタム調整] にタッチする

3 補正する周波数を選び、▲ または ▼ にタッチしてレベルを補正する



62.5、100、160、250、400、630、1k、1.6k、2.5k、4k、6.3k、10k、16k（Hz）から周波数を選べます。-7 dB ～ +7 dB の間で 1 dB ごとに調整できます。

4 [1]、[2]、[3] のいずれかを長くタッチしてカスタムプリセットに登録する。

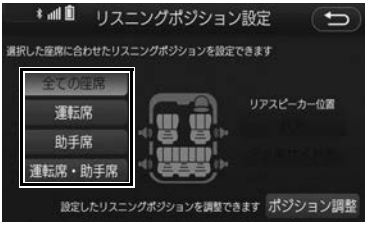
インフォメーション
- [1] をタッチした場合カスタムプリセット 1 に登録されます。
- 選択したプリセットに補正値がすでに登録済みの場合、新しく登録した補正値が上書きされます。
- 設定を終了する場合は、 にタッチします。
- はっきり音声を設定中にイコライザーを設定した場合、はっきり音声の設定は解除されます。

リスニングポジション設定

各スピーカーからの音が耳に伝わるまでの時間を調整することができます。
選択した座席に合わせてリスニングポジションを設定できます。

1 **[リスニングポジション設定]にタッチする（→ P.210）**

2 **設定する座席をタッチする**



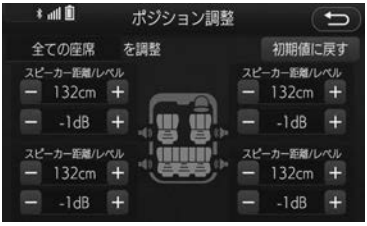
[全ての座席] **[運転席]** **[助手席]** **[運転席・助手席]** から選択できます。

インフォメーション

- リヤスピーカー位置（**[ドア]** **[デッキサイド他]**）にあわせて設定を切り替えることでより正確なポジション設定ができます。

3 **[ポジション調整]にタッチする**

4 **[+]または[−]にタッチしてスピーカーまでの距離と音量レベルを調整する**



フェーダー／バランス設定

前後左右の音量バランスを設定することができます。
工場出荷時は中心です。

1 **[フェーダー／バランス設定]にタッチする（→ P.210）**

2 **▲、▼、◀、▶にタッチして、前後左右のバランスを調整する**



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。
[中心に戻す] を押すと中心に戻ります。

インフォメーション

- 設定を終了する場合は、⮌にタッチします。

音量・効果設定

1 [音量・効果設定] にタッチする (→ P.210)



ASL+ 設定	車の走行速度と設定ボリューム値に合わせて、音量を自動で調整することができます。
ラウドネス設定	小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。
ソース音量レベル調整	オーディオソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、CD の音量を基準にして各オーディオソースの音量の差をそろえることができます。(→ P.214)

ASL+ 設定

オート・サウンド・レベライザー + (ASL+) を設定すると、走行速度とボリューム値に応じて音量をリアルタイムに補正し、快適な聞き心地を保ちます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 ASL+ 設定の [ON] にタッチする



インフォメーション

- 本機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調整するか、機能を OFF にしてください。

ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 ラウドネス設定の [HIGH] [LOW] にタッチする



ラウドネスの機能を停止させる場合は、[OFF] を選びます。

ソース音量レベル調整

オーディオソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、CD の音量を基準にして各オーディオソースの音量の差をそろえることができます。
工場出荷時は「±0 dB」です。

インフォメーション

- CD の音量を基準に他のオーディオソースとの音量を調節するため、CD を聞いているときは、ソース音量レベル調整を設定することはできません。
- オーディオソースごとに登録されますが、AM と交通情報は同じ設定になります。
- Bluetooth Audio と AUX は調整できません。

1 ソース音量レベル調整の［+］または［−］にタッチする



-10dB ～ +10dB の範囲で 2dB ごとに調整できます。

インフォメーション

- 設定を終了する場合は、 にタッチします。

1 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	考えられること	処置
音が出ない。	音量が 0 になっている。	音量を上げてください。
	オーディオ OFF になっている。	オーディオを ON にしてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	画面を一時的に消している状態になっている。	画面を一時的に消している状態を解除してください。→**「画面を消す」(P.30)**
モニターにナビゲーションの映像が映らない。	モニターが、現在地画面に切り替わっていない。	**現在地** で画面を切り替えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。→**「フェーダー／バランス設定」(P.212)**
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
液晶画面の中に小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	–
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	–
勝手に音量が上下する	オート・サウンド・レベライザー＋ (ASL+) 機能が働いているためです。故障ではありません。	ASL+ 機能を解除してください。→**「ASL+ 設定」(P.213)**

FM/AM

症状	考えられること	処置
ラジオ受信中に “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。受信感度が悪い。	放送局の電波が弱い。	受信状態の良い場所へ車を移動させるか、他の放送局を選局してみてください。→**「ラジオの放送を受信する」(P.186)**
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→**「ラジオの放送を受信する」(P.186)**

CD/CD-R/RW（WMA/MP3/AAC）

症状	考えられること	処置
CD-R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」 の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」 の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	ファイルの対応ビットレートをご確認の上 **（→ P.222, 222, 223）**、対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。（WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-R/RW を再生しないでください。）
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	CD トラック総数が 100 以上ある。	CD トラック総数を 99 以内にしてください。
	CD-R/RW ファイル総数が 256 以上ある。	CD-R/RW ファイル総数を 255 以内にしてください。
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生順が記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02 など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

症状	考えられること	処置
「DISC をお確かめください」というメッセージが表示される。 「再生できるデータがありません」というメッセージが表示される。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	キズやそりのないディスクに交換してください。
	ディスクの表裏を逆にして挿入している。	ディスクのレーベル面を上にして挿入してください。
	本機で再生できないディスクを挿入している。	→**「再生できるディスクの種類」(P.219)**をご確認の上、本機で再生できるディスクに交換してください。

テレビ

症状	考えられること	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。 映像が止まって、音が出ない。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
放送を受信できない。 「放送を受信できません」というメッセージが表示される。	チャンネルスキャンをしていない。	はじめてホームプリセットまたはトラベルプリセットをご使用の際は、チャンネルスキャンを行ってください。→**「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」(P.192)**
	移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。	他の中継局（チャンネル）に切り替えてみてください。エリアプリセット以外の方法で受信している場合でも、オート放送局サーチ設定に従って、自動的に受信可能な中継局や系列局に切り替えます。 受信可能な中継局や系列局を自動的に探して切り替えることができます。→**「オート放送局サーチ設定」(P.194)**
	放送局（チャンネル）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。	受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→**「放送局を自動で登録する（チャンネルスキャン）」(P.192)**
	受信レベルが低下して、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。

SD カード

症状	考えられること	処置
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。
	対応していないビットレートで記録されている。	ファイルの対応ビットレートをご確認の上 **(→ P.222, 222, 223)**、対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」を付けてください。
お持ちのパソコンで認識している SD カードが、本機で認識しない。 「この SD カードは本機では使用できません」というメッセージが表示される。	本機が対応していない SD カードを挿入した。	本機が対応している SD カードをご確認ください。**(→ P.201)**
		専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットしてください。 フォーマットをすると、SD カードに記録されたデータが全て消去されます。必ずデータのバックアップを行ってください。 フォーマットソフトは、SD アソシエーションの、以下のホームページから入手できます。 URL: https://www.sdcard.org/jp/
「SD カードが正しく挿入されていることをお確かめください」というメッセージが表示される。	SD カードが完全に挿入されていない。	SD カードを完全に挿入してください。**(→ P.37)**

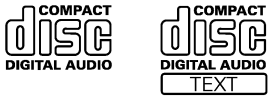
AUX

症状	考えられること	処置
AUX 使用時、片方しか音が出ない。	モノラル音声用の φ3.5 mm ミニプラグケーブルを使用している。	ステレオ音声用 φ3.5 mm ミニプラグケーブルをご使用ください。
	ご使用のケーブルのプラグが、確実に挿入されていない。	ご使用のケーブルが確実に挿入されているかどうかご確認ください。

2 ディスクについて

再生できるディスクの種類

下記のマークがあるディスクをご利用ください。マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに表示されています。



- 8cm ディスクには対応していません。
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生することができます。
- コピーガード機能付き CD（Copy Control CD など）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- CD-R/RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 本機は、音楽データ（CD）と WMA/MP3/AAC（CD-R/RW）のいずれかのデータが混在しているディスクの再生には対応していますが、再生できるデータは音楽データ（CD）のみとなります。
- 本機は WMA/MP3/AAC ファイルが記録された CD-R/RW（CD-ROM モードはモード 1、モード 2、FORM1 に対応）や、WMA/MP3/AAC ファイルが収録された SD カードの再生に対応しています。
- ディスクは、ISO9660 のレベル 1、およびレベル 2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- パケットライトには対応していません。
- CD-R/RW の再生できるフォルダ数の合計は、最大 192 です。（SD の場合は 3,000 です。）
- CD-R/RW の再生できるファイル数の合計は、最大 255 です。（SD の場合は 9,999 です。）
- 再生などの操作でフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

ディスクの構成について

CD は、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。

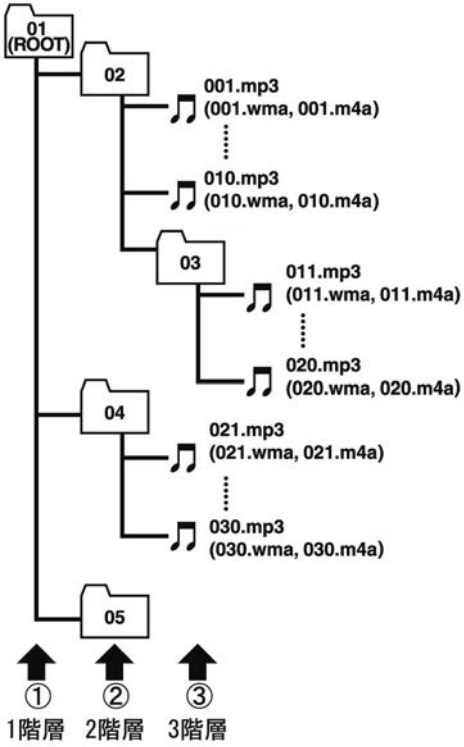


- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。再生可能なセッションは 1st セッションのみです。

3 WMA/MP3/AAC ファイルについて

フォルダと WMA/MP3/AAC ファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したディスクや、SD カード内のイメージは下図のようになります。



- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- 表示できるフォルダ名およびファイル名の文字数は、最大で半角 32 文字（全角 16 文字）です。

インフォメーション

- フォルダ番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- WMA/MP3/AAC ファイルを含まないフォルダは認識しません。（フォルダ番号の表示をせず、スキップします。）
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。

WMA とは？

WMA とは、「Windows Media ™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

インフォメーション

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ファイルについて

インフォメーション

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.wma）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.wma）が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子（.wma）を付けないでください。**
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- WMA Tag の album（アルバム名として表示）、title（楽曲名として表示）、artist（アーティスト名として表示）の表示に対応しています。
- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32kHz/44.1kHz/48kHz です。
- 対応ビットレートは Ver.7、8 の場合 CBR 48kbps ～ 192kbps、Ver.9（9.1/9.2）の場合、48kbps ～ 320kbps です。VBR に対応しています。
- デジタル著作権管理（DRM）で保護されたファイルは再生できません。全てのファイルが DRM で保護されている場合、本機では再生できません。
- 下記形式には対応していません。
  - Windows Media Audio 9 Professional
  - Windows Media Audio 9 Lossless（可逆圧縮）
  - Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3 とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ファイルについて

インフォメーション

- MP3 ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.mp3）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。**

- ID3 Tag の album（アルバム名として表示）、title（楽曲名として表示）、artist（アーティスト名として表示）の表示に対応しています。
- 対応可能な ID3 Tag のバージョンは 1.0, 1.1, 2.2, 2.3 です。なお、ID3 Tag の Ver.1.X と Ver.2.X が混在している場合は、Ver.2.X が優先されます。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、MPEG1 LAYER3 の場合 32kHz/44.1kHz/48kHz、MPEG2 LYER3 の場合 16kHz/22.05kHz/24kHz です。
- 対応ビットレートは MPEG1 LAYER3 の場合 32kbps ～ 320kbps、MPEG2 LYER3 の場合 8kbps ～ 160kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる AAC ファイルについて

インフォメーション

- AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.m4a）を付けてください。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子（.m4a）を付けないでください。**
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC Tag の album（アルバム名として表示）、title（楽曲名として表示）、artist（アーティスト名として表示）の表示に対応しています。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 11.025 kHz ～ 48 kHz です。
- 対応ビットレートは 16 kbps ～ 320 kbps です。VBR に対応しています。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
  - Apple Lossless

3. WMA/MP3/AAC ファイルについて

4

情報

1 情報について

1 交通ナビ関連情報について 226
JAF または道路交通情報センターの情報を表示する 226
メモリ地点の電話番号を表示する 226
目的地の情報を表示する 226

2 その他の情報の利用 227
シリアルナンバーを確認する 227
データバージョンを確認する 227
オープンソフトウェア情報を確認する 227

3 ソフトウェア更新について 228
更新データを準備する 228
ソフトウェアを更新する 228
ソフトウェアの更新履歴を確認する 229

1 交通ナビ関連情報について

JAF または道路交通情報センターの情報を表示する

1 MENU を押し、［電話］にタッチする

2 ［交通ナビ］にタッチする



3 ［JAF］または［道路交通情報センター］にタッチする



▼

リストから地域（都道府県）を選択し、電話番号を表示します。

メモリ地点の電話番号を表示する

1 MENU を押し、［電話］－［交通ナビ］にタッチする

2 ［メモリ地点］にタッチする

3 メモリ地点の名称にタッチする



▼

メモリ地点の電話番号が表示されます。

インフォメーション

- メモリ地点の電話番号が未登録の場合は、電話番号未登録のメッセージが表示されます。
- **［地図］**にタッチすると、メモリ地点の地図画面が表示されます。

目的地の情報を表示する

1 MENU を押し、［電話］－［交通ナビ］にタッチする

2 ［目的地］にタッチする

▼

目的地の電話番号が表示されます。

インフォメーション

- 目的地が複数の場合は、目的地リスト画面が表示されます。リスト項目から相手先を選んでタッチしてください。
- 目的地の電話番号が未登録の場合は、電話番号未登録のメッセージが表示されます。

2 その他の情報の利用

本機の持ついろいろな機能の情報を見ることができます。

シリアルナンバーを確認する

本機のシリアルナンバーを確認することができます。

1 **MENU を押し、［設定・編集］－［共通］－［セキュリティ設定］にタッチする**

▼

シリアルナンバーが表示されます。



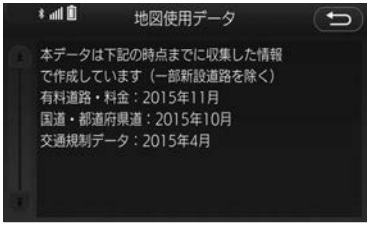
データバージョンを確認する

本機に収録された地図データおよび検索データのバージョンを確認することができます。

1 **MENU を押し、［設定・編集］－［ナビ］－［地図使用データ］にタッチする**

▼

データバージョンが表示されます。



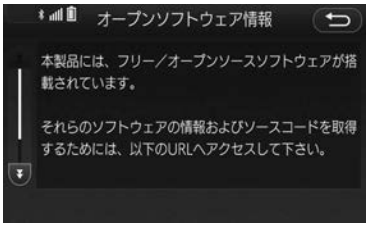
オープンソフトウェア情報を確認する

本機に収録されたオープンソフトウェア情報を確認することができます。

1 **MENU を押し、［設定・編集］－［共通］－［オープンソフトウェア情報］にタッチする**

▼

オープンソフトウェア情報が表示されます。



3 ソフトウェア更新について

より快適にナビゲーションシステムをご利用いただくため、購入後のナビゲーションシステムの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

- 更新対象
  - ・ナビゲーションシステムの性能改善
  - ・ナビゲーションシステムの操作性向上

※ 地図データは本サービスの更新対象ではありません。

更新データを準備する

1 MENU を押し、［情報］－［ソフトウェア更新］－［ソフトウェア更新］にタッチする

▼



機種識別 ID を確認します。

2 パソコンで専用サイト（http://toyota.jp/dop/navi/update/）にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する

インフォメーション

- 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のナビゲーションシステムには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

3 更新ソフトをパソコンにダウンロードする

4 パソコンにダウンロードした更新ソフトを SD カードにコピーする

インフォメーション

- 更新ソフトは、SD カード内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 MENU を押し、［情報］－［ソフトウェア更新］－［ソフトウェア更新］にタッチする

2 ［OPEN/CLOSE］にタッチする



3 SD カードを差し込む

4 ［更新を実施する］にタッチする

5 [はい] にタッチする

▼

更新ソフトがインストールされ、完了すると更新完了画面が表示されます。

6 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしたあと、アクセサリーモード、またはイグニッション ON モード< ON モード>にする

▼

ソフトウェア更新が完了すると、画面が自動で最後に表示していた画面または TILT・EJECT 画面に切り替わります。

インフォメーション

- **[更新情報]** にタッチすると、ソフトウェアの情報を確認できます。

ソフトウェアの更新履歴を確認する

1 MENU を押し、[情報] − [ソフトウェア更新] にタッチする

2 [ソフトウェア更新履歴] にタッチする

注意

- ソフトウェア更新中は、SD カード を抜いたり、車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にしないでください。

5

周辺監視

1 バックガイドモニターを使う

1 バックガイドモニターについて 232
バックガイドモニターについての注意点 232
カメラについての注意 233

2 ガイド方法の選びかた 234
並列駐車（車庫入れ）をするとき 234
縦列駐車をするとき 234

3 バックガイドモニター画面への切り替え 235
後方の映像を映す 235
画面に映る範囲について 235

4 並列駐車する（進路表示モード） 237
画面の見かた 237
並列駐車を開始する 238

5 並列駐車する（駐車ガイド線表示モード） 240
画面の見かた 240
並列駐車を開始する 241

6 縦列駐車する（縦列ガイドモード） 243
車の動きと画面・音声案内の流れ 243
縦列駐車を開始する 245

7 縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード） 254
画面の見かた 254
縦列駐車を開始する 255

8 バックガイドモニターの注意点 258
画面と実際の路面との誤差 258
立体物が近くにあるときの注意点 259

9 バックガイドモニターの設定 260
縦列ガイドの音量の設定 260
はじめのコツの表示 260
駐車ガイド線の表示 261
システム初期化中表示が出たときは 261
バッテリー / 補機バッテリーの脱着、または本機を載せ換えたときは 262

2 バックモニターを使う

1 バックモニターについて 263
バックモニターについての注意点 263
カメラについての注意 264

2 バックモニターの映像 265
後方の映像を映す 265
ガイド線の表示（タイプ 2 のみ） 265
画面の見かたについて 266

3 バックモニターの注意点 268
画面と実際の路面との誤差 268

3 知っておいていただきたいこと

1 故障とお考えになる前に 269
バックガイドモニター 269

1 バックガイドモニターについて

本機に販売店装着オプションのバックガイドモニターを装着すると、後退（特に駐車時）の運転操作をアシストします。車の後方の映像に表示されるガイド線、音声案内に従って運転操作することで、駐車の苦手な方でもかんたんに駐車することができます。（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は、販売店にて行います。）

インフォメーション

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

バックガイドモニターについての注意点

⚠ 警告

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、角度センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種での設定が必要です。したがってお車をお買い換えなどのとき、本機を他の車へ付け換えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（他の車では本機能をご使用になれない場合があります。）
- バックガイドモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
- 画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - 凍結していたり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解した上で、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに駐車できるか確認してから操作を行ってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いている物の映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

インフォメーション

・ カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意

カメラは、車両の後方に取り付けられています。（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります。）

注意

●バックガイドモニターが正常に作動しなくなる恐れがありますので以下のことに注意してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取付角度がずれる恐れがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコーティング剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などの恐れがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周辺に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

インフォメーション

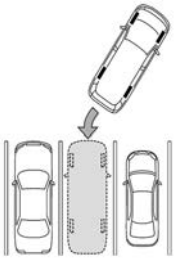
・ カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

2 ガイド方法の選びかた

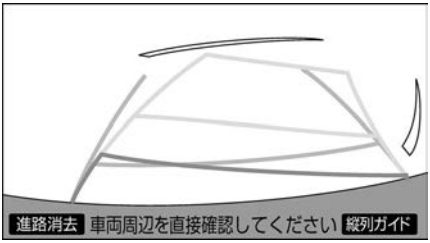
バックガイドモニターには以下の３つのモードがあります。
・進路表示モード　・駐車ガイド線表示モード　・縦列ガイドモード

並列駐車（車庫入れ）をするとき

進路表示モード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

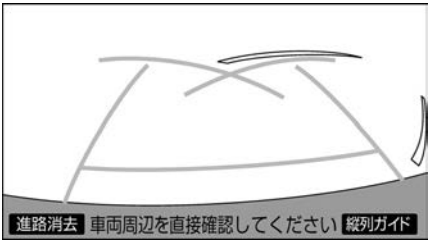


進路表示モード（→ P.237）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

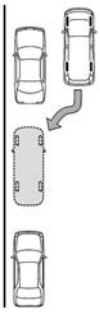
駐車ガイド線表示モード（→ P.240）



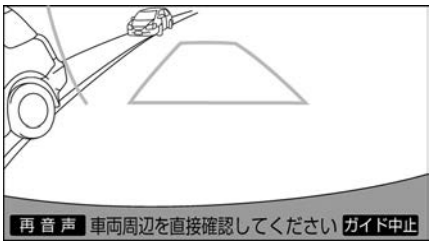
ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。
車両感覚になれた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

縦列駐車をするとき

縦列ガイドモード、または駐車ガイド線表示モードを使用します。

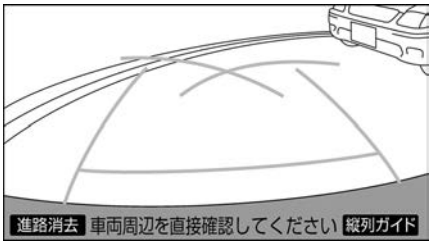


縦列ガイドモード（→ P.243）



画面表示と案内音声により縦列駐車を補助するモードです。

駐車ガイド線表示モード（→ P.254）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。
縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

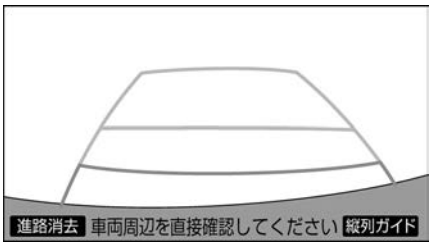
3 バックガイドモニター画面への切り替え

後方の映像を映す

1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がイグニッション ONモード< ON モード>のとき、シフトレバーを R（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。
進路表示モード（→ P.237）（または駐車ガイド線表示モード（→ P.240, 254））が表示されます。
シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。



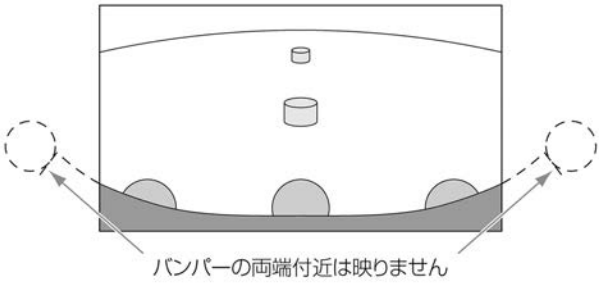


インフォメーション

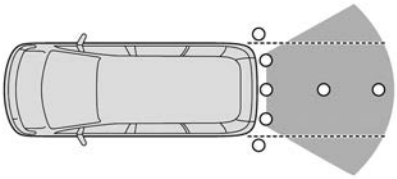
- バックガイドモニター映像を表示中に、現在地 、AUDIO 、MENU を押すと、バックガイドモニター映像は解除されます。

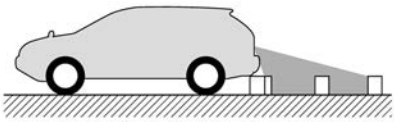
画面に映る範囲について

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。



<映る範囲>



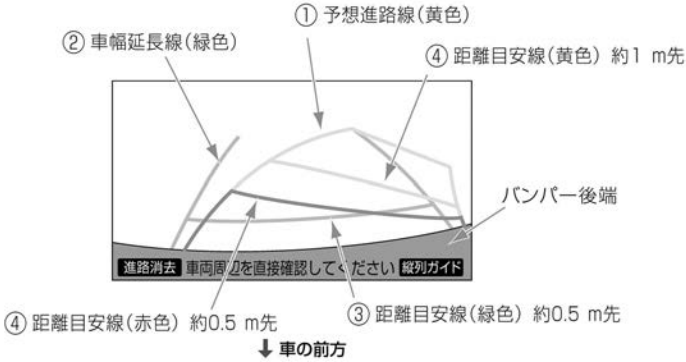


インフォメーション

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限界があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にある物は映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- 画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整することができます。→**「画質を調整する」（P.31）**

4 並列駐車する（進路表示モード）

画面の見かた



① 予想進路線（黄色）	車が後退していく進路の目安を示します。 • ハンドル操作と連動します。
② 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 • 実際の車幅より広く表示しています。 • ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
③ 距離目安線（緑色）約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 • 約 0.5 m 先を示します。
④ 距離目安線（赤色／黄色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 • ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 • それぞれの中心位置で、約 0.5 m 先（赤色）・約 1 m 先（黄色）を示します。 • ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 • 上記の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5 m 先、黄色：約 1 m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞の少ない道路を前進で約5分以上走行してください。それでも直らないときは、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

インフォメーション

- **[進路消去]** にタッチすると、予想進路線・車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。**[進路表示]** にタッチすると元に戻ります。

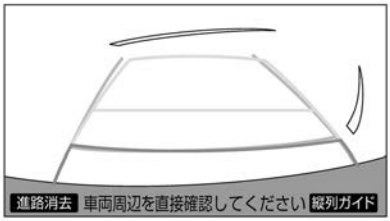
並列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

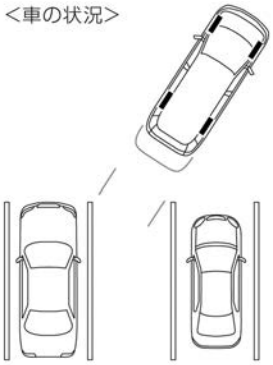
1 シフトレバーをR（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が表示されます。

<画面>



<車の状況>

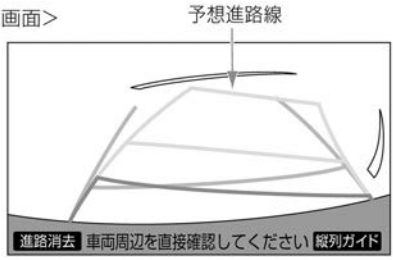


インフォメーション

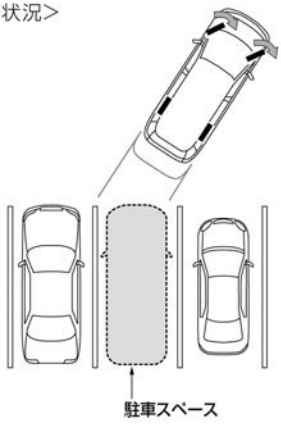
- 進路表示モードになっていない場合は、進路表示モードにしてください。→**「駐車ガイド線の表示」（P.261）**

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する

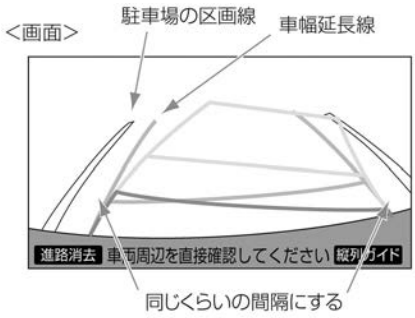
<画面>

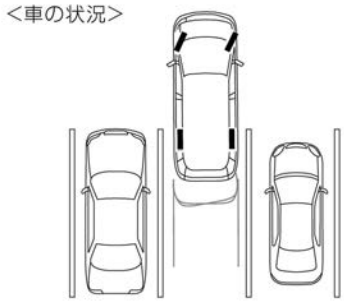


<車の状況>

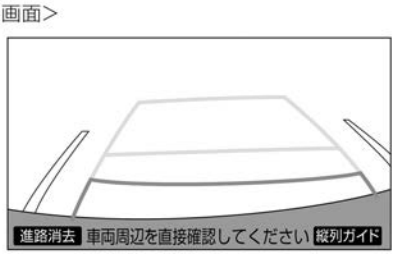


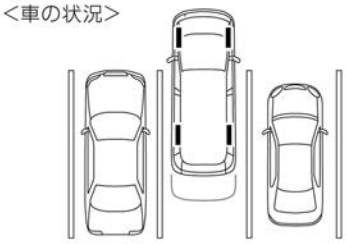
3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区間線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるように、ハンドルを操作する





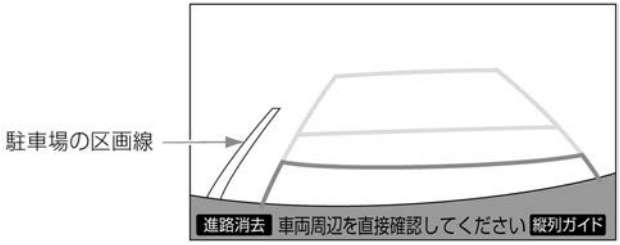
4 車幅延長線と駐車場の区間線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する





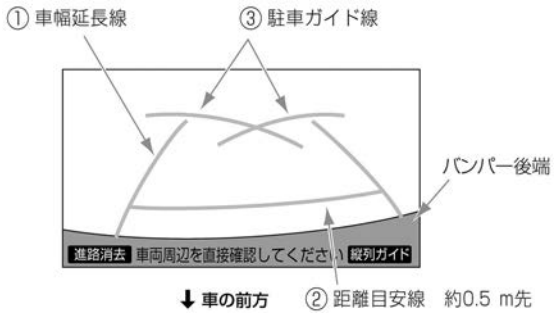
インフォメーション

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
  - 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
  - 駐車場の区間線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。



5 並列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線 約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・約 0.5 m 先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまで回して後退（最も小回り）したときの進路の目安を示します。 ・駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

インフォメーション

・**［進路消去］**にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。**［進路表示］**にタッチすると元に戻ります。

並列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーを R（リバース）にする

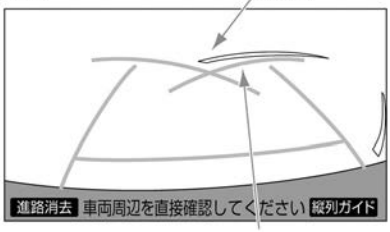
バックガイドモニターの映像が表示されます。

インフォメーション

- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。→**「駐車ガイド線の表示」（P.261）**

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退して止まる

<画面>



<車の状況>



インフォメーション

- 画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約 2.2 m の場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

3 ハンドルを右いっぱいに回して、ゆっくり後退する

<画面>



<車の状況>



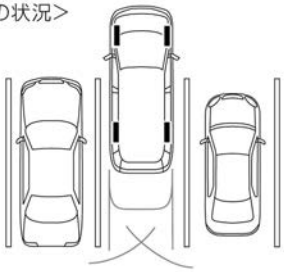
4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

<画面>

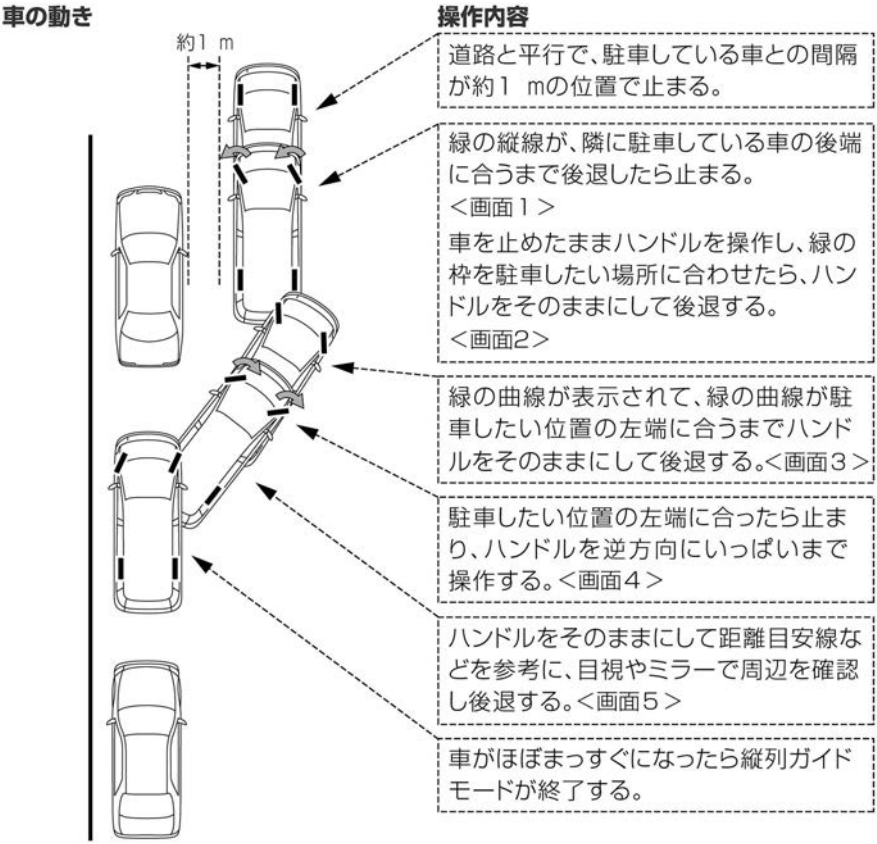


<車の状況>



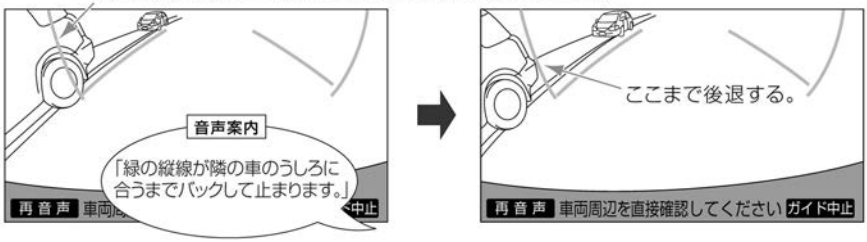
6 縦列駐車する（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

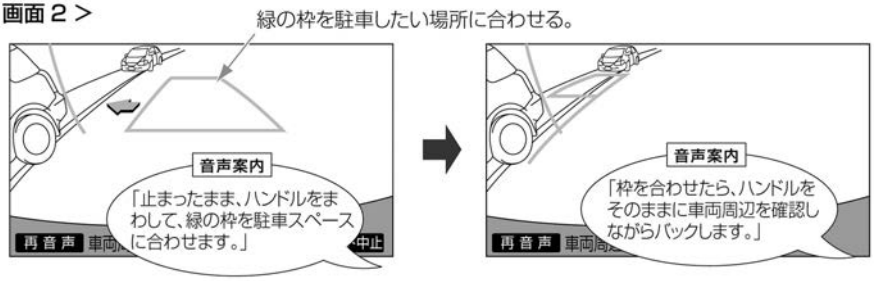


画面・音声の流れ

＜画面１＞ 緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。

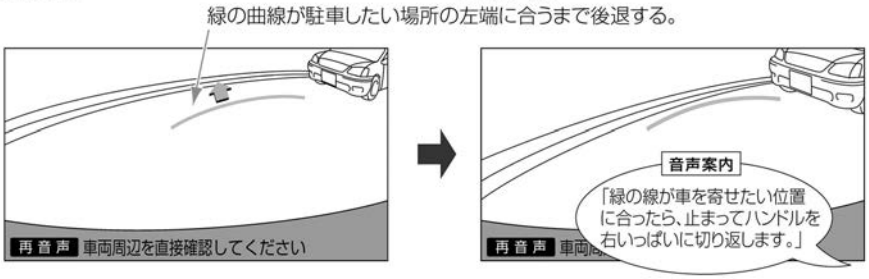


<画面２>

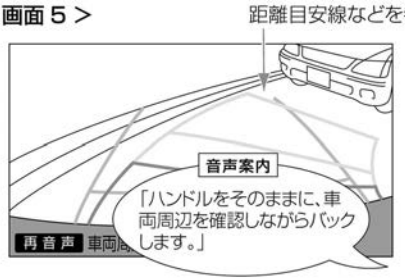


<画面３>

<画面４>



<画面５>



⚠ 警告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では、使用しないでください。
- ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

インフォメーション

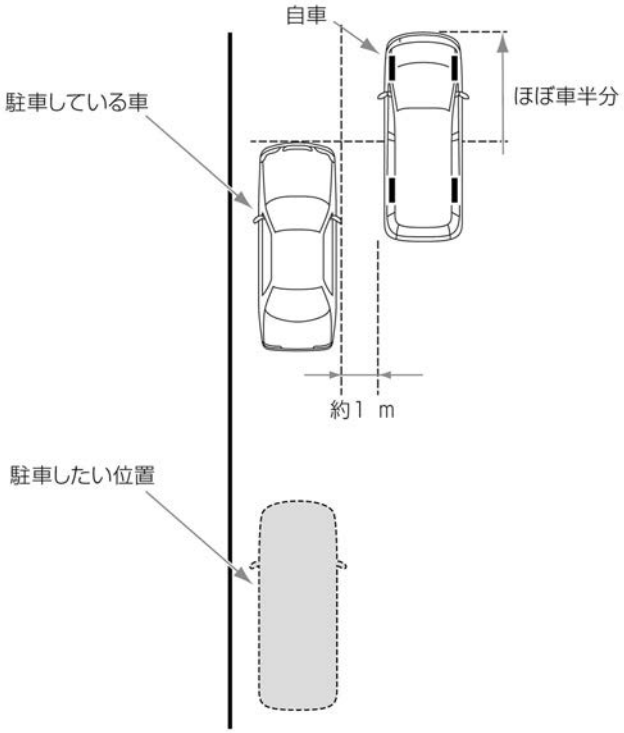
- ガイドを中止したいときは、**［ガイド中止］**にタッチします。
- 音声案内を再度聞きたいときは、**［再音声］**にタッチします。
- 音声案内の音量は調整することができます。→**「縦列ガイドの音量の設定」**（P.260）

縦列駐車を開始する

ここでは、左側の駐車スペースに駐車する場合の手順を説明します。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1 m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。

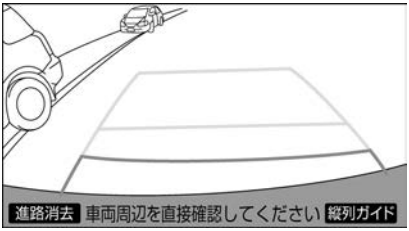


2 シフトレバーを R（リバース）にする

バックガイドモニターの映像が進路表示モードまたは駐車ガイド線表示モードで表示されます。

3 車の位置を確認し、［縦列ガイド］にタッチする

画面で駐車している車のリヤタイヤより後ろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



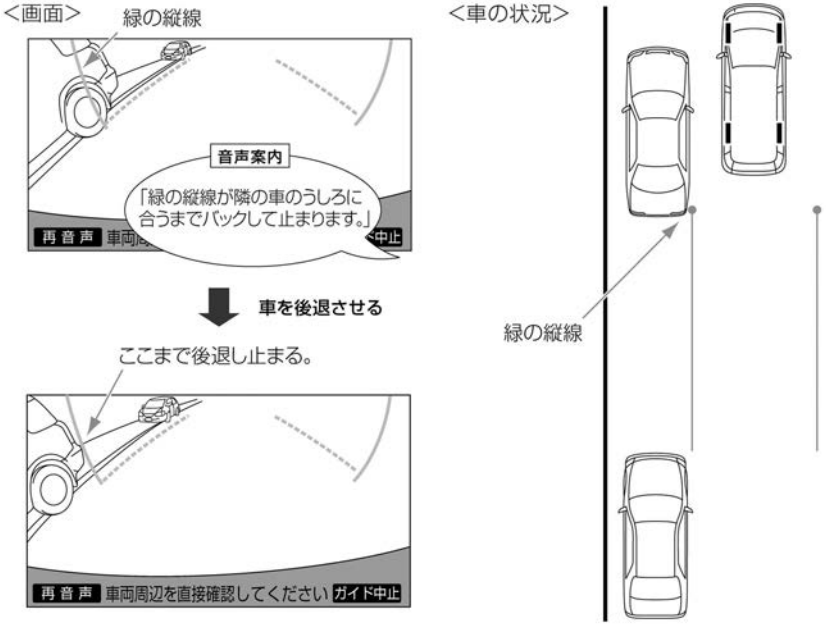
4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認したら、［次へ］にタッチする



インフォメーション

- **［次回からこの表示を省略］**にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再度、表示させたいときは、→**「はじめのコツの表示」（P.260）**を参照してください。
- **［ガイド中止］**にタッチすると、前の画面に戻ります。

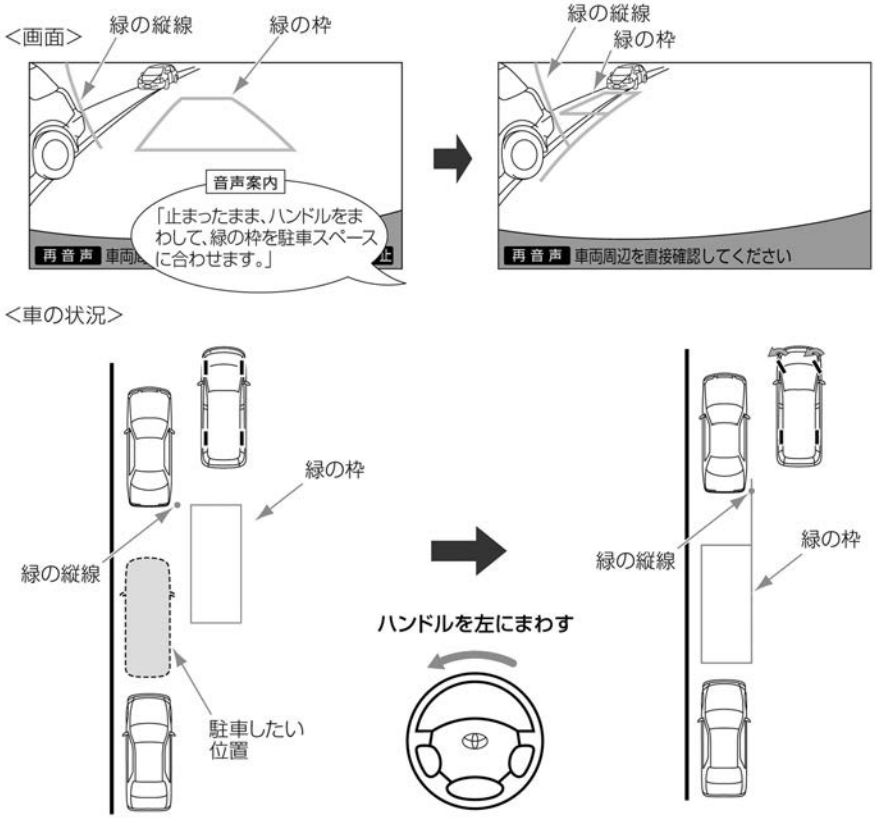
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し止まる



インフォメーション

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。
- シフトレバーをR（リバース）以外の位置にしても、10秒以内にR（リバース）に戻すと、この画面に戻ります。

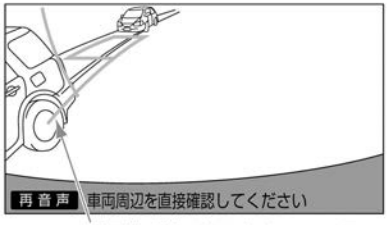
6 音声で案内され緑の枠が表示されたら、止まったままハンドルを左に回して、緑の枠を駐車したい位置に合わせる



⚠ 警告

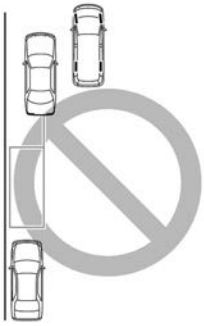
- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に伸びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

<画面>



延長線がタイヤにかかっている

<車の状況>



インフォメーション

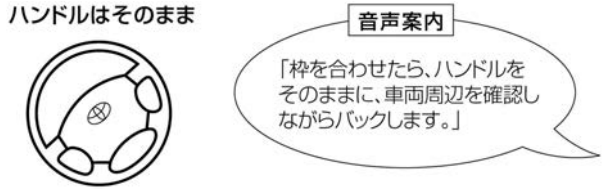
- 画面の中にメッセージが表示されることがあります。
  - 枠が赤くなって、下記のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。



  - 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約１ m）を確認してください。

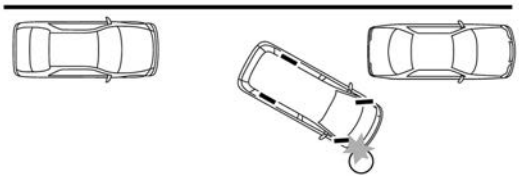


7 音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する



⚠ 注意

● 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



インフォメーション

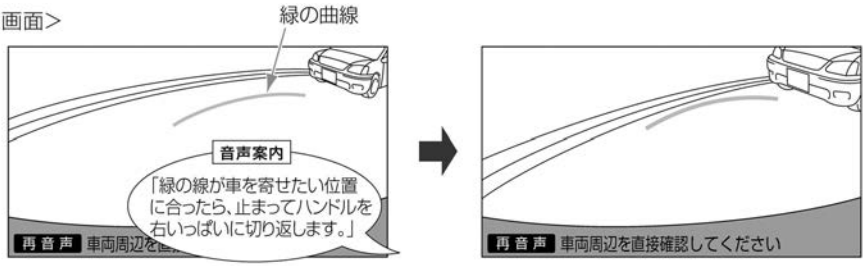
・ 後退している途中でハンドルを動かした場合、ガイドを継続できなくなります。その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やり直してください。



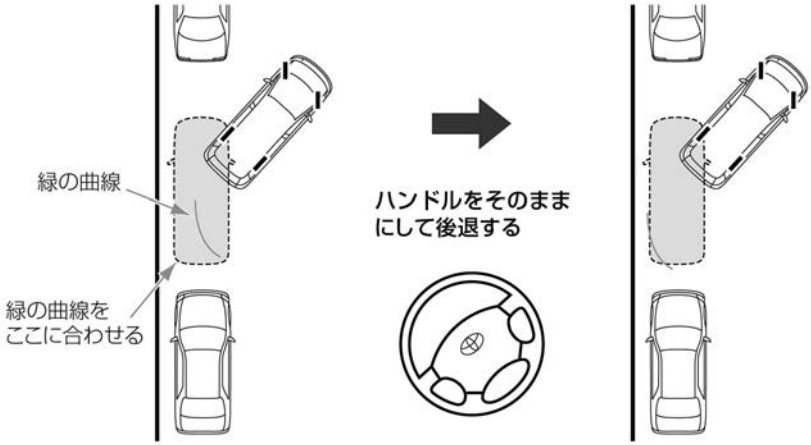
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

<画面>



<車の状況>

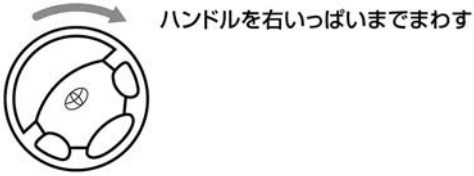


インフォメーション

- 後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

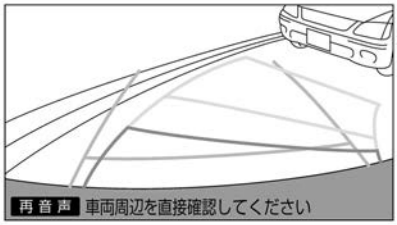
9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまで回す

必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



⑩ 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する

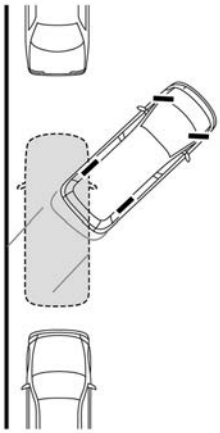
<画面>



音声案内

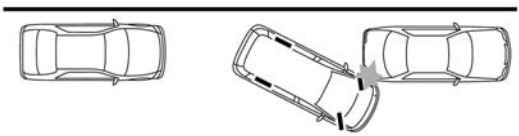
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

<車の状況>



⚠ 注意

● 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

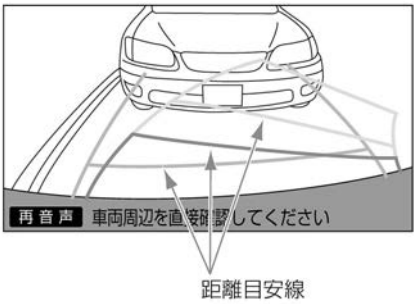


⑪ 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻す

⑫ 距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まる

車がほぼまっすぐになると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

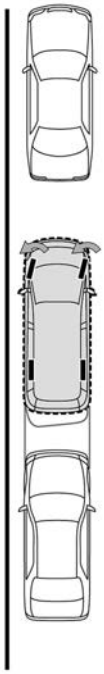
<画面>



音声案内

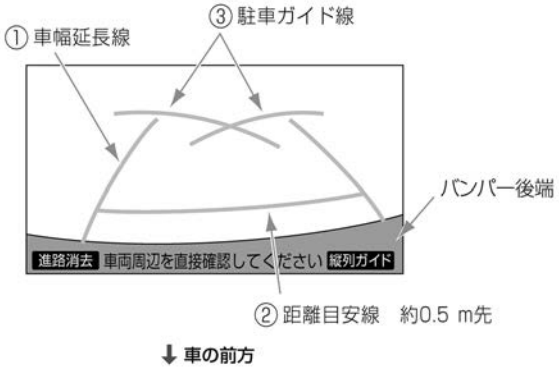
「縦列ガイドを終了します。」

<車の状況>



7 縦列駐車する（駐車ガイド線表示モード）

画面の見かた



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 ・実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線 約 0.5 m 先	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ・約 0.5 m 先を示します。
③ 駐車ガイド線	ハンドルをいっぱいまで回して後退（最も小回り）したときの進路の目安を示します。 ・駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

インフォメーション

・**［進路消去］**にタッチすると、車幅延長線・駐車ガイド線が表示されなくなります。**［進路表示］**にタッチすると元に戻ります。

縦列駐車を開始する

下記の手順と逆方向の駐車スペースに駐車する場合は、ハンドル操作が全て左右逆になります。

1 シフトレバーを R（リバース）にする

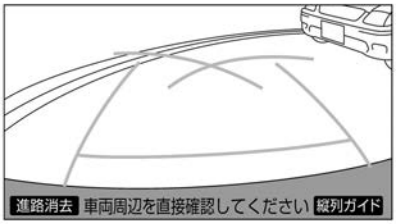
バックガイドモニターの映像が表示されます。

インフォメーション

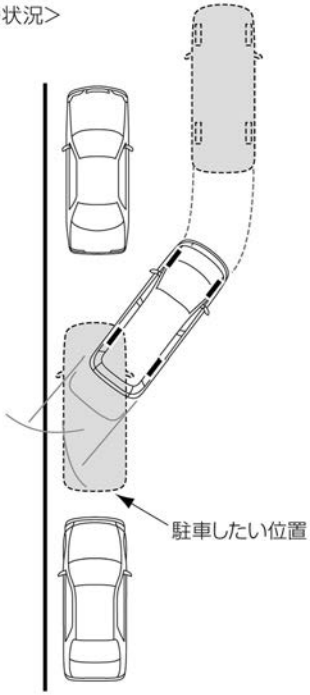
- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、駐車ガイド線表示モードにしてください。→**「駐車ガイド線の表示」（P.261）**

2 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる

<画面>

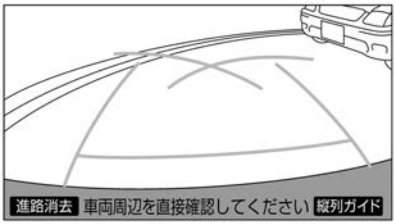


<車の状況>

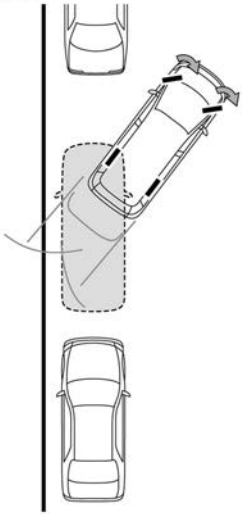


3 ハンドルを右いっぱいに回して、ゆっくり後退する

<画面>

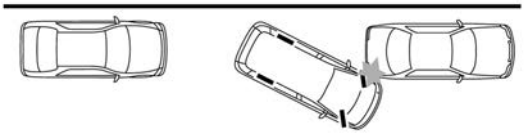


<車の状況>



⚠ 注意

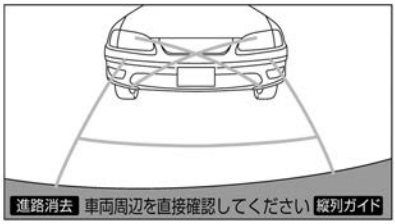
● 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



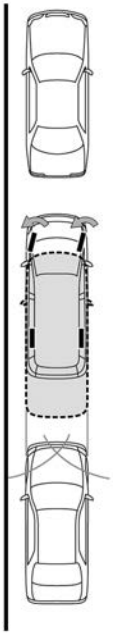
4 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする

画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して駐車を終えます。

<画面>



<車の状況>

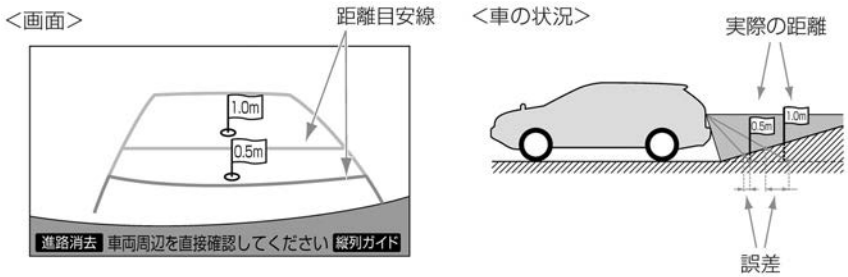


8 バックガイドモニターの注意点

画面と実際の路面との誤差

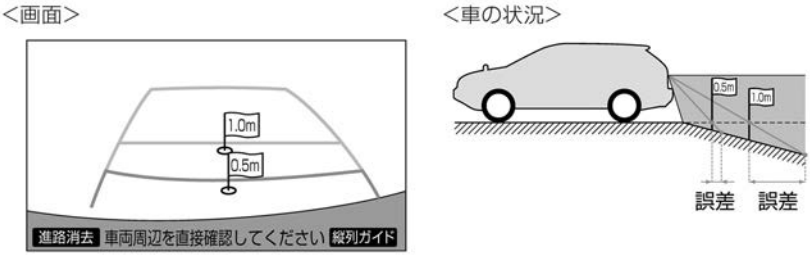
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
（イラストは標準的カメラ取り付け位置の場合を示します。）

急な上り坂が後方にあるとき



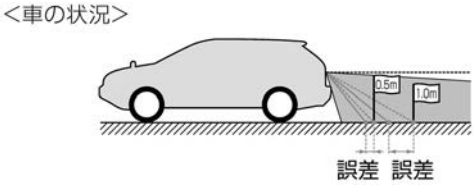
上り坂が後方にあるときは、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき



下り坂が後方にあるときは、実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

車が傾いているとき



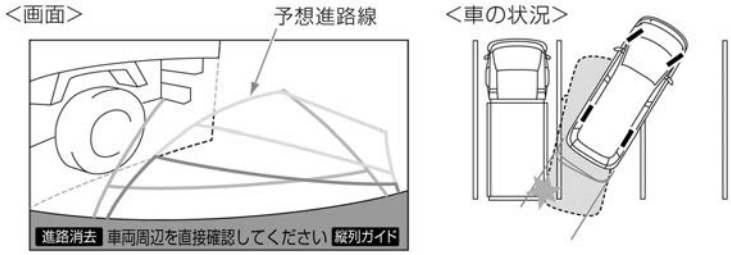
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるときの注意点

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意してぶつからないようにしてください。

予想進路線

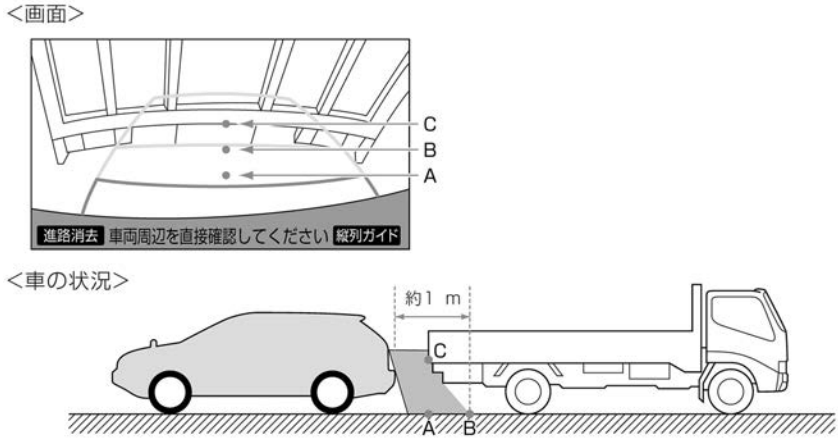
予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。



画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



画面では、距離目安線により約1 m先（Bの位置）にトラックが駐車しているように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、Bは A、Cより遠い距離にあります。

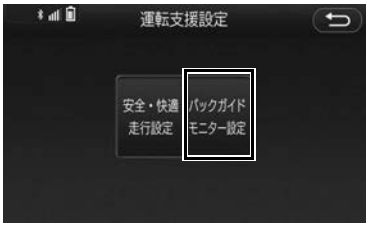
9 バックガイドモニターの設定

縦列ガイドの音量の設定

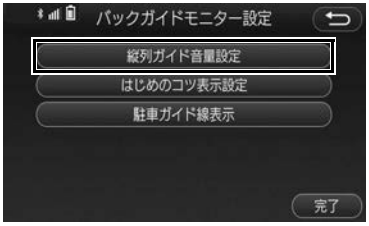
音声案内の音量を調整することができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［運転支援］にタッチする

2 ［バックガイドモニター設定］にタッチする



3 ［縦列ガイド音量設定］にタッチする



4 設定したい音量にタッチする



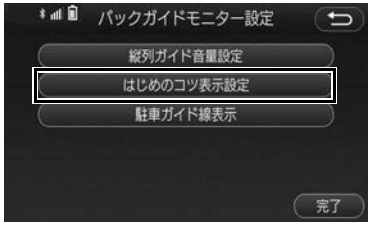
はじめのコツの表示

縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するかしないかを設定できます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［運転支援］にタッチする

2 ［バックガイドモニター設定］にタッチする

3 ［はじめのコツ表示］にタッチする



4 ［する］または［しない］にタッチする



5 ［完了］にタッチする

駐車ガイド線の表示

駐車ガイド線表示モードにするか進路表示モードにするか、設定できます。

1 MENU を押し、［設定・編集］ー［運転支援］にタッチする

2 ［バックガイドモニター設定］にタッチする

3 ［駐車ガイド線表示］にタッチする



4 ［する］または［しない］にタッチする

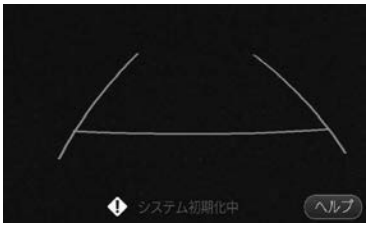


［する］	駐車ガイド線表示モードになります。
［しない］	進路表示モードになります。

5 ［完了］にタッチする

システム初期化中表示が出たときは

バッテリー / 補機バッテリーの脱着・バッテリー / 補機バッテリー能力が低下した場合などには、システム初期化中画面が表示されます。



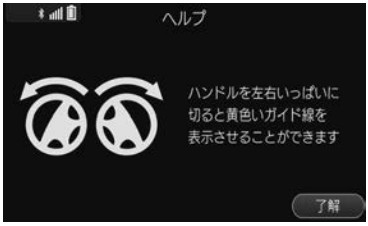
この場合は、以下のどちらかを選んでください。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回したあと、右いっぱいまで回す。（左右どちらが先でも可。）
- できるだけ曲がり角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約５分間以上走行する。

通常の画面に戻れば、設定終了です。システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

インフォメーション

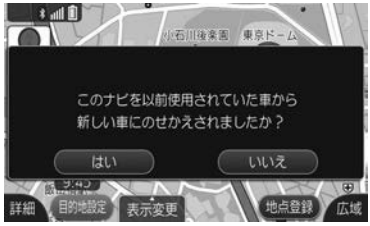
- システム初期化中画面で、**[ヘルプ]**にタッチすると、操作方法を表示させることができます。



- 画面に表示されている操作を行い、通常の画面に戻れば設定終了です。
- システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
- **[了解]**にタッチすると、元の画面に戻ります。

バッテリー / 補機バッテリーの脱着、または本機を載せ換えたときは

バッテリー / 補機バッテリーの脱着、または本機を別の車に載せ換えた場合などには、確認画面が表示されます



この場合には、以下の操作または販売店での設定が必要となります。

[はい]にタッチすると、ガイド線の設定が削除されます。ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定を、販売店に依頼してください。

[いいえ]にタッチすると、ガイド線を表示して、車の後方を映すことができます。（本機を別の車に載せ換えたときは、載せ換える前に設定した車種のガイド線が表示されます。）

[いいえ]をタッチした直後にシフトレバーをＲにした場合、システム初期化中の画面が表示されます。→**「システム初期化中表示が出たときは」**（P.261）に記載されている操作をして、通常の画面に戻れば設定終了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。

1 バックモニターについて

本機に販売店装着オプションのバックモニターを装着すると、バックギアにシフトしたとき、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。
（ご使用の車に合わせたガイド線の表示設定は販売店にて行います。）

インフォメーション

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

バックモニターについての注意点

⚠ 警告

- バックモニターを過信しないでください。
- 本機（バックモニター）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周辺の安全を直接確認しながら運転してください。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  - 凍結していたり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道

⚠ 警告

- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いている物の映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

インフォメーション

- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意

カメラは、車両の後方に取り付けられています。（車種によって車両後方の取り付け位置は異なります。）

注意

● バックモニターが正常に作動しなくなる恐れがありますので以下のことに注意してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物にぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれる恐れがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコーティング剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などの恐れがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周辺に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

インフォメーション

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布で拭き取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 太陽光を直接長時間撮影しないでください。焼付け現象が残ることがあります。
- モニター画像に映る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、カメラによってはいったん白画面になる場合がありますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCD の特性によるものです。
- 50 Hz 電源地域の蛍光灯では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

2 バックモニターの映像

後方の映像を映す

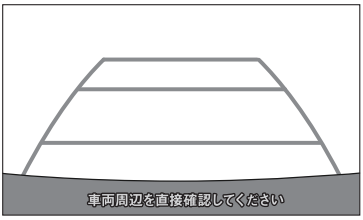
1 車両のエンジンスイッチ<パワースイッチ>がイグニッション ON モード< ON モード>のとき、シフトレバーを R（リバース）にする



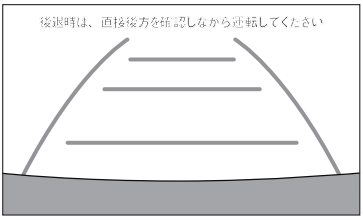
▼

バックモニターの映像が表示されます。

タイプ 1



タイプ 2



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。

インフォメーション

- 車種により、タイプ 1 かタイプ 2 が異なります。

ガイド線の表示（タイプ 2 のみ）

ガイド線の表示／非表示を切り替えることができます。

1 バックモニターの表示画面で、MENU を長く押す

2 [画質調整] にタッチする



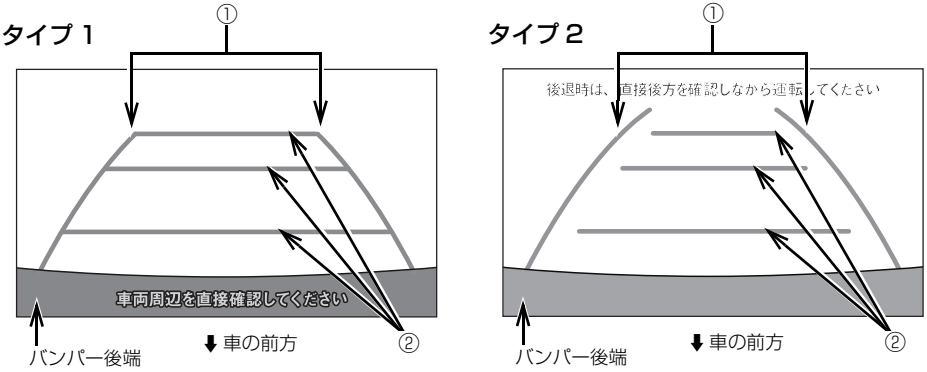
3 [ガイド ON] または [ガイド OFF] にタッチする



画面の見かたについて

表示線の見かた

シフトレバーをR（リバース）にすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。 実際の車幅より広く表示しています。
② 距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。 ハンドル操作と連動しません。 それぞれの中心位置で、タイプ1の場合は、約0.5m先（1本目）、約1m先（2本目）、約2.7m先（3本目）、タイプ2の場合は、約0.5 m先（1本目）、約1 m先（2本目）、約2 m先（3本目）を示します。

⚠ 警告

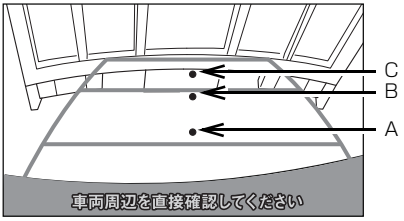
● 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

インフォメーション

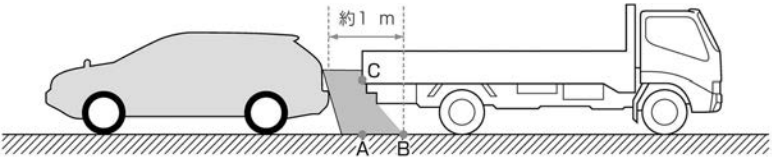
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲は限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にある物は映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さを調整することができます。→**「画質を調整する」(P.31)**
- 車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。
- タイプ2の場合ガイド線は表示する / しないを設定できます。**(→ P.265)**

＜画面＞

●画面は一例です。



＜車の状況＞



距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

画面では、距離目安線により約 1 m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

インフォメーション

- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ。（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

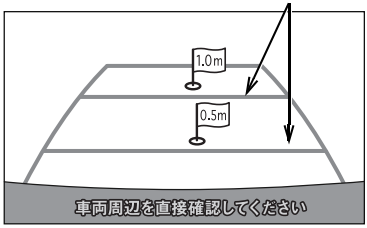
3 バックモニターの注意点

画面と実際の路面との誤差

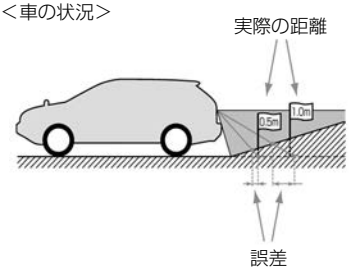
距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。（イラストは標準的カメラ取り付け位置の場合を示します。）

急な上り坂が後方にあるとき

＜画面＞
●画面は一例です。



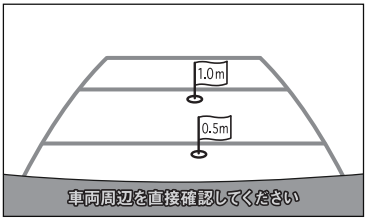
＜車の状況＞



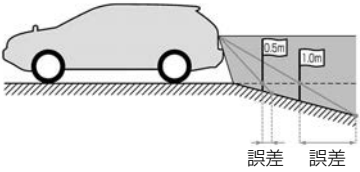
上り坂が後方にあるときは、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

急な下り坂が後方にあるとき

＜画面＞
●画面は一例です。



＜車の状況＞



下り坂が後方にあるときは、実際の距離より後ろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

1 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

バックガイドモニター

症状	考えられること	処置
バックガイドモニターの予想進路線が表示されない。	駐車ガイド線表示の設定が「する」になっている。	駐車ガイド線表示の設定を「しない」にしてください。
	予想進路線が非表示になっている。	**［進路表示］**をタッチしてください。**(→ P.237, 240, 254)**
システム初期化中画面が表示される。	バッテリー / 補機バッテリーの脱着が行われた。	**→「システム初期化中表示が出たときは」(P.261)** に記載されている動作を行ってください。

6

ETC システム

1 ETCの操作

1 ETC情報を利用する 272
ETC 利用履歴を表示する 273
ETC 登録情報を表示する 273
ETC 設定を行う..... 274

2 故障とお考えになる前に 275

1 ETC 情報を利用する

本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットを接続すると、ETC カードに記憶された履歴情報や ETC ユニットの登録情報を見たり、ETC 利用時の案内の設定ができます。

インフォメーション

- ETC（Electronic Toll Collection）サービスは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
- 本機に販売店装着オプションのナビ連動 ETC ユニットが接続され、さらに有効期限内の ETC カードを挿入した場合のみ、ステータスバーに ETC マークが表示されます。

1 MENU を押し、［情報］ー［ETC］にタッチする

▼

ETC メニューが表示されます。

ETC ステータス通知表示



イラスト

［履歴情報表示］	ETC カードの利用履歴を表示します。
［登録情報表示］	ETC の登録情報を表示します。

インフォメーション

- **［履歴情報表示］**は、ETC ユニットに ETC カードが挿入されていないと選択できません。

ETC ユニットの状況に応じて、ETC ステータス通知表示とイラストが画面に表示されます。

ETC ユニットの状況	ETC ステータス通知表示
ETC カード挿入済みの場合	「ETC カード挿入済み」
ETC セットアップ完了の場合	「セットアップ完了」
ETC カード未挿入の場合	「ETC カード未挿入」
ETC カード確認中の場合	「ETC カード確認中」
ETC 未セットアップの場合	「未セットアップ」
ETC カード異常の場合	「ETC カード異常」
システム異常の場合	「システム異常」

ETC 利用履歴を表示する

1 [履歴情報表示] にタッチする



2 [詳細] にタッチする

ETC 履歴詳細情報画面が表示されます。



インフォメーション

- 利用履歴は新しいものから最大 100 件まで表示されます。
- 乗降したインターチェンジ名が不明の場合は、インターチェンジ番号が表示されます。

ETC 登録情報を表示する

1 [登録情報表示] にタッチする



インフォメーション

- ETC 登録情報が取得できない、または情報取得エラーなどの理由で情報が表示されない場合があります。

ETC 設定を行う

1 MENU を押し、［設定・編集］－［ETC］にタッチする

2 設定したい項目にタッチし、［する］または［しない］にタッチする



［ETC 割込表示］	ETC を利用するときに、利用料金などの割り込み表示をするかしないかの設定を行います。
［ETC 音声案内］	ETC を利用するときに、利用料金などの音声案内をするかしないかの設定を行います。
［ACC オン時警告表示］	車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をOFF からアクセサリーモードにしたときに、ETC カードの異常などを画面に表示するかしないかの設定を行います。
［ACC オン時警告音声案内］	車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をOFF からアクセサリーモードにしたときに、ETC カードの異常などを音声で案内するかしないかの設定を行います。
［カード抜き忘れ警告］	車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をアクセサリーモードからOFF にしたときに、ETC カードの抜き忘れをお知らせするかしないかの設定を行います。

2 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

症状	考えられること	処置
ETC の料金音声が案内されない。	**[ETC 音声案内]** が **[しない]** に設定されている。	**[ETC 音声案内]** を **[する]** に設定してください。**(→ P.274)**
	[音量設定] が **[消音]** に設定されている。	お好みに合わせて、音量を調節してください。**→「音量設定をする」(P.159)**
ETC の履歴表示が表示できない。	ETC ユニットに ETC カードが挿入されていない。	利用履歴のある ETC カードを挿入してください。
「ETC カードが挿入されていません」というメッセージが表示される。	ETC カードの挿入不良。料金所にて車両の停止が案内（表示）される場合があります。	ETC カードの挿入状態をご確認の上、再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC カードが読めません カードをお確かめ下さい」というメッセージが表示される。	「ETC カード挿入時」挿入された ETC カードのデータが読み出せない。	再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC カードに書き込みできません カードをお確かめ下さい」というメッセージが表示される。	挿入されたカードが ETC カードであるか認識できない。	正しい ETC カードであることをご確認の上、再度挿入してください。それでもメッセージが表示される場合は ETC カード発行者（クレジットカード会社など）、またはお買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC に異常が発生しました ETC はご利用できません」というメッセージが表示される。	ETC ユニットが故障している。	お買い上げの販売店にご相談ください。
「ETC ゲートとの通信に失敗しました」というメッセージが表示される。	ETC ユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生した。	料金所の係員の指示に従ってください。後日、お買い上げの販売店にご相談ください。

7

ハンズフリー

1 ハンズフリーについて

1 ハンズフリー通話をする 278
ハンズフリー通話をするには 279
ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは 279

2 ハンズフリーの操作

1 電話の受けかた 280

2 電話のかけかた 281
電話番号を入力して電話をかける 282
電話帳から電話をかける 282
ワンタッチダイヤルから電話をかける 282
発着信履歴から電話をかける 283
交通ナビから電話をかける 283
地図に登録された電話番号にかける 285
通話中メニューの操作 285

3 ハンズフリーの設定を変更する

1 ハンズフリーの詳細設定を変更する 286
着信割り込み表示画面の設定 286
電話帳／履歴転送確認表示の設定 286
着信音の設定 287
着信音量、通話音量の調整 287

2 携帯電話情報を設定する 289
電話帳／履歴自動転送を設定する 290
電話帳を更新する 290
着信時の画像表示を設定する 291
電話帳データを転送する 291
ワンタッチダイヤルを登録する 293
ワンタッチダイヤルを削除する 294
発信履歴または着信履歴を削除する 294
電話帳データを新規作成する 295
電話帳データを編集する 295
電話帳データを削除する 296

4 知っておいていただきたいこと

1 故障とお考えになる前に 297

1 ハンズフリー通話をする

本機に携帯電話を Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話を行うことができます。

⚠ 警告

● 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短に終了するようにしてください。

インフォメーション

- 通話相手の音声が聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→ P.287)
- 次のような場合は、通信相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - 悪路走行時
  - 高速走行時
  - 窓を開けているとき
  - エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - エアコンのファンの音が大きいとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 本機に携帯電話を Bluetooth 接続している場合、ステータスバーに Bluetooth マーク、電波強度マーク、およびバッテリー残量マークが表示されます。

ハンズフリー通話をするには

Bluetooth に対応した携帯電話が必要です。また、事前に携帯電話を本機に登録しておく必要があります。詳しくは→**「2. Bluetooth 設定をする」(P.152)** をご覧ください。

インフォメーション

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず→**「Bluetooth 機器使用上のご注意」(P.152)** をよくお読みください。
- エンジン / ハイブリッドシステム始動時、登録済みの携帯電話が車内にない場合は携帯電話忘れ警告メッセージが表示されます。画面をタッチすることでメッセージを消し、音声を停止できます。

ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 通話中に、受話音量を本体の VOL − で小さくする
- お互いに一呼吸おいて話す

インフォメーション

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。**(→ P.285)**
- 携帯電話によっては、一部機能が制限される場合があります。詳しくは、販売店へお問い合わせください。

1 電話の受けかた

電話がかかってくると、以下のような電話の着信を案内する着信割り込み表示画面が表示され、着信音が流れます。



 にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

インフォメーション

- 電話帳（→ P.289）に登録されている電話番号と一致すると、電話帳で登録された名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
-  にタッチすると応答を保留します。長くタッチすると着信を拒否します。（携帯電話の機種によっては、できないことがあります。）



- 応答保留中に  にタッチすると、応答保留を解除します。（携帯電話の機種によっては、応答保留の解除ができないことがあります。）
- 応答保留中に  にタッチすると、電話が切れます。
- 通話中の着信時の応答保留はできません。
- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 電話の切りかたは、→**「通話中メニューの操作」（P.285）**をご覧ください。
- 着信割り込み表示画面は、全画面表示または簡易表示に切り替えることができます。**（→ P.286）**

2 電話のかけかた

いろいろな方法で電話をかけることができます。

1 MENU を押し、［電話］にタッチする

インフォメーション

- Bluetooth 機器が未登録の場合は、登録を促すメッセージが表示されます。**［はい］**にタッチして、登録操作を行ってください。**（→ P.153）**

2 電話をかける方法にタッチする



インフォメーション

- 発信中、通話中は、画面に通話中メニュー**（→ P.285）**が表示されます。

タッチキー	内容	ページ
［電話帳］	本機または接続中の携帯電話から読み込んだ電話帳リストを呼び出して電話をかけることができます。	282
［ワンタッチダイヤル］	よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくと、かんたんな操作で電話をかけることができます。ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。	282 293
［履歴］	発信履歴または着信履歴が登録されている電話番号から電話をかけることができます。 発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、合計で最大 30 件表示できます。	283
［交通ナビ］	JAF や道路交通情報センターなどへ電話をかけることができます。また、メモリ地点や目的地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。	283
［設定］	電話に関する設定を行うことができます。	286 289
	電話番号を入力して電話をかけることができます。	−

電話番号を入力して電話をかける

1 電話番号を入力し、 にタッチする（→ P.58）

▼

相手先に電話が発信されます。

インフォメーション

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。（携帯電話によっては、ハンズフリーにならない場合があります。）

電話帳から電話をかける

インフォメーション

- 電話帳データは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り替える（→ P.154）と、表示される電話帳の内容も切り替わります。

1 [電話帳] にタッチする（→ P.281）

2 相手先を選んでタッチする



3 選んだ相手先に含まれる電話番号を選んでタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

1 [ワンタッチダイヤル] にタッチする（→ P.281）

2 相手先を選んでタッチする



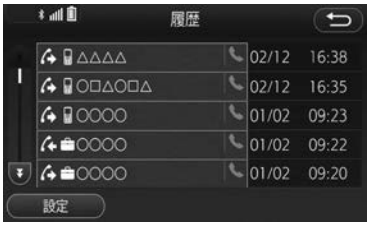
インフォメーション

- ワンタッチ 1、ワンタッチ 2、ワンタッチ 3 にタッチするとページを切り替えることができます。
- **[設定]** にタッチするとワンタッチダイヤルの登録、削除を行うことができます。（→ P.293, 294）

発着信履歴から電話をかける

1 [履歴] にタッチする
(→ P.281)

2 表示したい履歴に切り替え、相手先を選んでタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

交通ナビから電話をかける

1 [交通ナビ] にタッチする
(→ P.281)

▼

交通・ナビ関連メニューが表示されます。

[JAF]	JAF 全国共通代表電話番号に電話をかけることができます。 ほかの施設を検索することはできません。
[道路交通情報センター]	道路交通情報センター全国共通代表電話番号に電話をかけることができます。 ほかの施設を検索することはできません。
[メモリ地点]	メモリ地点に設定した電話番号に電話をかけることができます。 (→ P.284)
[目的地]	目的地の電話番号を検索し、電話をかけることができます。 (→ P.284)

JAF または道路交通情報センターの施設情報から電話をかける

1 [JAF] または [道路交通情報センター] にタッチする

▼

JAF または道路交通情報センターの全国共通代表電話番号が表示されます。

2 にタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

メモリ地点から電話をかける

1 [メモリ地点] にタッチする (→ P.283)

2 リスト項目から相手先を選んでタッチする



3 にタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

インフォメーション

- メモリ地点の電話番号が未登録の場合は、電話番号未登録のメッセージが表示されます。
- **[ソート]** にタッチすると、以下のポップアップメニューが表示されます。タッチするとリスト項目を並べ替えることができます。

[50 音順]	名称の 50 音順に並べ替えます。
[マーク順]	メモリ地点のマーク順に並べ替えます。
[登録順]	登録順に並べ替えます。

- **[地図]** にタッチすると、メモリ地点の地図画面が表示されます。
- 50 音順に並べ替えるには、名称読みの入力 (→ P.118) が必要です。

目的地から電話番号を検索し電話をかける

1 [目的地] にタッチする (→ P.283)

インフォメーション

- 目的地が複数の場合は、目的地リスト画面が表示されます。リスト項目から相手先を選んでタッチしてください。

2 にタッチする



▼

相手先に電話が発信されます。

地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や、メモリ地点に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

1 **場所を探して（→ P.82）、施設の詳細情報（→ P.91）を表示させる**

2  **にタッチする**



▼

登録されている電話番号に発信されます。

インフォメーション

- 検索方法や施設によって、操作できない場合があります。

通話中メニューの操作

通話中は、通話中メニューが自動的に表示され、受話音量の調整やハンズフリー機能の ON/OFF、電話を切る操作を行うことができます。



[0 - 9]	ダイヤルトーン画面が表示されます。数字、✱、＋、＃を入力できます。
[ミュート]	タッチするごとに送話のミュート機能を ON/OFF します。ON のときはスイッチ横のインジケータが点灯します。OFF のときはインジケータが消灯します。
[ハンズフリー一時停止]	タッチするごとにハンズフリー通話と電話機通話を切り替えます。
[送話音量]	送話音量画面が表示されます。－５～５の範囲で送話音量を設定できます。工場出荷時の値は「0」です。**[－]** にタッチすると送話音量を下げます。**[+]** にタッチすると送話音量を上げます。
	通話を保留にします。再度、タッチすると保留を解除できます。（携帯電話の機種によっては、できないことがあります。）
[－] ／ **[+]**	受話音量を０～ 16 段階の範囲で設定できます。工場出荷時の設定は「8」です。**[－]** にタッチすると受話音量を下げます。**[+]** にタッチすると受話音量を上げます。
	電話を切ります。

インフォメーション

- 電話機通話 / ハンズフリー機能を切り替えると、本機と携帯電話との Bluetooth 接続が切断される場合があります。
- 携帯電話で電話を切ることもできます。
- 受話音量を「0」に設定された場合、次回通話時には設定前の音量に戻ります。
- ミュートを ON に設定された場合、次回通話時には OFF に戻ります。

1 ハンズフリーの詳細設定を変更する

着信割り込み表示画面の設定

着信を案内する画面表示の設定ができます。
工場出荷時は「全画面」です。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］にタッチする

2 ［通知設定］にタッチする

3 ［着信割り込み表示］にタッチし、［全画面］または［簡易］にタッチする



インフォメーション

- MENU を押し、［電話］－［設定］でも、手順2からと同様に設定できます。

電話帳／履歴転送確認表示の設定

電話帳／履歴データ自動転送完了時の確認表示の設定ができます。
工場出荷時は「する」です。

インフォメーション

- この機能は PBAP 接続（→ P.152）に対応している携帯電話だけが対象となります。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］にタッチする

2 ［通知設定］にタッチする

3 ［電話帳／履歴転送確認表示］にタッチし、［する］または［しない］にタッチする



インフォメーション

- MENU を押し、［電話］－［設定］でも、手順2からと同様に設定できます。

通知設定を初期状態に戻す

設定された機能を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［通知設定］にタッチする

2 ［初期状態］にタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

3 [はい] にタッチする

▼

電話通知設定が初期化されます。

インフォメーション

- MENU を押し、[電話] − [設定] でも、手順2からと同様に設定できます。

着信音の設定

着信音を 3 種類の中から選ぶことができます。一部の電話機においては、3 種類に加えて、電話機の着信音を選ぶこともできます。

1 MENU を押し、[設定・編集] − [電話] にタッチする

2 [通話 / 着信音設定] にタッチする

3 [着信音設定] にタッチする



4 設定したい着信音にタッチする

5 ⮌ にタッチする

インフォメーション

- MENU を押し、[電話] − [設定] でも、手順2からと同様に設定できます。

着信音量、通話音量の調整

着信音量、通話音量を調整することができます。

1 MENU を押し、[設定・編集] − [電話] にタッチする

2 [通話 / 着信音設定] にタッチする

3 [着信音量] または [通話音量] にタッチする



4 [+] または [−] にタッチして音量を調整する



5 ⮌ にタッチする

インフォメーション

- 通話中は、着信音の設定および着信音量の調整はできません。
- MENU を押し、**［電話］**－**［設定］**でも、手順2からと同様に設定できます。

通話 / 着信音の設定を初期状態に戻す

音の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. MENU を押し、**［設定・編集］**－**［電話］**にタッチする
2. **［通話 / 着信音設定］**にタッチする
3. **［初期状態］**にタッチする



▼

確認メッセージが表示されます。

4. **［はい］**にタッチする

▼

音の設定が初期化されます。

2 携帯電話情報を設定する

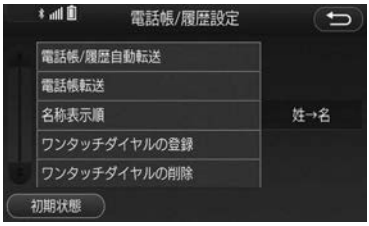
電話帳データの読み込みや削除、新規作成、修正、各履歴の削除を行うことができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］にタッチする

2 ［電話帳 / 履歴設定］にタッチする



3 項目を選んでタッチする



［電話帳 / 履歴自動転送］	電話帳データと履歴データの自動転送の切り替えを行うことができます。（PBAP 接続に対応した携帯電話の場合）（→ P.290）
［電話帳転送］	携帯電話の電話帳データを本機に転送することができます。（→ P.291）
［名称表示順］	電話帳表示の表示順（姓→名、名→姓）を切り替えることができます。
［ワンタッチダイヤルの登録］	ワンタッチダイヤルの登録を行うことができます。（→ P.293）
［ワンタッチダイヤルの削除］	ワンタッチダイヤルの削除を行うことができます。（→ P.294）
［履歴削除］	発信、着信の履歴を削除することができます。（→ P.294）
［電話帳登録］	電話帳データを手動で新規に追加登録することができます。（→ P.295）
［電話帳編集］	電話帳データを編集することができます。（→ P.295）
［電話帳削除］	電話帳データを削除することができます。（→ P.296）

インフォメーション

- ［履歴削除］、［電話帳登録］、［電話帳編集］、［電話帳削除］は、PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、［電話帳 / 履歴自動転送］を［する］に設定しているときは操作できません。設定を［しない］に変更してから操作してください。
- MENU を押し、［電話］－［設定］でも、手順2からと同様に設定できます。

電話帳／履歴自動転送を設定する

PBAP 接続に対応した携帯電話の場合、電話帳データと履歴を自動転送することができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［電話帳 / 履歴自動転送］にタッチする

3 ［する］または［しない］にタッチする



▼

自動転送設定反映のメッセージが表示されます。

電話帳を更新する

電話帳データを更新することができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［電話帳 / 履歴自動転送］にタッチする

3 ［電話帳更新］にタッチする



4 携帯電話を操作して、電話帳データを転送する



［中止］にタッチすると電話帳データの転送を中止します。

▼

転送完了のメッセージが表示され、ダイヤル画面または各設定、編集画面に戻ります。

着信時の画像表示を設定する

電話帳に設定してある画像を着信時に表示させることができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［電話帳 / 履歴自動転送］にタッチする

3 ［着信時の画像表示］にタッチする



4 ［する］または［しない］にタッチする

インフォメーション

- 一部の機種では、使用できない場合があります。

電話帳データを転送する

電話帳機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されている電話帳データを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大 2,500 件のデータを本機に読み込むことができます。

インフォメーション

- 1 件につき 4 つの電話番号まで保存可能です。
- お使いの携帯電話によっては、電話帳データの転送に対応していない場合があります。
- 名称、電話番号のデータを読み込むことができます。
- 電話帳データは、本機に登録された携帯電話ごとに読み込まれます。接続する携帯電話を切り替える（→ P.154）と、表示される電話帳の内容も切り替わります。
- 電話帳データの編集方法は、→**「電話帳データを編集する」（P.295）**を参照してください。
- 電話帳データの削除方法は、→**「電話帳データを削除する」（P.296）**を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

1 **MENU** **を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする**

2 **［電話帳転送］にタッチする**

▼



OPP 接続に対応した携帯電話、または PBAP に対応している携帯電話で［電話帳 / 履歴自動転送］（→ P.290）を［しない］に設定している場合：
すでに読み込んだデータがある場合は、**［上書き］**または**［追加］**を選んでください。

インフォメーション

- 電話帳 / 履歴自動転送画面（→ P.290）で**［電話帳更新］**にタッチしても電話帳データを更新することができます。

3 **携帯電話を操作して、電話帳データを転送する**



［中止］にタッチすると電話帳データの転送を中止します。

▼

転送完了のメッセージが表示され、ダイヤル画面または各設定、編集画面に戻ります。

インフォメーション

- 電話帳データの読み込みを行う際は、接続されている携帯電話から電話帳データの転送の操作（携帯電話により異なりますが、全件転送、1 件転送などがあります）が必要です。
- PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、**［電話帳転送］**にタッチした時点で、携帯電話側の操作なしで本機に電話帳データが読み込まれます。お使いの携帯電話によってはアクセス許可を認めるかの表示が携帯電話側に表示されます。また PBAP 接続の場合には自動で上書き読み込みされます。追加読み込みはできません。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリー件数は、携帯電話によって異なります。
- お使いの携帯電話によっては携帯電話のシークレット機能により登録された電話帳データも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号も電話帳データと同時に読み込まれる場合があります。

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録している任意の電話番号をワンタッチダイヤルに最大 15 件まで登録することができます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［ワンタッチダイヤルの登録］にタッチする

3 登録したいリストにタッチする



4 登録したい電話番号にタッチする



5 登録したいワンタッチダイヤル番号にタッチする



▼

選んだ電話番号が登録されます。

インフォメーション

- 登録済みのワンタッチダイヤル番号にタッチすると置き換え確認メッセージが表示されます。ワンタッチダイヤルに置き換える場合は、**［はい］**にタッチしてください。
- ワンタッチ 1、ワンタッチ 2、ワンタッチ 3にタッチするとページを切り替えることができます。
- 自動転送で携帯電話側の電話番号が削除されても、ワンタッチダイヤルの電話番号は削除されません。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［ワンタッチダイヤルの削除］にタッチする

3 削除したいワンタッチダイヤルにタッチする



4 ［削除］にタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

5 ［はい］にタッチする

▼

選んだワンタッチダイヤルが削除されます。

インフォメーション

- **［全選択］**にタッチすると全てのワンタッチダイヤルが選択されます。**［全選択解除］**にタッチすると、選択されているワンタッチダイヤル全てを解除します。
- 複数のワンタッチダイヤルを選択することができます。

発信履歴または着信履歴を削除する

インフォメーション

- PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、電話帳／履歴自動転送（→ P.290）を **［しない］**に設定してください。
- 接続する携帯電話を切り替えると、その携帯電話を使用したときの発着信履歴は表示されなくなります。再接続すると、再度表示されます。
- 携帯電話の登録が削除された場合は、その携帯電話を使用したときの発着信の履歴も、自動的に削除されます。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［履歴削除］にタッチする

インフォメーション

- **［はい］**にタッチすると、全ての発信・着信履歴が削除されます。

▼

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］にタッチする

電話帳データを新規作成する

電話帳データを手動で新規に追加登録することができます。

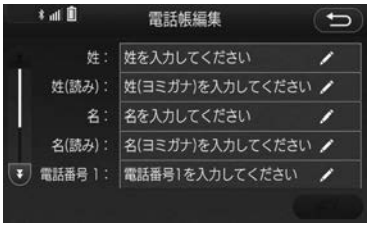
インフォメーション

- PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、電話帳 / 履歴自動転送（→ P.290）を［しない］に設定してください。

1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［電話帳登録］にタッチする

3 各項目にタッチして入力する



4 ［完了］をタッチする

電話帳データを編集する

電話帳データを編集することができます。

インフォメーション

- PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、電話帳 / 履歴自動転送（→ P.290）を［しない］に設定してください。

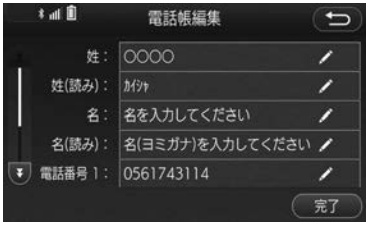
1 MENU を押し、［設定・編集］－［電話］－［電話帳 / 履歴設定］にタッチする

2 ［電話帳編集］にタッチする

3 修正したい電話帳をタッチする



4 編集する項目にタッチして修正する



5 ［完了］をタッチする

電話帳データを削除する

不要になった電話帳データを削除することができます。

インフォメーション

- 本機に記録されている電話帳データが削除されます。接続した携帯電話側の電話帳データおよび履歴情報は削除されません。
- 削除可能な電話帳データは、現在本機に接続中の携帯電話から読み込んだもののみです。接続する携帯電話を切り替える（→ P.154）と、削除可能な電話帳データの内容も切り替わります。
- 電話帳データの削除中は、電話帳データの転送機能（→ P.291）が使用できません。
- PBAP 接続（→ P.152）に対応した携帯電話の場合、**［電話帳／履歴自動転送］**を**［する］**に設定しているときは、電話帳データを削除できません。削除する場合は、設定を**［しない］**に変更してから、削除の操作をしてください。

1 **MENU を押し、［設定・編集］ － ［電話］ － ［電話帳 / 履歴設定］にタッチする**

2 **［電話帳削除］にタッチする**

3 **削除したいリストにタッチする**



インフォメーション

- 複数のリストを削除する場合、続けてリストにタッチします。
- **［全選択］**にタッチすると全てのリストが選択されます。**［全選択解除］**にタッチすると、選択されているリスト全てを解除します。

4 **［電話帳削除］にタッチする**

▼

確認メッセージが表示されます。

5 **［はい］にタッチする**

▼

選んだ電話帳データが削除されます。

インフォメーション

- 電話帳データの削除には、数分かかる場合があります。
- 電話帳データの削除中は、本機の電源をOFF（車両のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞をOFF）にしないでください。選択したデータが削除されない場合があります。

1 故障とお考えになる前に

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

症状	考えられること	処置
ハンズフリー通話時に、通話相手側でエコーが大きく聞こえる。	通話相手側の声（スピーカーからの音声）がマイクに入り込んでいる。エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。	通話中に受話音量を本体の VOL − で小さくすることにより、改善できる場合があります。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

索引

メニュー索引

目的地メニュー 300
情報メニュー 300
電話メニュー 300
設定・編集メニュー 301

用語索引

五十音順 302
数字・アルファベット順 308

目的地メニュー

MENU ＞［目的地設定］＞ ［名称］→P.83
［住所］→P.84
［施設］→P.85
［電話番号］→P.85
［メモリ地点］→P.86
［ジャンル］→P.87
［マップコード］→P.88
［目的地消去］→P.110
特別メモリ地点に行く［1］～［5］→P.88
［履歴］→P.89
［トイレ］→P.89
［自宅登録］／［自宅に帰る］→P.81

情報メニュー

MENU ＞［情報］＞ ［燃費設定］→P.141
［エコ運転評価履歴］→P.142
［燃費］→P.142
［VICS］→P.135
［ETC］→P.272
［ソフトウェア更新］→P.228

電話メニュー

MENU ＞［電話］＞ ［交通ナビ］→P.283
［設定］→P.289

→P.281
［電話帳］→P.282
［ワンタッチダイヤル］→P.282
［履歴］→P.283

設定・編集メニュー

MENU ＞［設定・編集］＞ ［共通］＞ ［タッチ操作音］→P.166
［標準・かんたんモード画面切替］→P.52
［メニューデザイン］→P.166
［言語設定］→P.50
［個人情報初期化］→P.168
［セキュリティ設定］→P.162
［ショートカット登録・編集］→P.167
［オープンソフトウェア情報］→P.227
［ナビ］＞ ［ガイダンス音量設定］→P.159
［案内中止］/［案内再開］→P.61
［ルート編集］→P.109
［メモリ地点登録・編集］→P.113, 120
［ナビ詳細設定］→P.147
［地図使用データ］→P.227
［Bluetooth］＞ ［(機器名称)］→P.154
［Bluetooth 詳細設定］→P.156
［新しい機器を登録する］→P.153
［削除］→P.156
［電話］＞ ［電話機接続］→P.154
［通話 / 着信音設定］→P.287
［電話帳 / 履歴設定］→P.289
［通知設定］→P.286
［運転支援］＞ ［安全・快適走行設定］→P.166
［バックガイドモニター設定］→P.260
［メンテナンス］＞ ［自動通知］→P.138
［設定全消去］→P.138
［自動全更新］→P.138
［販売店設定］→P.140
［ETC］＞ ［ETC 割込表示］→P.274
［ETC 音声案内］→P.274
［ACC オン時警告表示］→P.274
［ACC オン時警告音声案内］→P.274
［カード抜き忘れ警告］→P.274

五十音順

あ

明るさ 32
アフターサービス 310
案内音量 159
案内言語 50
案内表示設定 149

い

イコライザー 210
　補正 211
イジェクト（ディスク） 36
一時停止 196, 201, 204
色合い 32
色の濃さ 32
インジケータ 165
インターチェンジ（IC） 78, 95, 112

え

英語 50
エコ運転評価 141
エコー（残響音） 279
エコ設定 47, 141
エリアプリセット 187, 193

お

オーディオ設定 210
オーディオソース画面 182
オート放送局サーチ 194
オートリルート 105
大文字／小文字 40
音送り 33
音楽 CD 196
音声 195
音声圧縮方式 221
音声案内 102, 243
音声設定 150
音量 159, 260

か

外部音声機器 209
学習ルート探索 97
角度調整 31
画質調整 31
画面切り替え（ナビゲーション⇔
　オーディオソース） 29
画質・消メニュー 30
韓国語 50

き

キーワード検索 83
記号 42
季節規制 98
行選択 33
緊急警報放送（EWS）の
　受信について 185
緊急情報の自動表示 134

け

携帯電話
　受ける 280
　かける 281
　切り替え 154
現在地画面 28, 29, 64
検索結果画面 90
検索履歴 89

こ

広域（地図のスケール）..... 66
効果音 118
交差点 101
交差点案内表示.....101
交通規制情報 129
交通障害情報 129
交通ナビから電話をかける 283
合流案内 166
誤差 174
個人情報初期化.....168
コントラスト（明暗）..... 32

さ

サービスエリア（SA）..... 79
細街路 102
再生..... 196, 198, 201, 204
再探索 105
座標 75
サンプリング周波数..... 222, 223

し

市街図（地図のスケール）..... 66
市区町村名 84
自車位置修正 162
施設記号 70
施設情報 79
施設で探す 85
自宅
　帰る 81
　修正 114
　消去 115
　登録 45, 81, 113
自動登録（放送局）..... 187, 192
字幕を切り替える.....195
車速信号 172, 173
車両情報 46, 160
車両メンテナンス.....138
ジャンルで探す 87
住所で探す 84
修正
　自宅.....114
　特別メモリ地点 116
　メモリ地点 118
渋滞オートガイド 107, 134
渋滞・規制情報 107
渋滞情報.....129
渋滞情報表示（ハイウェイモード）.....79
渋滞チェック 108, 134
縦列駐車..... 243, 254
受信状態.....137
仕様.....311
消去
　学習ルート 128
　検索履歴 127
　自宅.....115
　通った道 128
　特別メモリ地点 117
　メモリ地点 120
　目的地.....110
詳細（地図のスケール）.....66
情報メニュー 60
消耗品.....138
ショートカットキー.....167
初期状態（音の設定）.....288
初期状態（電話詳細設定）.....286
初期設定カーブ 211
シリアルナンバー 227
自立航法.....172
人工衛星.....172
信号機.....76
進行方向案内 102

す

スキャン 49
スクロール 65
スクロール画面 66
図形情報（VICS 情報） 135
スケール 66
ステアリングスイッチ 26
スマート IC 97
スマート IC を考慮したルート探索 97
スマートフォン連携機能を使う 144
スライド操作 29
ずれ（自車位置） 162

せ

セーフティインフォメーション 75
セキュリティ設定 45, 163
設定・編集メニュー 60
全ルート図 98

そ

ソース音量レベル調整 214
その他の設定 151

た

ターンリスト 108
タウンページ 176
タッチスイッチ 5
タッチパネル 29
タブ送り 33
タブスイッチ 5
探索条件 95, 111

ち

地図 SD カード 8
地図データ 227
地図で探す 82
地図に登録された電話番号にかける 285
地図の向き 68
地図表示カスタマイズ 46, 69
地図表示設定 148
地図への名称表示 119
チャンネルスキャン 48
中国語 50
駐車場情報 129

つ

通話中メニューの操作 285

て

ディスク 35, 219
データバージョン 227
テレビ 48, 189
電話帳から電話をかける 282
電話帳データを削除する 296
電話帳データを新規作成する 295
電話帳データを転送する 291
電話帳データを編集する 295
電話番号で探す 85
電話番号を入力して電話をかける 282
電話メニュー 59
電話を受ける 280
電話をかける 281

と

トイレのある施設を探す 89
到着予想時刻 99
到着予想時刻表示 149
登録
　自宅 45, 81, 113, 114
　特別メモリ地点 115
　場所 113
　メモリ地点 117
登録データを移行する 123
道路交通情報センター 226
道路交通情報通信システム 129
通った道の表示を解除 128
通った道を表示 75
特別メモリ地点
　修正 116
　消去 117
　登録 115
特別メモリ地点で探す 88
時計表示 151
都市高速道路 101
都道府県名 84
トラック 196, 204

な

ナビ詳細設定 147
ナビメニュー 58

に

二重音声 195
日本語 50

ね

燃費 141
燃費設定 141
燃費履歴 142

の

ノースアップ 68

は

パーキングエリア（PA） 79
ハートフル音声 150
ハイウェイモード 68, 76, 78
場所
　探す 82
　登録 113
パスワード 124, 164
パスワード初期化 126
パスワード設定 124
はっきり音声 185
バックガイドモニター 232, 269
バックモニター 263
発信者番号通知サービス 280
発着信履歴から電話をかける 283
ハンズフリー通話 278

ひ

標準・かんたんモード画面 45, 51

ふ

フェーダー／バランス 212
フォルダ 202
副音声 195
踏切案内 166
プリセット 187
プリセットチャンネル 193

へ

並列駐車 237, 240
ページ送り 33
ヘディングアップ 68
ヘディングアップ（3D） 68

ほ

放送局（VICS 情報）..... 131
放送局（ワンセグ放送）..... 189
ポータブルオーディオプレーヤー 209
他のルート..... 96
本体スイッチ..... 5, 24

ま

マップコード..... 88
マップコードから探す 88
マップマッチング 173
マニュアルプリセット 187, 191
マルチセッション 220

め

名称で探す..... 83
メニューデザイン 166
メモリ地点
　修正 118
　消去 120
　登録 117
メモリ地点で探す 86

も

目的地の履歴で探す 89
目的地メニュー..... 58
文字情報（VICS 情報）..... 135
文字入力..... 39
　大文字／小文字 40
　修正 40
　スペース..... 41
　全角 39
　挿入 41
　濁点・半濁点・促音 40
　半角 39
　無変換・変換..... 41

ゆ

有料道路 76

ら

ラウドネス 213
ラジオ 186
ランダム再生..... 197, 200, 203, 207

り

リスト画面 33
リセット 53
立体交差 101
リピート再生 197, 199, 203, 207
旅行時間情報 129

る

ルート案内 99
ルート学習結果の消去 128
ルート系設定 150
ルート情報 95
ルート探索 94
ルートを変更 109

れ

レーン案内 166

わ

ワイドモード 195
ワンセグ 48, 189
ワンタッチダイヤルから
　電話をかける 282

数字・アルファベット順

数字

2 カ国語放送 195
5 ルート 96
50 音リスト 33

A

A2DP 204
AAC 223
ASL+ 213
AUX 209, 218
AVRCP 204
AV プロファイル 204

B

Bluetooth Audio 204
Bluetooth 設定をする 156
Bluetooth の設定 47
Bluetooth プロファイル 152

C

CD 196, 216, 219
CD-EXTRA 219
CD-R/RW 198, 216

E

ETC カード有効期限 80
ETC 情報 272

F

FM-VICS 129
FM 多重放送 136, 316

G

GPS 172

I

IC（インターチェンジ） 78, 95, 112
ISO9660 ..... 216, 219

J

JAF 226

M

MP3 ..... 198, 216, 222
MPEG2 222
MPEG4 223

P

PA（パーキングエリア） 78
PIN コード 153

Q

QUICK SETUP 44

S

SA（サービスエリア） 78
SD カード 5, 8, 12, 201, 218

T

TILT・EJECT メニュー 63

V

VICS（Vehicle Information & Communication System）.....129
VICS 交通規制考慮ルート探索 97
VICS 情報 129
　地図 131
VICS センター 316
VICS 放送局選択.....136
VICS マーク 133

W

Windows Media Audio（WMA）..... 198, 216, 221
Windows Media Audio 9 Lossless.....221
Windows Media Audio 9 Professional.....221
Windows Media Audio 9 Voice 221
Windows Media Player.....221

保証について

1) 保証の内容

トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取り付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
（以下、この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取り外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2) 保証の期間、受け方

① 保証期間
保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取り付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000km までとします。

② 保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3) 保証しない事項

① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。
- トヨタの販売店、またはトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など。
- 取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災。

② 次に示すものの費用は負担いたしません。
- 消耗部品および油脂類など。（ヒューズ、各種電球など。）
- 商品を使用できなかった事による不便さ及び損失など。

4) 保証の適用

日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5) その他

保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■共通部

使用電圧 ..... 13.2 V DC
（10.5 V ～ 16.0 V 使用可能）
最大消費電流 ..... 15 A
使用温度範囲 ..... − 20 ℃～+ 65 ℃

■ナビゲーション本体（GPS 部）

受信方式 ..... マルチチャンネル受信方式

■モニター部

画面サイズ ..... 7.0 型ワイド VGA
画素数 ..... 1,152,000 画素
［水平 800 X 垂直 480 X 3（RGB）］
方式 ..... TFT アクティブマトリクス方式

■オーディオ部

最大出力 40 Wx4
負荷インピーダンス 4 Ωx4
イコライザー
（13 バンドグラフィックイコライザー）
周波数 ..... 62.5Hz、100Hz、160Hz、
250Hz、400Hz、630Hz、
1kHz、1.6kHz、2.5kHz、
4kHz、6.3kHz、10kHz、
16kHz
調整幅 ..... ±7dB（1dB/step）

■CD プレーヤーメカ部

対応ディスク ..... CD-ROM、CD-DA、
CD-R/RW
デコーディングフォーマット
MP3...MPEG-1,2,2.5 AUDIO LAYER-3
WMA ..... Windows Media Audio
ver.7, 8, 9（2ch audio）

■FM チューナー部

受信周波数帯域 .....
76.0 ～ 90.0/95.0MHz※
※ 車両アンテナにより異なります。
音声 ..... ステレオ

■AM チューナー部

受信周波数帯域 .... 522 kHz ～ 1629 kHz
音声 ..... モノラル

■ワンセグチューナー部

放送方式 ..... 地上デジタル放送方式（日本）
受信チャンネル .... 470 MHz ～ 710 MHz
（13ch ～ 52ch）

■AUX 部

音声入力レベル ..... 1 Vp-p

■SD カード部

最大メモリー容量 32GB
（地図 SD カードは 8GB）
ファイルシステム FAT16/FAT32
デコーディングフォーマット
MP3 ..... MPEG-1,2,2.5 AUDIO
LAYER-3
WMA ..... Windows Media Audio
ver.7, 8, 9（2ch audio）
AAC ..... iTunes ver. 7.6（AAC-LC）

■Bluetooth 部

Bluetooth バージョン Bluetooth3.0
+EDR

■外形寸法

本体..... 205.5 mm（W）X104 mm（H）
X176 mm（D）

■質量

本体 ..... 2.5 kg

■付属品

取付キット ..... 1 式
取扱書 ..... 1 冊

- 本製品は、電波法及び電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。本製品を分解・改造すると法律により罰せられることがあります。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Made for iPhone

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Apple, iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
Other product and company names mentioned herein may be trademarks of their respective companies.

- VICS リンクデータベースの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会・公益財団法人日本交通管理技術会 (TMT) が有しています。
- ETC は、一般財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。
- 「 QR コード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- VICS は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。
  Bluetooth ワードマークとロゴは Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「株式会社デンソー」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
  本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

Bluetooth®

- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
- SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- 「NaviCon®」は株式会社デンソーの商標または登録商標です。
- smart nAVVi Link は、アイシン・エィ・ダブリュ株式会社の商標です。
- 「Google」、「Android」、「Google Play」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

-  本製品は、トロンフォーラム (http://www.tron.org/) の T-License に基づき T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPS の測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図を全部、または一部を複製し利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の２万５千分１地形図、数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報)、数値地図 (国土基本情報) 基盤地図情報 (数値標高モデル) 及び基盤地図情報を使用した。(承認番号は製品の画面上に表示。)

この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認　13-113)

©2016　一般財団法人日本デジタル道路地図協会

ZENRIN CO.,LTD ＆株式会社トヨタマップマスター ＆株式会社昭文社

交通規制データについて

この地図に使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を使用しています。

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点について

この地図に使用している事故多発地点データは、警視庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

ボトルネック踏切について

この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。

案内標識について

Licensed under the Apache License, Version2.0(the"License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unkess required by applicatable law or agreed to in writing,software distributed under the License is distributed on an "AS IS"BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

以　上

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総則

（約款の適用）

第１条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第４条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第５条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契約

（契約の単位）

第６条　当センターは、VICS デスクランブラー１台毎に１の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第７条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第８条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条　１　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

２　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条　1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条　1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。ただし、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表　視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

VICS 情報に関する注意事項

FM 多重放送について

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICS センター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または FM 多重放送により提供される VICS 情報に関することは、（一財）VICS センターへお問い合わせください。
電話受付時間：9:30 ～ 17:45
（土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く）
電話番号：0570-00-8831
（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
FAX 受付時間：24 時間
FAX 番号：03-3562-1719（全国）
また、VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは下記のホームページでご覧いただけます。
URL：http://www.vics.or.jp/

メモ

メモ

［ナビゲーション］取付け記録

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備 考 （修理メモ・保証継承情報など）	

464481-3243
52900874JC
2019年9月発行
B5A-1293-30

トヨタ自動車株式会社
株式会社デンソー